

# 情報伝達システム

InfoCircle

取扱説明書

Ver . 1.0.2

Synergic Inc.

## 目次

1	概要	5
1.1	InfoCircle とは	5
1.2	機能概要	5
1.3	適用分野	6
2	お使いになる前に	8
2.1	動作環境	8
2.2	使用条件	8
2.3	著作権	8
3	InfoCircle 構成一覧	9
3.1	プログラム	9
3.2	パラメータファイル	9
3.3	データベース	9
3.4	ヘルプファイル	9
3.5	サンプルデータ	10
3.6	ワークフォルダ	10
4	管理者機能一覧	11
5	設定項目一覧	14
5.1	コントロール情報	14
5.2	Config 情報	15
6	システム構築手順	20
7	各管理者機能及び操作	21
7.1	インストール/アンインストール	21
7.1.1	インストール	21
7.1.2	アンインストール	21
7.2	初期設定	22
7.3	登録、アップグレード	23
7.4	管理ツール	24
7.4.1	ログイン	24
7.4.2	セクション情報	25
7.4.2.1	セクション登録 (CSV 一括新規登録)	25
7.4.2.2	セクション登録 (CSV 一括追加登録)	26
7.4.2.3	セクション登録用 CSV ファイルフォーマット	26
7.4.2.4	セクション登録 (個別追加登録)	27
7.4.2.5	セクション編集 (編集、削除)	29
7.4.2.6	セクション表示、印刷	32
7.4.2.7	独立セクション登録	33
7.4.2.8	独立セクション編集 (編集、削除)	35
7.4.2.9	独立セクション表示、印刷	37
7.4.2.10	所属セクションチェック	38
7.4.2.11	送信権限なしセクション表示方法	38
7.4.3	ユーザ情報	39
7.4.3.1	ユーザ登録 (CSV 一括新規登録)	39
7.4.3.2	ユーザ登録 (CSV 一括追加登録)	40
7.4.3.3	ユーザ登録用 CSV ファイルフォーマット	40
7.4.3.4	ユーザ登録 (個別追加登録)	42
7.4.3.5	ユーザ編集 (編集、削除)	45
7.4.3.6	ユーザ表示、印刷	50
7.4.3.7	ユーザ異動	50
7.4.4	データメンテナンス	53

7.4.4.1	仮削除データメンテナンス	53
7.4.4.1.1	復旧	53
7.4.4.1.2	本削除	53
7.4.4.1.3	表示、印刷	53
7.4.4.2	期限切れデータメンテナンス	53
7.4.4.2.1	復旧	53
7.4.4.2.2	本削除	54
7.4.4.2.3	表示、印刷	54
7.4.4.3	データ統計情報表示	54
7.4.4.4	閲覧者変更	55
7.4.4.5	DB クリーンアップ	56
7.4.4.6	DB 初期化	57
7.4.4.7	DB バックアップ、リストア	57
7.4.4.8	ログインステータス照合	59
7.4.4.9	ログイン制御	60
7.4.4.10	無期限データ強制削除	61
7.4.5	コントロール情報	62
7.4.5.1	総合権限モード変更	62
7.4.5.2	送信権限指定方法変更	62
7.4.5.3	通常セクション権限モード変更	63
7.4.5.4	独立セクション権限モード変更	63
7.4.5.5	メール通知指定変更	63
7.4.5.6	ユーザセルフ登録許可/不許可	64
7.4.5.7	データ消去タイムリミット日数変更	65
7.4.5.8	ログ削除タイムリミット日数変更	65
7.4.5.9	タイマオペレーション定義変更	65
7.4.5.10	期限切れデータ表示方法変更	66
7.4.5.11	閲覧制限変更	67
7.4.5.12	ログインタイムアウト時間変更	67
7.4.5.13	ノーアクションタイムアウト時間変更	68
7.4.5.14	ログ取得情報変更	68
7.4.5.15	コントロール情報表示、印刷	69
7.4.5.16	ユーザ情報必須項目変更	72
7.4.6	ログ情報	73
7.4.6.1	対象期間指定	73
7.4.6.2	処理対象選択	73
7.4.6.3	ログ出力	74
7.4.6.3.1	ログ表示	74
7.4.6.3.2	ログ印刷	74
7.4.6.3.3	ファイル出力	75
7.4.6.4	ログクリア	76
7.4.7	管理ツール終了	76
7.5	CSV ファイルフォーマットチェックツール	77
7.5.1	機能	77
7.5.2	チェックファイル種別選択	77
7.5.3	チェックファイル選択	77
7.5.4	ファイルフォーマットチェック	78
7.5.5	結果表示	78
7.5.6	全てクリア	78
7.5.7	終了	78

7.5.8	その他	78
8	Config 情報	79
8.1	InfoCircleMng.exe.Config	79
8.2	InfoCircleCIUp.exe.config	79
8.3	InfoCircleInit.exe.config	79
8.4	InfoCircleMsnd.exe.config	79
8.5	InfoCircleOR.exe.config	79
8.6	InfoCircleTimeOut.exe.config	79
8.7	InfoCircleCSVCheck.exe.config	80
8.8	AppEttings.Config	80
9	Web サーバーへの登録	82
10	常駐プログラムの登録	89
11	ユーザ機能一覧	94
12	各ユーザ機能及び操作	94
12.1	起動	94
12.2	ログイン	94
12.3	メニュー画面	95
12.4	伝達情報送信	96
12.4.1	送信一覧	96
12.4.2	送信内容表示及び受信状況確認	98
12.4.3	伝達情報新規送信	101
12.4.4	送信先選択	107
12.5	伝達情報受信	109
12.5.1	受信一覧	109
12.5.2	受信内容表示	111
12.6	ユーティリティ	114
12.7	ログアウト	117
12.8	パスワード回復	117
12.9	ユーザ新規登録	118
12.10	その他画面	121
13	メッセージ	123
13.1	管理ツール等のメッセージ	123
13.2	Web プログラムのメッセージ	128
14	ログデータ	133
15	用語集 (本文中 <a href="#">下線付き青文字</a> の用語の説明)	139
16	権限ファイル	142
16.1	権限ファイルの概要	142
16.2	CSV ファイルフォーマット	142
16.3	列コード	142

## 1 概要

### 1.1 InfoCircle とは

インターネット、イントラネットにおいて利用されている情報伝達手段としては E-Mail が一般的ですが、E-Mail の場合、以下の様な問題点が存在します。

- ・ 受信者が受信したメールを読んだかどうかは一部のメールソフトにしか装備されていない開封確認要求に対して応答しない限り、送信者側には分からない。
- ・ 誤送信したメールを送信者は取り消すことが出来ない。
- ・ 送信メールに閲覧可能開始日や閲覧期限を付けることが出来ない。
- ・ 送信先を送信者の権限によって制限することが出来ない。
- ・ 受信者が取り込んだメールを削除してしまった場合、再度その情報を閲覧することは再送信を送信者に依頼する以外、出来ない。
- ・ E-Mail は受信者個人が取り込むので、部署、セクション宛の伝達情報であっても、転勤、異動後でもアドレスが同じであれば、読めてしまう。
- ・ 病気等の長期休職者宛、或いは長期出張者宛の伝達情報を、代理人が代わりに読むことが出来ない。

InfoCircle はそれらの問題点を解決した情報伝達を行うことを可能にします。

また、セキュリティの面から、管理者は各伝達情報の内容を見ることは出来ませんし、ユーザのパスワードも知ることは出来ません。更に、管理者の操作は全てログに取られます。そのため、管理者から伝達情報が漏洩する危険性は極めて低いと言えます。

### 1.2 機能概要

- ・ 伝達情報送信  
閲覧開始日、閲覧期限等を指定して受信者に対して伝達情報を送信します。
- ・ 伝達情報受信  
伝達情報を受信、閲覧します。
- ・ ファイル添付  
伝達情報を送信する際、ファイルを添付することが出来ます。
- ・ 返信要求  
伝達情報を送信する際、それに対する返信を要求することが出来ます。
- ・ 添付ファイルによる返信要求  
伝達情報を送信する際にアンケート用紙に記入する等、添付ファイルに記入して返信することを要求することが出来ます。
- ・ 受信者の伝達情報閲覧の確認  
送信者は受信者が送信した伝達情報を閲覧したかどうかを確認することが出来ます。
- ・ 送信した伝達情報の取り消し  
送信者は送信した伝達情報の送信先、内容に不具合があることに気付いた場合、その伝達情報を取り消すことができます。
- ・ 閲覧開始日の設定  
送信する伝達情報の閲覧可能開始日を設定することが出来ます。これにより、システムアップデートファイルの配布等を前もって行っても、受信者は運用開始日以降にしか受け取ることが出来ないような運用が可能になります。  
また、閲覧開始日以前に取り消した場合、受信者にはそれが一度送信されたことは分かりませんので送信内容が正しいかどうか検討する時間を取るために閲覧開始日を翌日以降にするような運用や、「夜

書いたラブレターは翌朝読むと破り捨てたくなる」とという言葉があるように、伝達文送信後の読み直しや取り消しの冷却時間の確保も可能になります。

- 伝達情報の閲覧期限の設定  
送信する伝達情報に閲覧期限を設定することができます。これにより、閲覧しても意味のない時期以降の閲覧を防止することができます。  
閲覧期限を過ぎた伝達情報を受信者が未読の場合、その伝達情報のタイトルを受信者の受信一覧に表示することも非表示にすることも出来ます。表示にする運用にした場合、受信者は本来閲覧期限までに閲覧すべき伝達情報が存在したにも拘わらず、閲覧しなかった伝達情報の存在に気付くことが出来ます。尚、閲覧期限を過ぎた伝達情報はタイトルが受信一覧に表示されていても内容の閲覧は管理者に依頼して閲覧期限を延長してもらえない限り、閲覧は出来ません。
- 権限規定による送信先の規定  
送信者が伝達情報を送信出来るセクションと出来ないセクションを権限により指定することができます。
- 取り消した伝達情報の復旧  
送信者が自分で送ったものであるので伝達内容を知っており原則的には再度作り直して送れば良い事ですが何らかの理由により、復旧したい場合は管理者に依頼して復旧することができます。
- 配置転換後の閲覧規制の設定  
異動等により所属セクションが変わった場合、旧セクション宛に送信された伝達情報を読めなくするような運用方法も可能です。
- 返信情報の再送  
返信要求のある伝達情報を受信した受信者が返信を行った後に返信内容を修正する必要が生じた場合、返信を再送することができます。
- 閲覧者の変更  
病気等による長期休職者宛、或いは長期出張者宛の伝達情報を管理者に依頼することにより、宛先を代理人に変更することが可能です。
- Web ブラウザを介してのユーザ登録  
Web ブラウザを介してユーザ自身がユーザ登録を行い、アカウントを開設するような運用方法も可能です。このような運用方法は企業と一般顧客との間のコミュニケーションに有用です。
- 伝達情報、返信情報受信のメール通知  
伝達情報、返信情報の受信、或いは伝達情報の取り消し、復旧があったことを受信者に E-Mail で通知することが可能です。携帯メール等に通知することにより、外出中でも伝達情報の受信があったことを知ることが出来ます。  
また、本機能は受信情報そのものの転送ではなく通知ですのでこれによる情報漏洩の危険性はありません。  
尚、受信通知メールは閲覧開始日に送信されますのでそれ以前に取り消した場合、受信通知メールも取り消し通知メールも送信されません。
- 受信した伝達情報の受信者の過失 / 故意による削除の防止  
受信者による伝達情報の削除は出来ませんのでこのような問題は起こりません。

### 1.3 適用分野

InfoCircle は以下のような環境への適用が考えられます。

- 企業、学校等の組織内

企業、学校等の組織内での伝達情報の送受信。

- 企業：取引先間  
企業内及び企業とその取引先との伝達情報の送受信。
- 企業：会員顧客間  
デパート、スーパーマーケット、その他サービス業等で会員顧客を有する企業において、企業内及び会員顧客との伝達情報の送受信。
- 学校：保護者間  
教育機関内及び保護者との伝達情報の送受信。
- 自治体：世帯間  
自治体の職員間及び地域住民との伝達情報の送受信。

## 2 お使いになる前に

### 2.1 動作環境

2.1.1 「InfoCircle」は下記の環境で動作します。

#### 2.1.2 サーバー

- ・ 動作可能 OS  
日本語 Windows 2000 Professional 以上の Information Internet Server が稼動するもの  
日本語 Windows XP Professional 以上の Information Internet Server が稼動するもの  
又は 100%互換性のある上位バージョン
- ・ メモリ  
512MB以上推奨
- ・ HDD  
50MB以上の空きエリア
- ・ ソフトウェア  
Information Internet Server  
.NET Framework 2.0 以上

#### 2.1.3 クライアント

- ・ 動作可能 OS  
日本語 Windows 2000  
日本語 Windows XP  
又は 100%互換性のある上位バージョン
- ・ ソフトウェア  
Internet Explorer Version6.0  
又は 100%互換性のある上位バージョン

### 2.2 使用条件

- ・ 本ソフトウェアの評価使用に当たっては以下の制限があります。  
伝達情報件数 200  
登録ユーザ数 100
- ・ その制限を解除し、継続してご使用の場合は、ライセンス登録をお願い致します。  
登録方法は管理ツールのメニューのヘルプ(H) 登録、アップグレードをクリックし、登録画面を表示し、行います。  
又は初期設定プログラムで初期化完了後、「登録」ボタンをクリックして登録画面を表示し、行います。
- ・ 本ソフトウェアによってお使いのシステム又はその他にいかなる問題や障害が起きましても弊社、作者は責任を負いません。
- ・ 本ソフトウェアにバグ等の不具合が発見されても、弊社、作者はバージョンアップの責任を負いません。
- ・ 本ソフトウェアの動作の保証はありません。
- ・ 本ソフトウェアの仕様は予告無しに変更されることがございます。

### 2.3 著作権

- ・ 本ソフトウェア(ドキュメント、データを含む)の著作権は作者及び Synergic Inc.が保有します。

### 3 InfoCircle 構成一覧一覧

本ソフトウェアを構成するプログラム及びデータは以下の通りです。

#### 3.1 プログラム

- InfoCircleMng.exe  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleClUp.exe  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleInit.exe  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleMsnd.exe  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleOR.exe  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleResidentKick.exe  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleTimeOut.exe  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleCSVCheck.exe  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleWeb プログラム  
インストールディレクトリ¥Web に格納されます。

#### 3.2 パラメータファイル

- InfoCircleMng.exe.Config  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleClUp.exe.config  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleInit.exe.config  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleMsnd.exe.config  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleOR.exe.config  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleTimeOut.exe.config  
インストールディレクトリに格納されます。
- InfoCircleCSVCheck.exe.config  
インストールディレクトリに格納されます。
- AppSettings.config  
インストールディレクトリ¥Web¥App\_Data に格納されます。

#### 3.3 データベース

初期化されていない空のデータベース

- InfoCircle1.icl 及び InfoCircle1.lck
- InfoCircle2.icl 及び InfoCircle1.lck
- InfoCircle3.icl 及び InfoCircle1.lck
- InfoCircle4.icl 及び InfoCircle1.lck
- InfoCircle5.icl 及び InfoCircle1.lck
- InfoCircle6.icl 及び InfoCircle1.lck
- InfoCircle7.icl 及び InfoCircle1.lck
- InfoCircle8.icl 及び InfoCircle1.lck

インストールディレクトリ¥Web¥App\_Data ¥InfoCircleDb に格納されます。

#### 3.4 ヘルプファイル

ユーザ用ヘルプファイルはインストールディレクトリ¥Web¥UserHelp に HTML 形式で格納されます。内容はシステムの初期設定によって変更した方が良いでしょう。その場合はインストール後 HTML ファイルを設定内容に従って書き換えて下さい。

### 3.5 サンプルデータ

Sample というフォルダに以下のデータを格納しています。インストールディレクトリ¥Sample に格納されます。

#### 3.5.1 初期化済みデータベースとサンプルデータ

#### 3.5.2 初期化済みワークフォルダ

#### 3.5.3 CSV ファイル (ワークフォルダ内)

サンプル用のセクション、ユーザ、及び送信権限定義は既にデータベースにセットしてありますのでこの CSV ファイルを使って特に再設定する必要はありません。

##### 3.5.3.1 通常セクション登録 CSV ファイル

##### 3.5.3.2 ユーザ登録 CSV ファイル

##### 3.5.3.3 送信権限ファイル

サンプルデータを使用する場合、項番 7.2 の初期設定は必要ありません。インストール後、Sample ディレクトリの中に格納されている全てのファイルとフォルダ群を「インストールディレクトリ¥Web¥App\_Data ¥InfoCircleDb」の中に上書きコピーしてお使い下さい。

尚、サンプルデータ内のユーザのパスワードは UID と同一です。

### 3.6 ワークフォルダ

InfoCircle が使用するワークフォルダ

インストールディレクトリ¥Web¥App\_Data ¥InfoCircleDb に格納されます。

## 4 管理者機能一覧

- ・ セクション情報
  - セクション登録 (CSV 一括新規登録)  
企業、団体、サークル等の組織の[通常セクション](#)を CSV 形式のファイルにより古い通常セクション登録データを破棄し、新規に登録します。
  - セクション登録 (CSV 一括追加登録)  
企業、団体、サークル等の組織の[通常セクション](#)を CSV 形式のファイルにより既存の通常セクション登録データに追加登録します。
  - セクション登録 (個別追加登録)  
企業、団体、サークル等の組織の[通常セクション](#)を画面より既存の通常セクション登録データに追加登録します。
  - セクション編集 (編集、削除)  
企業、団体、サークル等の組織の[通常セクション](#)を画面から編集、削除します。
  - セクション表示、印刷  
企業、団体、サークル等の組織の[通常セクション](#)を表示、印刷します。
  - 独立セクション登録  
企業、団体、サークル等の組織の[独立セクション](#)を画面より既存の独立セクション登録データに追加登録します。
  - 独立セクション編集 (編集、削除)  
企業、団体、サークル等の組織の[独立セクション](#)を画面から編集、削除します。
  - 独立セクション表示、印刷  
企業、団体、サークル等の組織の[独立セクション](#)を表示、印刷します。
  - 所属セクションチェック  
セクション編集等により所属していたセクションが無くなったりして、所属セクション不明になったユーザの存在を確認します。
  - 送信権限なしセクション表示方法  
伝達情報を送信する各ユーザにとって送信権限のないセクションを送信先選択時に見せるかどうかを指定します。
- ・ ユーザ情報
  - ユーザ登録 (CSV 一括新規登録)  
企業、団体、サークル等に所属、参加しているユーザを CSV 形式のファイルにより古いユーザ登録データを破棄し、新規に登録します。
  - ユーザ登録 (CSV 一括追加登録)  
企業、団体、サークル等に所属、参加しているユーザを CSV 形式のファイルにより既存のユーザ登録データに追加登録します。
  - ユーザ登録 (個別追加登録)  
企業、団体、サークル等に所属、参加しているユーザを画面より既存のユーザ登録データに追加登録します。
  - ユーザ編集 (編集、削除)  
企業、団体、サークル等に所属、参加しているユーザを画面から編集、削除します。
  - ユーザ表示、印刷  
企業、団体、サークル等に所属、参加しているユーザを表示、印刷します。
  - ユーザ異動  
組織変更によりセクションが廃止、統合された場合等に、旧セクションに所属していたユーザを別のセクションに移動します。
- ・ データメンテナンス
  - [仮削除データ](#)メンテナンス
    - ◇ 復旧  
ユーザが (仮) 削除した伝達情報を復旧します。
    - ◇ 本削除

- ユーザが(仮)削除した伝達情報を完全に削除します。
    - ◇ 表示、印刷
      - ユーザが(仮)削除した伝達情報の一覧を表示、印刷します。
  - 期限切れデータメンテナンス
    - ◇ 復旧
      - [閲覧期限](#)が過ぎた伝達情報の閲覧期限を変更し、閲覧を可能にします。
    - ◇ 本削除
      - [閲覧期限](#)が過ぎた伝達情報を完全に削除します。
    - ◇ 表示、印刷
      - [閲覧期限](#)が過ぎた伝達情報の一覧を表示、印刷します。
  - データ統計情報表示
    - データベースのデータ件数、使用率を表示、印刷します。DB クリーンアップ、ログクリアの必要性の検証等に使用します。
  - 閲覧者変更
    - 伝達情報の送信先を変更して閲覧者を変更します。
  - DB クリーンアップ
    - データベースから[保存タイムリミット](#)オーバーの伝達情報等、不要な情報を取り除きます。
  - DB 初期化
    - データベースを初期化します。
  - DB バックアップ、リストア
    - データベースのバックアップ、リストアを行います。
  - ログインステータス照合
    - 現在の[ステータス](#)(オンライン/オフライン/オフラインリクエスト中)を表示します。
  - ログイン制御
    - オンライン/オフラインの[ステータス](#)を制御します。
  - 無期限データ強制削除
    - [閲覧期限無期限](#)の伝達情報の保存期限を過ぎたものを強制的に削除します。
- ・ コントロール情報
    - 総合権限モード変更
      - [送信権限](#)を規定したモードで運用するかどうかを指定します。
    - 送信権限指定方法変更
      - [送信権限](#)を所属セクション毎、又は個人毎に規定するかを指定します。総合権限モードで送信権限を規定したモードで運用する場合のみ、意味があります。
    - 通常セクション権限モード変更
      - [通常セクション](#)に送信する際、[送信権限](#)を規定した使い方をするかどうかを指定します。総合権限モードで送信権限を規定したモードで運用する場合のみ、意味があります。
    - 独立セクション権限モード変更
      - [独立セクション](#)に送信する際、[送信権限](#)を規定した使い方をするかどうかを指定します。総合権限モードで送信権限を規定したモードで運用する場合のみ、意味があります。
    - メール通知指定変更
      - 伝達情報の受信、返信の受信をメールで通知するかどうかを指定します。
    - ユーザセルフ登録許可/不許可
      - ユーザが独自に登録することの許可/不許可を指定します
    - データ消去タイムリミット日数変更
      - [閲覧期限](#)を過ぎた古い伝達情報を完全に削除する日数を変更します。
    - ログ削除タイムリミット日数変更
      - 古いログ情報を削除するためにログを保管しておく日数を変更します。
    - タイマオペレーション定義変更
      - 不要データ削除のためにバックグラウンドで稼動するタイマオペレーションプログラムの稼動時刻、タイミング等を指定します。

- 期限切れデータ表示方法変更  
未読の[閲覧期限](#)切れの伝達情報を受信者の受信一覧に表示するかどうかを指定します。
- 閲覧制限変更  
受信者の所属が変わったときに旧所属宛の伝達情報の閲覧を許可 / 不許可を変更します。
- ログインタイムアウト時間変更  
[ログイン制限時間](#)を指定します
- ノーアクションタイムアウト時間変更  
[ノーアクション時のタイムアウト時間](#)を指定します。  
通常、この時間はユーザが正しくログアウトして終了せず、Web ブラウザを閉じて終了した場合に再度ログインできるまでの時間となります。
- ログ取得情報変更  
ログを取得する項目を指定します。
- コントロール情報表示、印刷  
コントロール情報の各項目に設定されている値を表示、印刷します。
- ユーザ情報必須項目変更  
ユーザ情報登録時の必須項目を指定します。
- ログ情報
  - 対象期間指定  
操作の対象期間を指定します。
  - 処理対象選択  
操作の対象を指定します。
  - ログ出力
    - ◇ ログ表示  
指定条件により、ログ情報を表示します。
    - ◇ ログ印刷  
指定条件により、ログ情報を印刷します。
    - ◇ ファイル出力  
指定条件により、ログ情報をファイルへ出力します
  - ログクリア  
指定条件により、ログ情報をクリアします。
- CSV ファイルフォーマットチェック
  - セクション登録、ユーザ登録、権限規定に使用する CSV ファイルのフォーマットチェックを行います。

## 5 設定項目一覧

### 5.1 コントロール情報

- ・ 総合権限モード  
[送信権限](#)を規定したモードで運用するかどうかを指定。(初期値: しない)
- ・ 送信権限指定方法  
[送信権限](#)を所属セクション毎、又は個人毎に規定するかを指定。(初期値: 所属セクション毎)
- ・ 通常セクション権限モード  
[通常セクション](#)に[送信権限](#)を規定した使い方をするかどうかを指定。(初期値: する)
- ・ 独立セクション権限モード  
[独立セクション](#)に[送信権限](#)を規定した使い方をするかどうかを指定。(初期値: する)
- ・ メール通知指定  
伝達情報の受信、返信の受信メールで通知するかどうかを指定。(初期値: しない)
- ・ SMTP サーバー  
メールを送信する SMTP サーバー。(初期値: 未設定)
- ・ 送信者メールアドレス  
メール通知送信元アドレス。(初期値: 未設定)
- ・ ユーザセルフ登録  
ユーザが独自に登録することの許可/不許可を指定。(初期値: あり)
- ・ ログ取得定義  
ユーザが各種操作を行ったときにログのログ取得の指定。但し、管理ツールでの操作は全てログを取得する。
  - ログイン/ログアウト  
ユーザがログイン/ログアウトをしたとき。(初期値: 取得しない)
  - パスワード変更  
ユーザがユーティリティでパスワードを変更したとき。(初期値: 取得する)
  - Question & Answer 変更  
ユーザがユーティリティで [Question&Answer](#) を変更したとき。(初期値: 取得する)
  - [伝達情報受信通知アドレス](#)変更  
ユーザがユーティリティで[伝達情報受信通知アドレス](#)を変更したとき。(初期値: 取得する)
  - [返信情報受信通知アドレス](#)変更  
ユーザがユーティリティで[返信情報受信通知アドレス](#)を変更したとき。(初期値: 取得する)
  - [役割名](#)変更
  - ユーザがユーティリティで[役割名](#)を変更したとき。(初期値: 取得しない)
  - その他 Profile 変更  
ユーザがユーティリティでその他の Profile を変更したとき。(初期値: 取得しない)
  - 伝達情報送信  
ユーザが伝達情報を送信したとき。(初期値: 取得しない)
  - 送信確認  
ユーザが送信した伝達情報の送信確認画面を開いたとき。(初期値: 取得しない)
  - 結果保存  
ユーザが送信確認画面で送信結果をファイル保存したとき。(初期値: 取得しない)
  - 添付返信結果保存  
ユーザが送信確認画面で[添付返信](#)データをファイル保存したとき。(初期値: 取得しない)
  - 送信取り消し  
ユーザが送信した伝達情報を取り消したとき。(初期値: 取得しない)
  - 閲覧  
ユーザが受信した伝達情報の受信内容を閲覧したとき。(初期値: 取得しない)
  - 単純添付保存  
ユーザが受信内容を閲覧し、[単純添付ファイル](#)を保存したとき。(初期値: 取得しない)
  - 返信添付保存

- ユーザが受信内容を閲覧し、[返信添付ファイル](#)を保存したとき。(初期値：取得しない)
  - [単純返信](#)  
ユーザが添付ファイルによる返信ではなく、メッセージによる返信を要求している伝達情報に対して返信を行ったとき。(初期値：取得しない)
  - [添付返信](#)  
ユーザが添付ファイルによる返信による返信を要求している伝達情報に対して返信を行ったとき。(初期値：取得しない)
  - 期限切れデータ削除  
バックグラウンドプログラムにより保存期限切れデータを削除したとき。(初期値：取得しない)
  - [仮削除ユーザ](#)本削除  
バックグラウンドプログラムにより仮削除されたユーザとそのユーザに関連する伝達情報等を完全に削除する。(初期値：取得しない)
- データ消去タイムリミット日数  
[閲覧期限](#)を過ぎた古い伝達情報を完全に削除する日数。(初期値：180日)
- ログ削除タイムリミット日数  
古いログ情報を削除するためにログを保管しておく日数。(初期値：360日)
- タイマオペレーション処理時刻  
バックグラウンドで稼動するタイマオペレーションプログラムの稼動時刻。(初期値：3AM)
- タイマオペレーション処理日  
バックグラウンドで稼動するタイマオペレーションプログラムの稼動日。(初期値：月曜日)
- タイマオペレーションリトライ回数  
システムがオンラインのため、バックグラウンドで稼動するタイマオペレーションプログラムが稼動できなかったときの1分間隔のリトライ回数。(初期値：60回)
- 期限切れデータ表示方法  
[閲覧期限](#)切れの伝達情報を受信者の受信一覧に表示するかどうかを指定。(初期値：する)
- 閲覧制限  
所属が変わったときに旧所属宛の伝達情報に対する閲覧の制限。(初期値：しない)
- ログインタイムアウト時間  
ユーザのログイン制限時間。(初期値：60分)
- ノーアクションタイムアウト時間  
[ノーアクション時のタイムアウト時間](#)。(初期値：3分)
- ユーザ情報登録必須項目  
ユーザ登録時に登録する項目のうち、選択可能な項目の必須/選択を指定。
  - [役割名](#) (初期値：選択)
  - 生年月日 (初期値：選択)
  - 住所 (初期値：選択)
  - 電話番号 (初期値：選択)
  - [伝達情報受信通知アドレス](#) (初期値：選択)
  - [返信情報受信通知アドレス](#) (初期値：選択)
  - [Question & Answer](#) (初期値：選択)
  - 自由欄 (初期値：選択)
- 送信権限なしセクション表示方法  
送信権限のないセクションを送信先選択時に見せるかどうかを指定。(初期値：見せない)

## 5.2 Config 情報

- 各プログラムのパラメータファイルです。Text ファイルなので Notepad 等で編集が可能です。
- 編集後はサービス、或いはシステムの再起動を行わないと編集情報が反映されない場合があります。

### 5.2.1 InfoCircleMng.exe.config

- DBPath  
データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ。

- CSVPath  
権限 CSV ファイルが置かれているサーバー上のディレクトリ。  
権限ファイルは全てサーバー上の本パラメータが指定するディレクトリに格納されていなければなりません。
- CodeLine  
CSV ファイルのコード行の始まりを示す文字列。  
本ソフトウェアで扱う全ての CSV ファイルでは、この文字列が現れるまでの行はコメントと見なします。
- DelUserData  
[仮削除されたユーザ](#)の送信した[閲覧期限無期限](#)の未削除伝達情報の閲覧期限をいずれデータベースから完全に削除されるように閲覧開始日から保存タイムリミットまでに変更するかどうかを”Y”又は”N”で指定します。即座に削除しないのはユーザが脱会（仮削除）前に送信した伝達情報をまだ閲覧していない受信者の存在や脱会後もその情報のしばらくの間の必要性も考えられ、その猶予を持たせるためです。（初期値：Y）

#### 5.2.2 InfoCircleCIUp.exe.config

- DBPath  
データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ。
- Interval  
タイミンターバル。（初期値：10）  
タイマオペレーションの稼働時期を見つけるためのインターバルです（単位は分） 特に変更する必要はありません。
- DelUserData  
[仮削除されたユーザ](#)の送信した[閲覧期限無期限](#)の未削除データの閲覧期限をいずれデータベースから完全に削除されるように閲覧開始日から保存タイムリミットまでに変更するかどうかを”Y”又は”N”で指定します。（初期値：Y）

#### 5.2.3 InfoCircleInit.exe.config

- DBPath  
データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ。

#### 5.2.4 InfoCircleMsnd.config

- DBPath  
データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ。
- Interval  
インターバル。（初期値：5）  
伝達情報、返信情報を受信したときにメールを送信する時期を見つけるためのインターバルです（単位は分） 特に変更する必要はありません。
- MailFirst  
通知メール送信開始時間帯です。一日のうちで通知メールの送信を開始する時間帯です。これより早い時間帯に送信することはありません。（初期値：7時）
- MailLast  
通知メール送信最終時間帯です。一日のうちで通知メールの送信の最終時間帯です。これを過ぎた時間帯に送信することはありません。（初期値：21時）

#### 5.2.5 InfoCircleOR.exe.config

- DBPath  
データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ。
- Interval  
インターバル。（初期値：5）  
オフラインリクエスト時にオンライン中のユーザの存在を確認するためのインターバルです（単位は秒） 特に変更する必要はありません。

#### 5.2.6 InfoCircleTimeOut.exe.config

- Spare  
タイムアウトと判定する場合のゆとり時間です（初期値：2、単位は分）。特に変更する必要はありません。

#### 5.2.7 InfoCircleCSVCheck.ext.config

- CSVPath  
権限 CSV ファイルが置かれているサーバー上のディレクトリ。  
InfoCircleMng.exe.config と同様です。
- CodeLine  
CSV ファイルのコード行の始まりを示す文字列。  
本ソフトウェアで扱う全ての CSV ファイルでは、この文字列が現れるまでの行はコメントと見なします。

#### 5.2.8 AppSettings.config

- DBPath  
データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ。
- CSVPath  
権限 CSV ファイルが置かれているサーバー上のディレクトリ。  
InfoCircleMng.exe.config と同様です。
- CodeLine  
CSV ファイルのコード行の始まりを示す文字列。  
InfoCircleMng.exe.config と同様です。
- SelfEntSectionDef  
セルフエントリー（登録）セクション選択方法。  
1：[独立セクション](#)から所属するセクションを選択します。  
2：AppSettings.config にセットされた独立セクションに所属します。  
セルフエントリー（登録）可の場合で、本パラメータが存在しない場合、Orphan に所属します。
- SelfEntSection  
セルフエントリー（登録）指定セクションコード  
セルフエントリー（登録）可の場合で、セルフエントリー（登録）セクション選択方法で、セットされた独立セクションに所属する指定がなされていて、本パラメータが存在しない場合、Orphan に所属します。
- NRightFName  
[通常セクション送信権限ファイル](#)  
セルフエントリー（登録）セクション選択方法で、セットされた独立セクションに所属する指定がなされている場合、[通常セクション送信権限ファイル](#)は本パラメータで定義されたファイルを使用します。  
セルフエントリーしたユーザの通常セクションへの送信権限を規定したファイル。本パラメータが存在せず送信権限を規定した使用を定義した場合、エントリーしたユーザは通常セクションのどこへも送信権限が無いこととなります。また、送信権限を規定した使用をしない場合、本パラメータに意味はありません。
- NRightColCode  
[通常セクション送信権限該当列コード](#)  
セルフエントリー（登録）セクション選択方法で、セットされた独立セクションに所属する指定がなされている場合、[通常セクション送信権限該当列コード](#)は本パラメータで定義された列を使用します。  
セルフエントリーしたユーザの送信権限を規定したファイル内で送信権限のあるセクションを判別するためのコード。以下、NRightFName と同様。
- IRightFName  
[独立セクション送信権限ファイル](#)  
セルフエントリー（登録）セクション選択方法で、セットされた独立セクションに所属する指定がなされている場合、[独立セクション送信権限ファイル](#)は本パラメータで定義されたファイルを使用

します。

セルフエントリーしたユーザの独立セクションへの送信権限を規定したファイル。本パラメータが存在せず送信権限を規定した使用を定義した場合、エントリーしたユーザは独立セクションのどこへも送信権限が無いことになります。また、送信権限を規定した使用をしない場合、本パラメータに意味はありません。

- IRightColCode

[独立セクション送信権限該当列コード](#)

セルフエントリー（登録）セクション選択方法で、セットされた独立セクションに所属する指定がなされている場合、[独立セクション送信権限該当列コード](#)は本パラメータで定義された列を使用します。

セルフエントリーしたユーザの送信権限を規定したファイル内で送信権限のあるセクションを判別するためのコード。以下、IRightFNameと同様。

- RecoverSubject

パスワード回復メール Subject。

存在しない場合はデフォルト値がセットされます。

[返信情報受信通知アドレス](#)に送信するため、[返信情報受信通知アドレス](#)がセットされていない場合は送信は行いません。

（初期値："InfoCircle からのお知らせ"）

- RecoverContentsHeader1

パスワード回復メールメール内容ヘッダー1。

存在しない場合はデフォルト値がセットされる。

（初期値："あなたのパスワードは"）

- RecoverContentsHeader2

パスワード回復メールメール内容ヘッダー2。

存在しない場合はデフォルト値がセットされます。

パスワードは Header1 と Header2 の間に挿入して送信します。

（初期値："です。"）

➤ 尚、初期値のままのパスワード回復メールの形式は以下のようになります。

Subject : InfoCircle からのお知らせ

Contents : あなたのパスワードは

XXXXXX

です。

- ChangeSubject

パスワード変更通知メール Subject。

存在しない場合はデフォルト値がセットされます。

[返信情報受信通知アドレス](#)に送信するため、[返信情報受信通知アドレス](#)がセットされていない場合は送信は行いません。

（初期値："InfoCircle からのお知らせ"）

- ChangeContentsHeader1

パスワード変更通知メールメール内容ヘッダー1。

存在しない場合はデフォルト値がセットされます。

（初期値："あなたのパスワードは"）

- ChangeContentsHeader2

パスワード変更通知メールメール内容ヘッダー2。

存在しない場合はデフォルト値がセットされます。

（初期値："から"）

- ChangeContentsHeader3

パスワード変更通知メールメール内容ヘッダー3。

存在しない場合はデフォルト値がセットされます。

新旧パスワードは Header1、2、3 の間に挿入して送信します。

(初期値: "に変更されました。")

➤ 尚、初期値のままのパスワード変更メールの形式は以下のようになります。

Subject: InfoCircle からのお知らせ

Contents: あなたのパスワードは

XXXXXX

から

YYYYYY

に変更されました。

- DispUID  
宛先選択時及び送信内容表示時に送信先ユーザのユーザ ID の表示を"Y"又は"N"で指定します。  
(初期値: Y)
- DispSCode  
宛先選択時及び送信内容表示時に送信先ユーザの所属する所属セクションのセクションコードの表示を"Y"又は"N"で指定します。(初期値: Y)  
但し、宛先選択時のセクションツリービューには本指定に拘わらずセクションコードは表示されません。
- ReadUIDDisp  
ユーザが受信した伝達情報の内容を閲覧したとき、送信者が役割名でなく、実名で送信した場合、ユーザ ID を表示するかどうかを"Y"又は"N"で指定します。(初期値: Y)
- ResAttachNeed  
添付ファイルによる返信を要求している場合に返信要添付ファイルを必須とするかどうかを"Y"又は"N"で指定します。(初期値: Y)
- InfiniteRead  
閲覧期限のない伝達情報を作成することを許可するかどうかを"Y"又は"N"で指定します。  
(初期値: N)
- ReadFirst  
伝達情報の閲覧開始日の閲覧可能最早時刻。閲覧開始日のこれより早い時刻には受信一覧に表示されません。(初期値: 8時)
- AttachAllow  
伝達情報送信時にファイル添付を許可するかどうかを指定します。  
0=許可しない。(初期値)  
1=通常セクションに所属するユーザのみに許可する。  
2=全員に許可する。

尚、「AppSettings.config」を書き換えた場合、システムのレポート、または IIS の再起動を行う必要があります。それを行わない場合、InfoCircle に変更は反映されません。

## 6 システム構築手順

本ソフトウェアをインストールし、運用を開始するまでの手順は以下の通りです。

### 6.1 インストール

InfoCircleのソフトウェア群を[インストールの手順](#)に従ってインストールします。

### 6.2 [Config ファイル初期記入](#)

データベースのパス等、初期化に必要な最低限の [Config 情報](#)をメモ帳、その他で編集して設定します。

### 6.3 初期設定

初期化プログラムを起動し、データベースの[初期設定](#)をします。

### 6.4 InfoCircle 使用登録

ライセンスを取得し、ライセンス数とパスワードを入力して[ライセンス登録](#)を行います。

[評価使用](#)の場合、登録の必要はありません。

### 6.5 Config その他設定

その他の [Config 情報](#)をメモ帳、その他で編集して設定します。

### 6.6 セクション登録

組織、サークルを構成するセクションを[通常セクション登録用 CSV ファイル](#)の読み込み、或いは画面から入力して[登録](#)します。

### 6.7 ユーザ登録

本システムを使用するユーザを[ユーザ登録用 CSV ファイル](#)の読み込み、或いは画面から入力して[登録](#)します。

### 6.8 Web サーバーへの登録

Internet Information Server でサービスを開始するために登録を行います。

### 6.9 常駐プログラムの登録

InfoCircleResidentKick.exe を常駐プログラムとしてタスクスケジューラに登録する（推奨）か、スタートアップに入れます。

尚、データベースの初期設定の前に常駐プログラムを登録すると常駐プログラムが稼動し、データベースを参照してエラーになる可能性があります。常駐プログラムはエラーになり異常終了しても再度起動されますので機能的には問題ありませんがCPU パワーを浪費することになりますので常駐プログラムの登録はデータベースの初期設定を行ってからにしてください。

### 6.10 運用開始

以上の処理が完了した時点で本システムの運用は可能となります。

**ASP.NET の Web アプリケーションは初回起動時に中間言語で記述されたモジュールをコンパイルするため、時間がかかります。システム運用前及び、システム再起動時に動作確認を兼ねて一度ブラウザからログイン画面を表示させることをお勧めします。**

## 7 各管理者機能及び操作

### 7.1 インストール/アンインストール

#### 7.1.1 インストール

7.1.1.1 以下の手順に従って InfoCircle のプログラム群をインストールします。

Setup.exe を起動し、指示に従ってインストールを行います。

通常は C:\Program Files\Synergic Inc\InfoCircle に全てのプログラムとファイルがインストールされます。尚、本ソフトウェアは「.NET Framework 2.0」以上が必要です。インストールするマシンに .NET Framework 2.0 がインストールされていなければ本ソフトウェアの setup.exe を起動したときに「InfoCircle」のインストールに先立って .NET Framework 2.0 をインターネットよりダウンロードし、先にインストールされます。インターネットに接続されていない場合、「.NET Framework 2.0」を入手し、先にインストールしておいてください。

7.1.1.2 必要な場合、同封のサンプルデータを使用できる環境に入れ替えます。

項番 3.5 に記載の手順に従って、サンプルデータを所定の場所へ上書きコピーをします。

尚、「C:\Program Files\Synergic Inc\InfoCircle」に InfoCircle をインストールし、サンプルデータを上書きした場合、以下の処理は不要です。

- ◇ Config ファイル初期記入
- ◇ 初期設定
- ◇ その他の Config ファイルの設定
- ◇ セクション登録
- ◇ ユーザ登録

7.1.1.3 Config ファイル初期記入

- ◇ デフォルト値では「C:\Program Files\Synergic Inc\InfoCircle」に InfoCircle がインストールされるものとして記入されているので、そこにインストールされるのであれば特に変更する必要はありません。
- ◇ また、その他の Config ファイル内のパラメータも初期値を使用するのであれば特に記入は必要ありません。
- ◇ 別に場所に格納した場合、各 Config ファイルパラメータの「DBPath」の内容を修正します。

#### 7.1.2 アンインストール

7.1.2.1 バージョンアップのためのアンインストールの場合、以下の使用中データをバックアップします。

- インストールディレクトリ\Web\App\_Data (デフォルトでインストールした場合、C:\Program Files\Synergic Inc\InfoCircle\Web\App\_Data) の下の InfoCircleDb のフォルダ一式
- インストールディレクトリ\App\_Data の下の AppSettings.config を変更した場合、AppSettings.config ファイル

7.1.2.2 タスクスケジューラから InfoCircleResidentKick を削除します。

7.1.2.3 システムを再起動します (常駐プログラムを停止させるため)。

7.1.2.4 管理ツールを使用して InfoCircle をオフラインにします。

7.1.2.5 オフラインになったことを確認します。

7.1.2.6 その後、他のプログラムと同様にコントロールパネルから削除してください。

7.1.2.7 バージョンアップのためのアンインストールの場合、新しいバージョンをインストール後、バックアップを取ったフォルダとファイルを元の場所へ上書きコピーをして下さい。

## 7.2 初期設定

InfoCircle 初期設定プログラム ( InfoCircleInit.exe ) をスタートメニューより選択し、初期設定プログラムを起動します。

7.2.1 初期設定プログラムは Config パラメータ ( InfoCircleInit.exe.config ) で指定された場所のデータベースが初期化されていない場合のみ初期化が可能です。



- ・ 初期化ボタンをクリックすると InfoCircle のデータベースの初期化が行われます。
- ・ 初期化の内容は以下の通りです。
  - データベースの初期化  
データベースを初期化します。
  - ワークフォルダ作成  
以下のワークフォルダをデータベースが格納されているフォルダに作成します。
    - ◇ CSV
    - ◇ RattachSave
    - ◇ ResAttachFile
    - ◇ SattachSave
    - ◇ SaveTemp
  - 初期値のセット
    - ◇ コントロール情報  
コントロール情報に初期値をセットします。
    - ◇ 独立セクション  
独立セクションに以下の 2 セクションを追加します。
      - セクション名=「Orphan」、セクションコード=「0000」
      - セクション名=「Other1」、セクションコード=「X000」
  - 仮管理者の登録  
管理ツールを使用できる仮管理者を一人登録します。正しい管理者を登録後は削除しても問題ありません。
    - 名前：「InitialAdmin」
    - ユーザ ID：「000000」
    - ログインパスワード：「InfoCircle」
    - ユーザ種別：管理者
    - 所属セクション：「Orphan」

7.2.2 既に初期化が完了している場合はライセンス登録、アップグレードのみが行えます。



### 7.3 登録、アップグレード

7.3.1 登録、アップグレードは初期設定プログラムでも、管理ツールでも出来ます。

- ・ 登録、アップグレード方法は管理ツールのメニューのヘルプ(H) 登録、アップグレードをクリックし、登録画面を表示します。
- ・ 又は初期設定プログラムで初期化完了後、「登録」ボタンをクリックして登録画面を表示します。



- 入力項目は以下の通りです。
  - ◇ 登録者名  
ライセンス登録する名称を入力します。
  - ◇ 登録ライセンス数  
登録するライセンス数（ユーザ数）をコンボボックスより選択します。
  - ◇ パスワード  
登録パスワードを入力します。

## 7.4 管理ツール

InfoCircle 管理ツール ( InfoCrclMng.exe ) をスタートメニューより選択し、管理ツールを起動します。

### 7.4.1 ログイン

- ・ ユーザ ID とパスワードを入力して管理ツールにログインします。

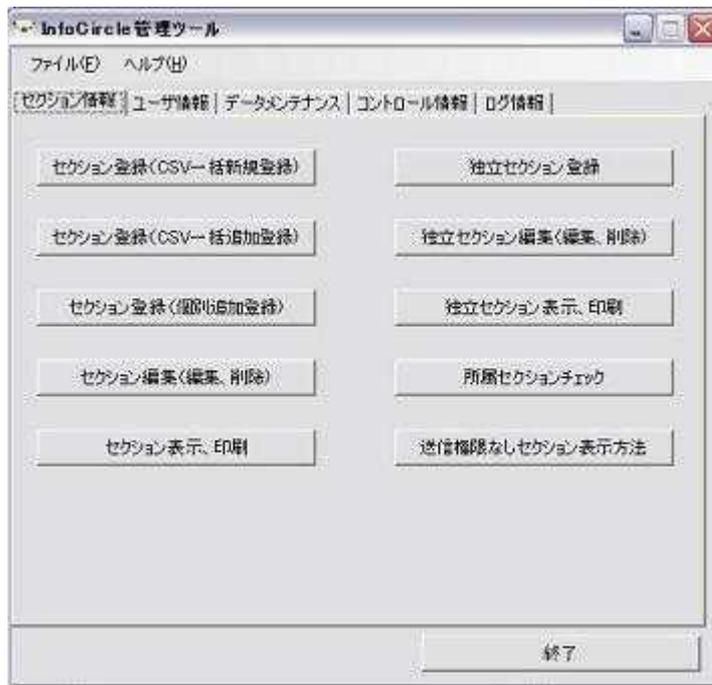


- ・ パスワードを忘れた場合、Question&Answer に正しく答えることによりパスワードを取り出すことができます。



ユーザ ID を入力し、選択した Question に対して正しい Answer を入力することによりパスワードが表示されます。

## 7.4.2 セクション情報



### 7.4.2.1 セクション登録 (CSV一括新規登録)

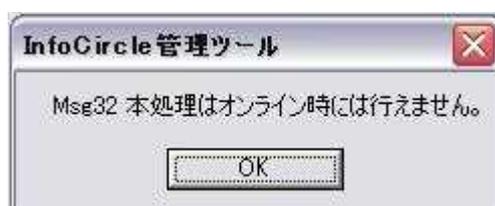
- ・ [通常セクション](#)を CSV ファイルより読み込んでデータベースに新規に登録します。

セクション登録(CSV一括新規登録)

- ・ 登録ボタンをクリック後、ファイルを選択します。



- ・ データベース上の古い通常セクション情報は破棄されます。
- ・ 尚、オンライン中の場合、本処理は行えません。



#### 7.4.2.2 セクション登録 (CSV一括追加登録)

- ・ [通常セクション](#)を CSV ファイルより読み込んで現在のデータベースに追加登録します。

セクション登録(CSV一括追加登録)

- ・ 登録ボタンをクリック後、ファイルを選択します。



#### 7.4.2.3 セクション登録用 CSV ファイルフォーマット

- ・ [通常セクション](#)を登録する CSV ファイルのフォーマットは以下の通りです。

コメント行									
.....									
.....									
Start 行(CodeLine)									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									
.....									

- ・ 各 Config ファイル内に記述されている「CodeLine」パラメータが CSV ファイル内の 1 列目に現れた行が Start 行になります。
- ・ それ以前の行はコメントと見なします。
- ・ スタート行の次の行からデータ行と見なします。

##### 始点セクションコード

- (ア) セクションツリーの始点セクションコードを指定します。
- (イ) 20 文字以内です。超えた場合、20 文字でカットされます。
- (ウ) 定義されていなければ終点がセクションツリーの先頭となります。
- (エ) 先頭は複数あっても構いません。

##### 終点セクションコード (該当セクション)

- (ア) 該当セクションのセクションコードを指定します。
- (イ) 20 文字以内です。超えた場合、20 文字でカットされます。

##### セクション名

(ア) セクション名を指定します。

(イ) 255 文字以内です。超えた場合、255 文字でカットされます。

#### 通常セクション権限 CSV ファイル名

(ア) 通常セクションへの送信権限を規定するファイルを指定します。

#### 通常セクション権限該当列コード

(イ) 通常セクションへの送信権限を規定するファイル内での該当列コードを指定します。

(ウ) 20 文字以内です。超えた場合 20 文字でカットされます。

#### 独立セクション権限 CSV ファイル名

(エ) 独立セクションへの送信権限を規定するファイルを指定します。

#### 独立セクション権限該当列コード

(オ) 独立セクションへの送信権限を規定するファイル内での該当列コードを指定します。

(カ) 20 文字以内です。超えた場合 20 文字でカットされます。

各行のターミネータ

各行を 8 列以上にする為に必要で、1 文字以上をセットします。文字種は特に規定しませんが分かりやすい「 - 」あたりにしておくことお勧めします。

以降はコメント列

- データ行のエラーチェックは以下の通りです。
  - セクションコードは終点には 1 回しか同じものは現れることはありません。
  - 始点に現れたセクションは必ず終点にも存在しているはずです。
  - ターミネータを入れて 8 列以上列が存在する必要があります。
  - 権限ファイルの指定は必須ではありません。無指定の場合はセクション毎に送信権限を規定したモードの場合、そのセクションに所属するユーザは送信権限がないことになります。
  - 権限ファイルを指定した場合は権限列コードも指定しなければなりません。

#### 7.4.2.4 セクション登録 (個別追加登録)

- 通常セクションを画面より現在のデータベースに追加登録します。

セクション登録(個別追加登録)

- 登録ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



- 画面から指定する項目は以下の通りです。
  - セクションコード
    - 登録する通常セクションのセクションコードを指定します。
    - 20 文字以内です。
  - セクション名
    - 登録する通常セクションのセクション名を入力します。
    - 255 文字以内です

◇ [通常セッション権限 CSV ファイル](#)

- 本セッションに所属するユーザの通常セッションへの送信権限を規定する権限ファイルを指定します。「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択します。権限ファイルはInfoCircleMng.exe.config内のCSVPathパラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。尚、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びユーザ個人毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。



◇ [通常セッション権限該当列コード](#)

- 通常セッション権限 CSV ファイル内での送信権限のあるセッションを判別するための列コードを指定します。同じく、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びユーザ個人毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。
- 20文字以内です。

◇ [独立セッション権限 CSV ファイル](#)

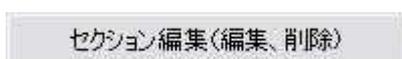
- 本セッションに所属するユーザの独立セッションへの送信権限を規定する権限ファイルを指定します。「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択します。権限ファイルはInfoCircleMng.exe.config内のCSVPathパラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。尚、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びユーザ個人毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。



- ◇ [独立セクション権限該当列コード](#)
    - 独立セクション権限 CSV ファイル内での送信権限のあるセクションを判別するための列コードを指定します。同じく、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びユーザ個人毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。
    - 20 文字以内です。
  - ◇ 上位セクションコード
    - 入力した通常セクションのツリー構造上での上位セクションのセクションコードを指定します。指定しない場合、最上位のセクションとなります。最上位セクションは複数存在しても構いません。
    - 20 文字以内です。
- 「セクションツリー表示」ボタンをクリックすることにより[通常セクション](#)のツリー情報を表示することが出来ます。

#### 7.4.2.5 セクション編集 (編集、削除)

- [通常セクション](#)の内容を画面より編集、削除します。



- 編集ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

- 画面から編集する項目は以下の通りです。
  - ◇ セクションコード
    - 編集する[通常セクション](#)のセクションコードを指定し、「検索」ボタンをクリックします。該当セクションが存在すればセクション名以下、すでにセットされている情報が各フィールドに埋め込まれます。該当セクションが存在しない場合、エラーメッセージが表示されます。
    - 編集するセクションの指定は「セクションツリー表示」ボタンをクリックし、セクションを表示して選択することも出来ます。



➤ 編集するセクションをツリー上からクリックし、「編集セクション選択」ボタンを押してセクションを選択します。

◇ セクション名

- 編集するセクションを選択すると現在のセクション名が表示されます。必要な場合、それを新しいセクション名に変更します。
- 255文字以内です。

◇ [通常セクション権限 CSV ファイル](#)

- 編集するセクションを選択すると通常セクションへの現在の送信権限ファイルが設定されていれば表示されます。必要な場合、「参照ボタン」をクリックして新しい権限ファイルを選択します。権限ファイルは InfoCircleMng.exe.config 内の CSVPath パラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。



- また、現在選択されているファイルが不要な場合、「削除」ボタンをクリックして権限ファイルが無指定にします。

◇ [通常セクション権限該当列コード](#)

- 編集するセクションを選択すると現在の送信権限該当列コードが設定されてい

ば表示されます。必要な場合、新しいコードに変更します。

- 20文字以内です。

◇ 独立セクション権限 CSV ファイル

- 編集するセクションを選択すると独立セクションへの現在の送信権限ファイルが設定されていれば表示されます。必要な場合、「参照ボタン」をクリックして新しい権限ファイルを選択します。権限ファイルは InfoCircleMng.exe.config 内の CSVPath パラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。



- また、現在選択されているファイルが不要な場合、「削除」ボタンをクリックして権限ファイルが無指定にします。

◇ 独立セクション権限該当列コード

- 編集するセクションを選択すると現在の送信権限該当列コードが設定されていれば表示されます。必要な場合、新しいコードに変更します。
- 20文字以内です。

◇ 上位セクションコード

- 編集するセクションを選択すると現在の上位セクションコードが設定されていれば表示されます。必要な場合、新しい上位セクションコードに変更します。最上位にする場合は現在の上位セクションコードを削除します。
- 20文字以内です。

➤ 更新

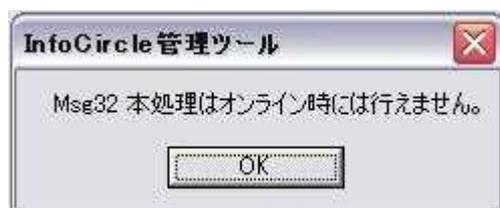
- ◇ 編集した情報に変更する場合、「更新」ボタンをクリックして通常セクション情報を更新します。

➤ 削除

- ◇ セクションコードで指定したセクションを削除します。

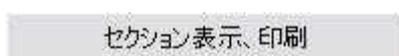


- 削除ボタンをクリックした場合、確認メッセージが表示され、それに同意した場合に削除されます。
- ◇ 削除したセクションに所属するユーザが存在するとき、そのユーザの所属先は[独立セクション](#)の [Orphan](#) になります。
- ◇ 削除はオフライン時にのみ可能です。



#### 7.4.2.6 セクション表示、印刷

- ・ データベース内に登録されている[通常セクション](#)を表示、印刷します。



- ・ 表示、印刷ボタンをクリックすると通常セクションの画面が表示されます。

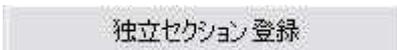


- ・ 上記画面で「セクション情報印刷」ボタンをクリックすると[通常セクション](#)の情報が印刷されます。

セクション情報	
O100, 大阪営業部, O120, 大阪営業2課, 大阪権限ファイル, OS, 大阪権限ファイル, OS	
O100, 大阪営業部, O130, 大阪営業3課, 大阪権限ファイル, OS, 大阪権限ファイル, OS	
O200, 大阪製造部, O210, 大阪製造1課, 大阪権限ファイル, OS, 大阪権限ファイル, OS	
T000, 東京オフィス, T200, 東京営業部, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
T300, 東京製造部, T330, 東京製造3課, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
T210, 東京営業1課, T211, 東京営業1課1係, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
, T000, 東京オフィス, Nothing, Nothing, Nothing, Nothing	
T210, 東京営業1課, T212, 東京営業1課2係, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
T210, 東京営業1課, T213, 東京営業1課3係, 東京権限ファイルX, TS, 東京権限ファイルX, TS	
, O000, 大阪オフィス, Nothing, Nothing, Nothing, Nothing	
O000, 大阪オフィス, O100, 大阪営業部, 大阪権限ファイル, OS, 大阪権限ファイル, OS	
O000, 大阪オフィス, O200, 大阪製造部, 大阪権限ファイル, OS, 大阪権限ファイル, OS	
T000, 東京オフィス, T300, 東京製造部, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
T200, 東京営業部, T210, 東京営業1課, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
T200, 東京営業部, T220, 東京営業2課, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
T200, 東京営業部, T230, 東京営業3課, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
T300, 東京製造部, T310, 東京製造1課, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
T300, 東京製造部, T320, 東京製造2課, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
O100, 大阪営業部, O110, 大阪営業1課, 大阪権限ファイル, OS, 大阪権限ファイル, OS	
O200, 大阪製造部, O220, 大阪製造2課, 大阪権限ファイル, OS, 大阪権限ファイル, OS	
O200, 大阪製造部, O230, 大阪製造3課, 大阪権限ファイル, OS, 大阪権限ファイル, OS	
T220, 東京営業2課, T221, 東京営業2課1係, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
T220, 東京営業2課, T222, 東京営業2課2係, 東京権限ファイル, TS, 東京権限ファイル, TS	
, N000, 名古屋オフィス, Nothing, Nothing, Nothing, Nothing	
, N110, 名古屋営業部1課, 名古屋権限ファイル, NS, 名古屋権限ファイル, NS	
, N120, 名古屋営業部2課, 名古屋権限ファイル, NS, 名古屋権限ファイル, NS	
, K000, 九州支店, Nothing, Nothing, Nothing, Nothing	

#### 7.4.2.7 独立セクション登録

- ・ [独立セクション](#)を画面より現在のデータベースに追加登録します。



- ・ 登録ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

- 画面から指定する項目は以下の通りです。

- ◇ [独立セクションコード](#)

- 登録する[独立セクション](#)のセクションコードを指定します。
- 20文字以内です。

- ◇ [セクション名](#)

- 登録する[独立セクション](#)のセクション名を入力します。
- 255文字以内です。

- ◇ [通常セクション権限 CSV ファイル](#)

- 本セクションに所属するユーザの通常セクションへの送信権限を規定する権限ファイルを指定します。「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択します。権限ファイルはInfoCircleMng.exe.config内のCSVPathパラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。尚、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びユーザ個人毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。



◇ [通常セッション権限該当列コード](#)

- 通常セッション権限 CSV ファイル内での送信権限のあるセッションを判別するための列コードを指定します。同じく、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びユーザ個人毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。
- 20 文字以内です。

◇ [独立セッション権限 CSV ファイル](#)

- 本セッションに所属するユーザの独立セッションへの送信権限を規定する権限ファイルを選択します。「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択します。権限ファイルは InfoCircleMng.exe.config 内の CSVPath パラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。尚、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びユーザ個人毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。



◇ [独立セッション権限該当列コード](#)

- 独立セッション権限 CSV ファイル内での送信権限のあるセッションを判別するための列コードを指定します。同じく、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びユーザ個人毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。
- 20 文字以内です。

#### 7.4.2.8 独立セクション編集（編集、削除）

- ・ [独立セクション](#)の内容を画面より編集、削除します。

独立セクション編集(編集、削除)

- ・ 編集ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

独立セクション編集(編集、削除)

セクションコード  検索 独立セクション表示

セクション名

通常セクション権限CSVファイル  参照

通常セクション権限該当コード  削除

独立セクション権限CSVファイル  参照

独立セクション権限該当コード  削除

更新 削除 戻る

- 画面から編集する項目は以下の通りです。

##### ◇ セクションコード

- 編集する[独立セクション](#)のセクションコードを指定し、「検索」ボタンをクリックします。該当セクションが存在すればセクション名以下、すでにセットされている情報が各フィールドに埋め込まれます。該当セクションが存在しない場合、エラーメッセージが表示されます。
- 編集するセクションの指定は「独立セクション表示」ボタンをクリックし、セクションを表示して選択することも出来ます。

独立セクション選択

セクションコード	セクション名	通常セクション権限ファイル	列コード	独立セクション権限ファイル	列コード
0000	Orphan				
X000	Other1	Other権限ファイル1.csv	1	Other権限ファイル2.csv	11
X01	Other2	Other権限ファイル1.csv	2	Other権限ファイル2.csv	22
X02	X02Section	Other権限ファイル1.csv	3	Other権限ファイル2.csv	33
X03	X03Section	Other権限ファイル1.csv	4	Other権限ファイル2.csv	44
X04	X04Section	Other権限ファイル1.csv	5	Other権限ファイル2.csv	55
X05	X05Section	Other権限ファイル1.csv	6	Other権限ファイル2.csv	66
*					

戻る 独立セクション選択 選択セクション: X000

- 編集するセクションをツリー上からクリックし、「独立セクション選択」ボタンを押してセクションを選択します。

##### ◇ セクション名

- 編集するセクションを選択すると現在のセクション名が表示されます。必要な場合、それを新しいセクション名に変更します。
- 255文字以内です。

##### ◇ [通常セクション権限 CSV ファイル](#)

- 編集するセクションを選択すると通常セクションへの現在の送信権限ファイルが

設定されていけば表示されます。必要な場合、「参照ボタン」をクリックして新しい権限ファイルを選択します。権限ファイルは InfoCircleMng.exe.config 内の CSVPath パラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。



- また、現在選択されているファイルが不要な場合、「削除」ボタンをクリックして権限ファイルが無指定にします。

◇ [通常セッション権限該当列コード](#)

- 編集するセッションを選択すると現在の送信権限該当列コードが設定されていけば表示されます。必要な場合、新しいコードに変更します。
- 20 文字以内です。

◇ [独立セッション権限 CSV ファイル](#)

- 編集するセッションを選択すると独立セッションへの現在の送信権限ファイルが設定されていけば表示されます。必要な場合、「参照ボタン」をクリックして新しい権限ファイルを選択します。権限ファイルは InfoCircleMng.exe.config 内の CSVPath パラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。



- また、現在選択されているファイルが不要な場合、「削除」ボタンをクリックして権限ファイルを無指定にします。

◇ [独立セクション権限該当列コード](#)

- 編集するセクションを選択すると現在の送信権限該当列コードが設定されていれば表示されます。必要な場合、新しいコードに変更します。
- 20文字以内です。

➤ 更新

- ◇ 編集した情報に変更する場合、「更新」ボタンをクリックして[独立セクション](#)情報を更新します。

➤ 削除

- ◇ セクションコードで指定したセクションを削除します。



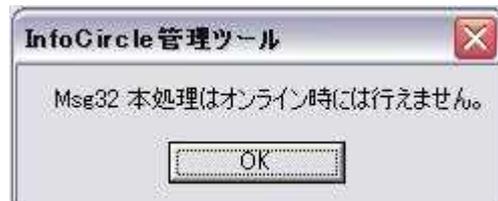
- 削除ボタンをクリックした場合、確認メッセージが表示され、それに同意した場合に削除されます。

- ◇ 削除したセクションに所属するユーザが存在するとき、そのユーザの所属先は[独立セクション](#)の [Orphan](#) になります。

◇

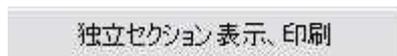
- ◇ 尚、セクションコード：0000 の Orphan は削除できません。

- ◇ 削除はオフライン時のみ可能です。



#### 7.4.2.9 独立セクション表示、印刷

- データベース内に登録されている[独立セクション](#)を表示、印刷します。



- 表示、印刷ボタンをクリックすると独立セクションの画面が表示されます。



- ・ 上記画面で「独立セクション情報印刷」ボタンをクリックすると独立セクションの情報が印刷されます。

```

独立セクション情報
0000, Orphan, Nothing, Nothing, Nothing, Nothing
X000, Other1, Other権限ファイル1.csv, 1, Other権限ファイル2.csv, 11
X01, Other2, Other権限ファイル1.csv, 2, Other権限ファイル2.csv, 22
X02, X02Section, Other権限ファイル1.csv, 3, Other権限ファイル2.csv, 33
X03, X03Section, Other権限ファイル1.csv, 4, Other権限ファイル2.csv, 44
X04, X04Section, Other権限ファイル1.csv, 5, Other権限ファイル2.csv, 55
X05, X05Section, Other権限ファイル1.csv, 6, Other権限ファイル2.csv, 66

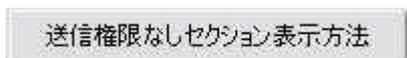
```

#### 7.4.2.10 所属セクションチェック

- ・ ユーザを異動する前にセクションを削除したとき等に発生する所属セクションの存在しないユーザの有無を確認します。所属セクションの存在しないユーザは独立セクションの [Orphan](#) に所属先が変更されます。

#### 7.4.2.11 送信権限なしセクション表示方法

- ・ 伝達情報を送信する宛先を選択する際、送信権限のないセクションも宛先選択画面に表示するかどうかを指定します。



- ・ 上記ボタンをクリックすると「送信権限なしセクション表示方法」を変更する画面が表示され、必要に応じて変更します。



## 7.4.3 ユーザ情報



### 7.4.3.1 ユーザ登録 (CSV一括新規登録)

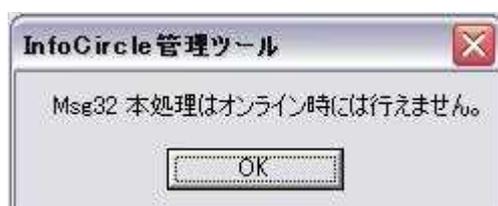
- ユーザ情報を CSV ファイルより読み込んでデータベースに新規に登録します。

ユーザ登録(CSV一括新規登録)

- 登録ボタンをクリック後、ファイルを選択します。



- データベース上の古いユーザ情報は破棄されます。
- 尚、オンライン中の場合、本処理は行えません。





- (ア) ユーザ名です。
- (イ) 255 文字以内です。超えた場合 255 文字でカットされます。
- (ウ) 無条件必須項目です。

#### 役割名

- (ア) [役割名](#)です。
- (イ) 255 文字以内です。超えた場合 255 文字でカットされます。
- (ウ) 必須項目かどうかはコントロール情報での設定によります。

#### 種別

- (ア) ユーザ種別です。一般ユーザ / 管理者の種別を指定します。
- (イ) 管理者の場合、半角で「Admin」と指定します。、その他は未定義も含めて全て一般ユーザです。

#### 所属セクションコード

- (ア) 所属するセクションのコードです。
- (イ) 文字数は特にチェックしませんがセクションコード自体が 20 文字以内のため、それを超えると所属セクションが存在せず、必然的にエラーになります。
- (ウ) 無条件必須項目です。

#### 生年月日

- (ア) ユーザの生年月日を 8 桁の半角数字で指定します。
- (イ) 「YYYYMMDD」の形式です。
- (ウ) 必須項目かどうかはコントロール情報での設定によります。

#### 住所

- (ア) 住所を設定します。
- (イ) 255 文字以内です。超えた場合 255 文字でカットされます。
- (ウ) 必須項目かどうかはコントロール情報での設定によります。

#### 電話番号

- (ア) 電話番号を設定します。
- (イ) 50 文字以内です。超えた場合 50 文字でカットされます。
- (ウ) 必須項目かどうかはコントロール情報での設定によります。

#### 自由欄

- (ア) 自由欄です。設定内容に規定はありません。
- (イ) 必須項目かどうかはコントロール情報での設定によります。

#### [伝達情報受信通知アドレス](#)

- (ア) 伝達情報受信通知アドレスです。
- (イ) 255 文字以内です。超えた場合 255 文字でカットされます。
- (ウ) 必須項目かどうかはコントロール情報での設定によります。

#### [返信情報受信通知アドレス](#)

- (ア) 返信情報受信通知アドレスです。
- (イ) 255 文字以内です。超えた場合 255 文字でカットされます。
- (ウ) 必須項目かどうかはコントロール情報での設定によります。

#### 質問番号

- (ア) [Question&Answer](#) の質問番号です。
- (イ) 0~4 の半角数字で指定します。
- (ウ) 必須項目かどうかはコントロール情報での設定によります。

#### 答え

- (ア) Question&Answer の答えです。
- (イ) 255 文字以内です。超えた場合 255 文字でカットされます。
- (ウ) 必須項目かどうかはコントロール情報での設定によります。

#### [通常セクション送信権限ファイル名](#)

- (ア) 通常セクションへの送信権限を規定するファイルを指定します。

#### [通常セクション送信該当列コード](#)

- (ア) 通常セクションへの送信権限を規定するファイル内での該当列コードを指定します。
- (イ) 20文字以内です。超えた場合20文字でカットされます。

独立セクション送信権限ファイル名

- (ア) 独立セクションへの送信権限を規定するファイルを指定します。

独立セクション送信該当列コード

- (ア) 独立セクションへの送信権限を規定するファイル内での該当列コードを指定します。
- (イ) 20文字以内です。超えた場合20文字でカットされます。

ターミネータ

各行を18列以上にする為に必要で、1文字以上をセットします。文字種は特に規定しません  
 が分かりやすい「 - 」あたりにしておくことお勧めします。

以降はコメント列

- データ行のエラーチェックは以下の通りです。
  - 無条件必須項目に対する設定の有無
  - 条件必須項目に対する設定の有無
  - ユーザIDの重複
  - 所属コードの存在
  - Question&Answerの質問番号範囲チェック
  - ユーザID禁止コードチェック
  - 生年月日フォーマットチェック

7.4.3.4 ユーザ登録（個別追加登録）

- ユーザ情報を画面より現在のデータベースに追加登録します。



- 登録ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

- 画面から入力する項目は以下の通りです。
- ◇ ユーザ ID
    - 登録するユーザのユーザ ID を入力します。
    - 30 文字以内です。
  
  - ◇ パスワード
    - パスワードを入力します。
    - 255 文字以内です。
  
  - ◇ 名前
    - 名前を入力します。
    - 255 文字以内です。
  
  - ◇ 役割名
    - [役割名](#)を入力します。
    - 255 文字以内です。
  
  - ◇ ユーザ種別
    - 登録するユーザの[ユーザ種別](#)を指定します。
  
  - ◇ 所属セクションコード
    - ユーザが所属するセクションのセクションコードを入力します。
  
  - ◇ 生年月日
    - ユーザの生年月日を西暦で 8 桁の数字 (YYYYMMDD 形式) で入力します。
  
  - ◇ 住所
    - ユーザの住所を入力します。
    - 255 文字以内です。
  
  - ◇ 電話番号
    - ユーザの電話番号を入力します。特に数字である必要はなく形式チェックは行いません。
    - 50 文字以内です。
  
  - ◇ 伝達情報受信通知メールアドレス
    - 伝達情報を受信したときにそれをメールで受け取る[伝達情報受信通知メールアドレス](#)を入力します。
    - 255 文字以内です。
  
  - ◇ 返信情報受信、パスワード回復通知アドレス
    - 返信情報を受信したときの通知、及びパスワード回復のメールを受け取る[返信情報受信通知メールアドレス](#)を入力します。
    - 255 文字以内です。
  
  - ◇ Question
    - パスワードを忘れたときの回復のための質問をコンボボックスより選択します。
  
  - ◇ Answer
    - パスワードを忘れたときの回復のための質問に対する回答を入力します。

- 255 文字以内です。
- ◇ 自由欄
- コメント等、必要があれば記入します。
- ◇ [通常セクション権限 CSV ファイル](#)
- 本ユーザの通常セクションへの送信権限を規定する権限ファイルを指定します。  
「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択します。権限ファイルは InfoCircleMng.exe.config 内の CSVPath パラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。尚、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びセクション毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。



- ◇ [通常セクション権限該当列コード](#)
- 通常セクション権限 CSV ファイル内での送信権限のあるセクションを判別するための列コードを指定します。同じく、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びセクション毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。
  - 20 文字以内です。
- ◇ [独立セクション権限 CSV ファイル](#)
- 本ユーザの独立セクションへの送信権限を規定する権限ファイルを指定します。  
「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択します。権限ファイルは InfoCircleMng.exe.config 内の CSVPath パラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。尚、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びセクション毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません



◇ [独立セクション権限該当列コード](#)

- 独立セクション権限 CSV ファイル内での送信権限のあるセクションを判別するための列コードを指定します。同じく、送信権限を規定したモードで運用しない場合、及びセクション毎に送信権限を指定する場合は特に意味はありません。
- 20 文字以内です。

➤ 「\*」印の項目は必須項目です。コントロール情報の指定により必須項目は異なります。

7.4.3.5 ユーザ編集（編集、削除）

- ・ ユーザ情報を画面より編集します。



- ・ 編集ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

- 画面から編集する項目は以下の通りです。

◇ ユーザ ID

- 編集するユーザのユーザ ID 指定し、「検索」ボタンをクリックします。該当ユーザが存在すれば名前以下、すでにセットされている情報が各フィールドに埋め込まれます。該当ユーザが存在しない場合、エラーメッセージが表示されます。
- 編集するユーザの指定は「表示」ボタンをクリックし、ユーザ選択画面を表示して選択することも出来ます。

ユーザID	ユーザ名	役割名	所属セッションコード	セッション名
1	管理 太郎	管理者	0000	Orphan
10	森田 もんた		X001	Other2
9	小池 伸晃		X000	Other1
5	徳川 正宗		X000	Other1
2	小沢 太郎		X000	Other1
7	Barack Clinton	Rival	X000	Other1
3	Mick McCartney		X000	Other1
6	源 清盛		X000	Other1
*				

- 編集するユーザを一覧表からクリックし、「ユーザー選択」ボタンを押してユーザを選択します。

◇ パスワード

- 変更する必要がある場合は新しいパスワードを入力します。空白の場合、パスワードは

- 変更されません。尚、選択されたユーザの現在のパスワードは表示されません。
- 255 文字以内です。
- ◇ 名前
- 編集するユーザを選択すると現在の名前が表示されます。必要な場合、それを新しい名前に変更します
  - 255 文字以内です。
- ◇ 役割名
- 編集するユーザを選択すると現在の[役割名](#)が設定されていれば表示されます。必要な場合、それを新しい[役割名](#)に変更します
  - 255 文字以内です。
- ◇ ユーザ種別
- 編集するユーザを選択すると現在の[ユーザ種別](#)が表示されます。必要な場合、それを変更します。
- ◇ 所属セクションコード
- 編集するユーザを選択すると現在所属しているセクションのセクションコードが表示されます。必要な場合、それを変更します。
- ◇ 生年月日
- 編集するユーザを選択するとユーザの生年月日が設定されていれば8桁の数字（YYYYMMDD形式）で表示されます。必要な場合、それを変更します。
- ◇ 住所
- 編集するユーザを選択するとユーザの住所が設定されていれば表示されます。必要な場合、それを変更します。
  - 255 文字以内です。
- ◇ 電話番号
- 編集するユーザを選択するとユーザの電話番号が設定されていれば表示されます。必要な場合、それを変更します。特に数字である必要はなく形式チェックは行いません。
  - 50 文字以内です。
- ◇ 伝達情報受信通知メールアドレス
- 編集するユーザを選択すると伝達情報を受信したときにそれをメールで受け取る[伝達情報受信通知メールアドレス](#)が設定されていれば表示されます。必要な場合、それを変更します。
  - 255 文字以内です。
- ◇ 返信情報受信、パスワード回復通知アドレス
- 編集するユーザを選択すると伝達情報を受信したときにそれをメールで受け取る返信情報を受信したときの通知、及びパスワード回復のメールを受け取る[返信情報受信通知メールアドレス](#)が設定されていれば表示されます。必要な場合、それを変更します。
  - 255 文字以内です。
- ◇ Question

- 編集するユーザを選択するとパスワードを忘れたときの回復のための質問が設定されていれば表示されます。必要な場合、それを変更します
- ◇ Answer
- パスワードを忘れたときの回復のための質問に対する回答を入力します。選択されたユーザの回答が設定されていても表示はされません。
  - 255文字以内です。
- ◇ 自由欄
- 編集するユーザを選択するとコメント等が設定されていれば表示されます。必要な場合、それを変更します。
- ◇ [通常セクション権限 CSV ファイル](#)
- 編集するユーザを選択すると通常セクションへの現在の送信権限ファイルが設定されていれば表示されます。必要な場合、「参照ボタン」をクリックして新しい権限ファイルを選択します。権限ファイルは InfoCircleMng.exe.config 内の CSVPath パラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。



- また、現在選択されているファイルが不要な場合、「削除」ボタンをクリックして権限ファイルを無指定にします。
- ◇ [通常セクション権限該当列コード](#)
- 編集するユーザを選択すると現在の送信権限該当列コードが設定されていれば表示されます。必要な場合、新しいコードに変更します。
  - 20文字以内です。
- ◇ [独立セクション権限 CSV ファイル](#)
- 編集するユーザを選択すると独立セクションへの現在の送信権限ファイルが設定されていれば表示されます。必要な場合、「参照ボタン」をクリックして新しい権限ファイルを選択します。権限ファイルは InfoCircleMng.exe.config 内の CSVPath パラメータが指定するディレクトリ内のものでなければならず、存在するフォルダが指定時に変更されるとエラーになります。



- また、現在選択されているファイルが不要な場合、「削除」ボタンをクリックして権限ファイルが無指定にします。

◇ 独立セッション権限該当列コード

- 編集するユーザを選択すると現在の送信権限該当列コードが設定されていれば表示されます。必要な場合、新しいコードに変更します。
- 20文字以内です。

➤ 「\*」印の項目は必須項目です。コントロール情報の指定により必須項目は異なります。

➤ 更新

- ◇ 編集した情報に変更する場合、「更新」ボタンをクリックしてユーザ情報を更新します。

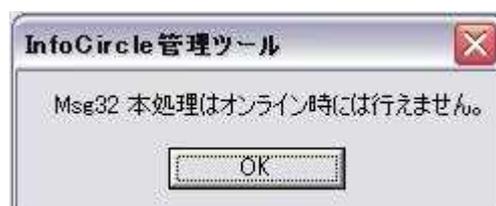
➤ 削除

- ◇ ユーザ ID で指定したユーザを**仮削除**します。



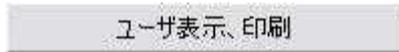
- 削除ボタンをクリックした場合、確認メッセージが表示され、それに同意した場合に**仮削除**されます。

- ◇ 削除はオフライン時のみ可能です。



#### 7.4.3.6 ユーザ表示、印刷

- データベース内に登録されているユーザ情報を表示、印刷します。



- 表示、印刷ボタンをクリックするとユーザ一覧の画面が表示されます。



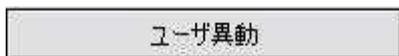
ユーザID	ユーザ名	役割名	所属セクションコード	セクション名
1	管理 太郎	管理者	0000	Orphan
10	森田 もんた		X01	Other2
9	小池 伸晃		X000	Other1
5	徳川 正宗		X000	Other1
2	小沢 太郎		X000	Other1
7	Barack Clinton	Rival	X000	Other1
3	Mick McCartney		X000	Other1
6	源 清盛		X000	Other1
*				

- 上記画面で「ユーザ情報印刷」ボタンをクリックするとユーザの情報が印刷されます。

```
ユーザ情報
EntryDate = 0:00:00, UID = 1, Name = 管理 太郎, Role = 管理者, Kind = Admin, Section
Code = 0000, Section Name = Orphan, Message Receive Notice Address = info@synergic-
s.com.com, Response Receive Notice Address = masuya@synergic-s.com
EntryDate = 2008/04/30, UID = 10, Name = 森田 もんた, Role = , Kind = Member, Section
Code = X01, Section Name = Other2, Message Receive Notice Address = , Response
Receive Notice Address =
EntryDate = 2008/05/01, UID = 9, Name = 小池 伸晃, Role = , Kind = Member, Section
Code = X000, Section Name = Other1, Message Receive Notice Address = , Response
Receive Notice Address =
EntryDate = 2008/06/02, UID = 5, Name = 徳川 正宗, Role = , Kind = Member, Section
Code = X000, Section Name = Other1, Message Receive Notice Address = , Response
Receive Notice Address =
EntryDate = 2008/06/02, UID = 2, Name = 小沢 太郎, Role = , Kind = Member, Section
Code = X000, Section Name = Other1, Message Receive Notice Address = , Response
Receive Notice Address =
EntryDate = 2008/06/02, UID = 7, Name = Barack Clinton, Role = Rival, Kind = Member,
Section Code = X000, Section Name = Other1, Message Receive Notice Address = ,
Response Receive Notice Address =
EntryDate = 0:00:00, UID = 3, Name = Mick McCartney, Role = , Kind = Member, Section
Code = X000, Section Name = Other1, Message Receive Notice Address = , Response
Receive Notice Address =
EntryDate = 0:00:00, UID = 6, Name = 源 清盛, Role = , Kind = Member, Section Code =
X000, Section Name = Other1, Message Receive Notice Address = , Response Receive
Notice Address =
```

#### 7.4.3.7 ユーザ異動

- 組織変更等でセクションが無くなる、或いは合併により消滅する際に旧セクションに所属しているユーザを別のセクションに異動します。



- 「ユーザ異動」ボタンをクリックするとユーザ異動画面が表示されます。

- 所属するユーザを異動する異動元のセクションコードを指定し、「検索」ボタンをクリックします。該当セクションが存在すれば移動元セクション名が埋め込まれます。該当セクションが存在しない場合、エラーメッセージが表示されます。
- 移動元セクションの指定は「セクション表示」ボタンをクリックし、セクションを表示して選択することも出来ます。
  - ◇ その場合、最初に通常セクションか独立セクションかを選択します。

- ◇ 次にそれぞれの選択画面から移動元のセクションを選択します。
  - 通常セクションの場合

- 独立セクションの場合



- 移動先セクションの指定は「セクション表示」ボタンをクリックし、セクションを表示して選択することも出来ます。
  - ◇ その場合、最初に通常セクションか独立セクションかを選択します。



- ◇ 次にそれぞれの選択画面から移動元のセクションを選択します。

- 通常セクションの場合

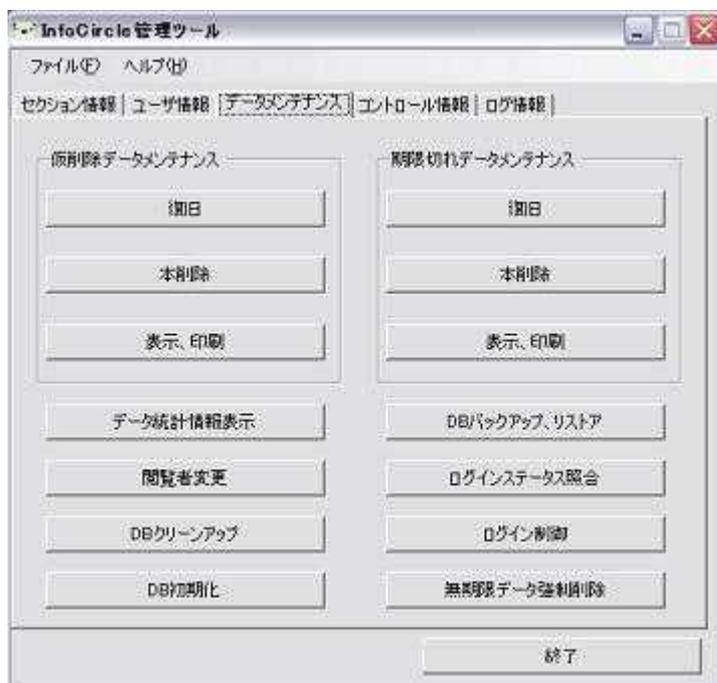


- 独立セクションの場合



- 「異動」ボタンをクリックすることにより異動元セクションに所属しているユーザは全て移動先セクションに所属が変わります。

#### 7.4.4 データメンテナンス



##### 7.4.4.1 仮削除データメンテナンス

###### 7.4.4.1.1 復旧

- ・ユーザが（仮）削除した伝達情報を復旧します。

###### 7.4.4.1.2 本削除

- ・ユーザが（仮）削除した伝達情報を完全に削除します。

###### 7.4.4.1.3 表示、印刷

- ・ユーザが（仮）削除した伝達情報の一覧を表示、印刷します。

##### 7.4.4.2 期限切れデータメンテナンス

###### 7.4.4.2.1 復旧

- ・ [閲覧期限](#)が過ぎた伝達情報の閲覧期限を変更し、閲覧を可能にします。

#### 7.4.4.2.2 本削除

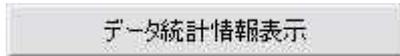
- ・ [閲覧期限](#)が過ぎた伝達情報を完全に削除します。

#### 7.4.4.2.3 表示、印刷

- ・ [閲覧期限](#)が過ぎた伝達情報の一覧を表示、印刷します。

#### 7.4.4.3 データ統計情報表示

- ・ データベースのデータ件数、使用率を表示、印刷します。DB クリーンアップ、ログクリアの必要性の検証等に使用します。



- ・ 「データ統計表示」ボタンをクリックするとデータ統計表示画面が表示されます。



- ・ 上記画面で「印刷」ボタンをクリックすると統計情報が印刷されます。

InfoCircleデータ統計情報

- ・全有効データ数: 0
- ・期限内、且つタイムリミット内: 0
- ・期限内でタイムリミットオーバー: 0
- ・期限切れでタイムリミット内: 0
- ・期限切れ、且つタイムリミットオーバー: 0

- ・全仮削除データ数: 0
- ・期限内、且つタイムリミット内: 0
- ・期限内でタイムリミットオーバー: 0
- ・期限切れでタイムリミット内: 0
- ・期限切れ、且つタイムリミットオーバー: 0

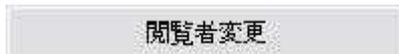
- ・全有効データ数: 0
- ・タイムリミット内: 0
- ・タイムリミットオーバー: 0

- ・全仮削除データ数: 0
- ・タイムリミット内: 0
- ・タイムリミットオーバー: 0

伝達情報データベース使用率: 0.01%  
ログデータベース使用率: 0.01%

#### 7.4.4.4 閲覧者変更

- ・ 伝達情報の送信先を変更して閲覧者を変更します。



- ・ 「閲覧者変更」ボタンをクリックすると閲覧者変更画面が表示されます

- 上記画面で各種条件を設定します。
  - ◇ 変更する閲覧者の指定
    - 変更前閲覧者ユーザ ID
    - 変更後閲覧者ユーザ ID

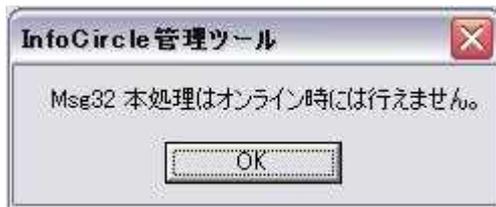
- ◇ 閲覧者を変更する伝達情報の種別
  - 未読  
現閲覧者によってまだ内容を閲覧されていない伝達情報のみを対象
  - 全て  
全ての伝達情報を対象
  - 既読  
前閲覧者によって内容を閲覧された伝達情報のみを対象
  
- ◇ 上記種別のうちで更に閲覧者を変更する伝達情報の閲覧開始日の期間
  - 期間指定  
伝達情報の閲覧開始日の範囲を指定し、その範囲に閲覧開始日になるもののみを対象
  - 全期間  
全ての期間の伝達情報を対象

➤ 変更

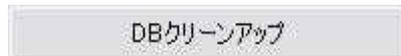
- ◇ 「変更」ボタンをクリックし、変更確認に同意することにより閲覧者を変更します。



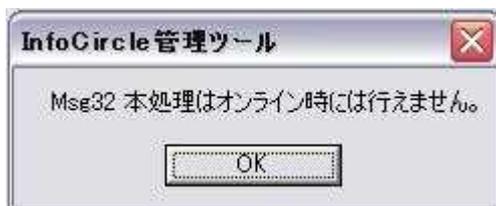
- ・ 本機能はオンライン時には使用できません。



#### 7.4.4.5 DB クリーンアップ



- ・ InfoCircle データベースから[保存タイムリミット](#)オーバーの伝達情報等、不要な情報を取り除きます。
- ・ タイマオペレーションでも同様の処理を行うので通常は本処理を行う必要はありません。サーバートラブル等で発生したタイマオペレーションでは削除しきれない不要データ存在の可能性がある場合のみに行います。その判断は「データ統計情報」より行います。
- ・ 本機能はオンライン時には使用できません。



#### 7.4.4.6 DB 初期化

- InfoCircle のデータベースを初期化します。



- 「DB 初期化」ボタンをクリックすると DB 初期化画面が表示されます。



- 初期化対象を選択します。

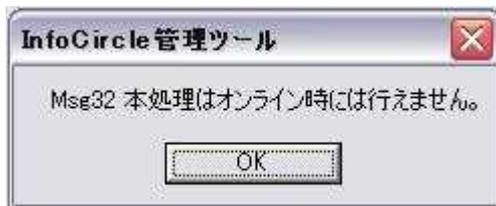
- ◇ 完全初期化

- 全ての情報が削除されデータベースは完全に初期化され、インストール直後に行った初期化と同じ状態になります。
- 尚、ライセンス登録情報は保持されます。
- 

- ◇ 伝達情報初期化

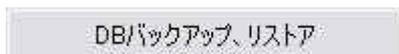
- 伝達情報と返信情報のみクリアされ、ユーザ情報、セクション情報等は保持されます。
- 同じく、ライセンス登録情報も保持されます。

- 通常本機能は頻繁に使用するものではありません。テスト使用終了後、本稼動に向けて初期化を行う必要がある場合等が主な使用目的です。
- 本機能はオンライン時には使用できません。



#### 7.4.4.7 DB バックアップ、リストア

- InfoCircle データベースのバックアップ、リストアを行います。



- 「DB バックアップ、リストア」ボタンをクリックすると DB バックアップ、リストア画面が表示されます。



- 処理を選択します。
- ◇ バックアップ



- 確認メッセージが表示され、それに合意すると、バックアップ先選択画面が表示され、バックアップ先フォルダを指定するとその場所へバックアップが作成されます。



- バックアップは指定されたフォルダの下に「InfoCircleBackUp\_YYMMDDHHMMSS」の形式のサブフォルダが作成され、その中に InfoCircle の必要な情報がバックアップされます。

- ◇ リストア

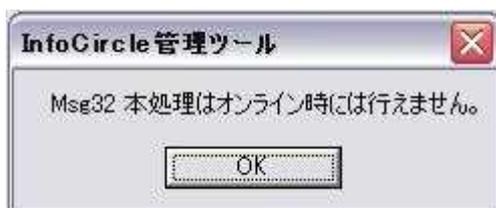


- 確認メッセージが表示され、それに合意すると、リストア元選択画面が表示され、リストア元フォルダを指定するとその場所からリストアデータを取り出し、リストアします。



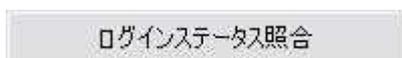
- リストアは指定されたフォルダの中に全ての情報が揃っていないと行われません。
- リストアは現在の InfoCircle のデータベースを全て入れ替えますので、余分なファイルが InfoCircle で使用しているフォルダ内に存在した場合はそれも削除します。
- また、管理者も変更されているかも知れず、そのためリストア完了後、管理ツール終了します。

- ・ 本機能はオンライン時には使用できません。



#### 7.4.4.8 ログインステータス照合

- ・ InfoCircle の現在の [ステータス](#) (オンライン / オフライン / オフラインリクエスト中) を表示します。



- ・ 「ログインステータス照合」ボタンをクリックすると現在のステータスが表示されます。



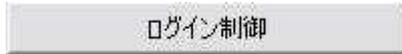
- ステータス
  - ◇ オンライン
    - ユーザがログインして伝達情報を送受信できるモードです。
  - ◇ オフライン
    - ユーザはログインできず、本ソフトウェアをユーザは使用できないモードです。

◇ オフラインリクエスト中

- 現在ログインしているユーザは引き続き伝達情報の送受信はできますが、新たなユーザのログインは出来ないモードです。全てのログイン中のユーザがログアウト、或いはタイムアウトになった時点でオフラインにステータスが変わります。

#### 7.4.4.9 ログイン制御

- ・ オンライン/オフラインの[ステータス](#)を制御します。



- ・ 「ログイン制御」ボタンをクリックするとログイン制御画面が表示され、オフラインリクエスト、オンラインへの切り替えを行います。



➤ オンラインにする

◇ オンライン中

- 特に何もしません。

◇ オフライン中



- 上記確認メッセージが表示され、それに合意するとオンラインに切り替わります。

◇ オフラインリクエスト中



- 上記確認メッセージが表示され、それに合意するとオンラインに切り替わります。

➤ オフラインリクエスト

◇ オンライン中

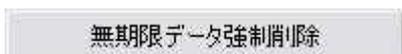


- 上記確認メッセージが表示され、それに合意するとオフラインリクエスト中に切り替わります。その後、ログイン中のユーザがいなくなった時点でオフラインに自動的にステータスが変わります。

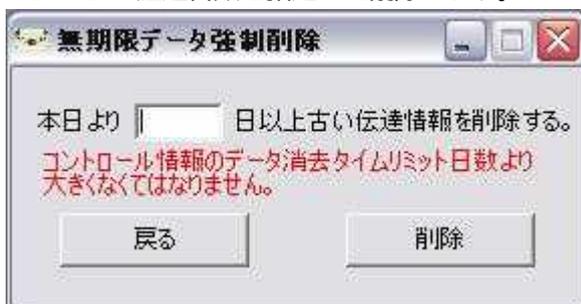
- ◇ オフライン中
  - 特に何もしません。
- ◇ オフラインリクエスト中
  - 特に何もしません。

#### 7.4.4.10 無期限データ強制削除

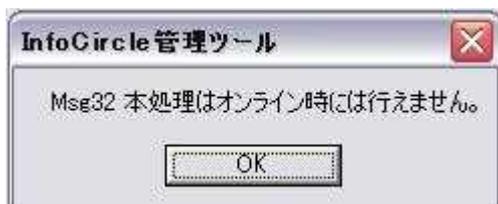
- [閲覧期限無期限](#)の伝達情報のうち、コントロール情報で規定しているデータ消去タイムリミット日数の保存期限を過ぎたものを強制的に削除します。経過日数より明らかに不要と思われる伝達情報をデータベースの圧迫等を考慮し、削除します。



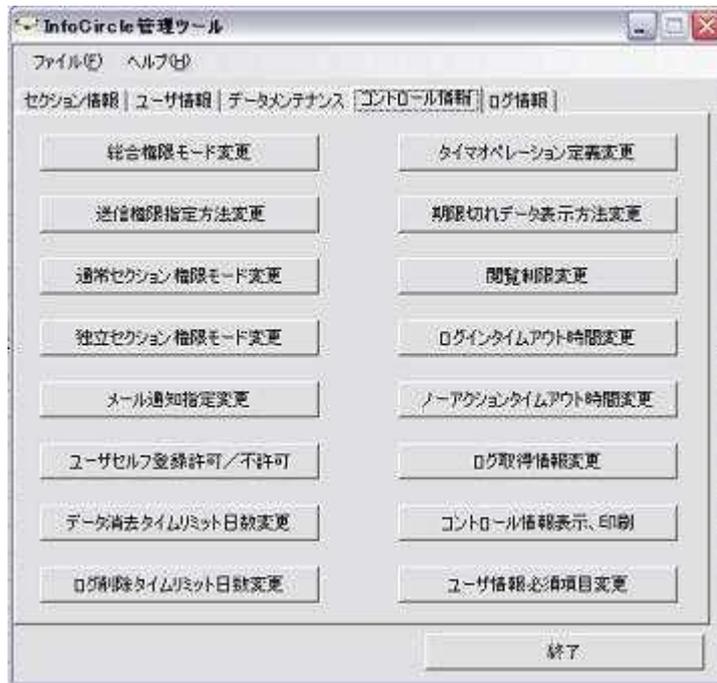
- 「無期限データ強制削除」ボタンをクリックすると無期限データ強制削除画面が表示され、削除するデータの経過日数を指定して削除します。



- 本機能はオンライン時には使用できません。

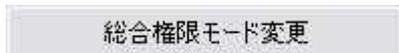


## 7.4.5 コントロール情報



### 7.4.5.1 総合権限モード変更

- [送信権限](#)を規定したモードで運用するかどうかを指定します。

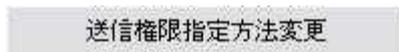


- 「総合権限モード変更」ボタンをクリックすると総合権限モード変更画面が表示され、必要に応じて変更します。



### 7.4.5.2 送信権限指定方法変更

- [送信権限](#)を所属セッション毎、又は個人毎に規定するかを指定します。総合権限モードで送信権限を規定したモードで運用する場合のみ、意味があります。



- 「送信権限指定方法変更」ボタンをクリックすると送信権限指定方法変更画面が表示され、必要に応じて変更します。



#### 7.4.5.3 通常セクション権限モード変更

- ・ [通常セクション](#)に送信する際、[送信権限](#)を規定した使い方をするかどうかを指定します。総合権限モードで送信権限を規定したモードで運用する場合のみ、意味があります。

通常セクション 権限モード変更

- ・ 「通常セクション権限モード変更」ボタンをクリックすると通常セクション権限モード変更画面が表示され、必要に応じて変更します。



#### 7.4.5.4 独立セクション権限モード変更

- ・ [独立セクション](#)に送信する際、[送信権限](#)を規定した使い方をするかどうかを指定します。総合権限モードで送信権限を規定したモードで運用する場合のみ、意味があります。

独立セクション 権限モード変更

- ・ 「独立セクション権限モード変更」ボタンをクリックすると独立セクション権限モード変更画面が表示され、必要に応じて変更します。



#### 7.4.5.5 メール通知指定変更

- ・ 伝達情報を受信したとき、及び返信情報を受信した際にそれを受信者にメールで通知するかどうかを指定します。

メール通知指定変更

- ・ 「メール通知指定変更」ボタンをクリックするとメール通知指定変更画面が表示され、必要に応じ

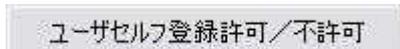
て変更します。



- ・ メール通知を行う場合、送信に使用する SMTP サーバーと送信者のメールアドレス(通常は管理用メールアドレス)を指定します。
- ・ メールの送信タイミングは伝達情報の場合、その伝達情報の閲覧開始日で、返信情報は返信情報を受信した時点です。
- ・ 伝達情報を閲覧開始日以前に送信者が取り消した場合、メールは送信されません。
- ・ 伝達情報を閲覧開始日以降に送信者が取り消した場合、取り消した旨のメールが送信されます。
- ・ 伝達情報を閲覧開始日以前に送信者が取り消し、再度閲覧開始日以前に復旧した場合、閲覧開始日にメールが送信されます。
- ・ 伝達情報を閲覧開始日以前に送信者が取り消し、再度閲覧開始日以降に復旧した場合、即座ににメールが送信されます。
- ・ 尚、ユーザ情報に通知用メールアドレスが設定されていない場合、メールは送信されません。

#### 7.4.5.6 ユーザセルフ登録許可 / 不許可

- ・ ユーザ登録を行う際、ユーザが Web ブラウザを介して独自にユーザ登録を行うことを許可するか、ユーザ登録は管理者が管理ツールを使用して行うかを指定します。尚、セルフ登録許可の場合、独自にユーザ登録したユーザのみが Web ブラウザを介して脱会(ユーザ削除)することが出来ます。



- ・ 「ユーザセルフ登録許可 / 不許可更」ボタンをクリックするとユーザセルフ登録許可 / 不許可画面が表示され、必要に応じて変更します。



- ・ 尚、セルフ登録するユーザは権限ファイルの選択は出来ませんので権限モードを規定した使い方で個人毎に権限を規定する場合でも Config データ或いは所属するセクションに定義している権限ファイルを個人の権限ファイルとして使用します。

#### 7.4.5.7 データ消去タイムリミット日数変更

- ・ [閲覧期限](#)を過ぎた古い伝達情報を完全に削除する日数を変更します。

データ消去タイムリミット日数変更

- ・ 「データ消去タイムリミット日数変更」ボタンをクリックするとデータ消去タイムリミット日数変更画面が表示され、必要に応じて日数を変更します。

- 設定日数をコンボボックスより選択します。
- デフォルト値は180日です。

#### 7.4.5.8 ログ削除タイムリミット日数変更

- ・ 古いログ情報を削除するためにログを保管しておく日数を変更します。

ログ削除タイムリミット日数変更

- ・ 「ログ削除タイムリミット日数変更」ボタンをクリックするとログ削除タイムリミット日数変更画面が表示され、必要に応じて日数を変更します。

- 設定日数をコンボボックスより選択します。
- デフォルト値は360日です。

#### 7.4.5.9 タイマオペレーション定義変更

- ・ 不要データ削除のためにバックグラウンドで稼動するタイマオペレーションプログラムの稼動時刻、タイミング等を指定します。
  - 主な処理内容は期限切れデータの削除とデータベースの最適化です。
  - [オフラインモード](#)で稼動します。

タイマオペレーション定義変更

- ・ 「タイマオペレーション定義変更」ボタンをクリックするとタイマオペレーション定義変更画面が表示され、必要に応じて各指定を変更します。



- ・ 指定項目は以下の通りです。
  - 処理時刻
    - ◇ タイマオペレーションプログラムの稼働時刻をコンボボックスから指定します。
    - ◇ タイマオペレーションはオフラインで稼働するため、出来るだけ本ソフトウェアが使用されていない時間帯を選択するのがベターです。デフォルトは午前3時です。
  - 処理日
    - ◇ タイマオペレーションプログラムが稼働する曜日を指定します。
    - ◇ 期限切れデータの削除とデータベースの最適化が主な処理内容であり、本ソフトウェアの使用頻度、及びそれによる期限切れデータの発生件数より稼働頻度を設定します。デフォルトは月曜日（の午前3時）です。
  - リトライ回数
    - ◇ タイマオペレーションプログラムはオフラインで稼働します。そのため、最初にオフラインにモードを切り替えます。その際、現在、本ソフトウェアにログイン中のユーザがいる場合、そのユーザがログアウトするまでオフラインに切り替えるのを待機します。ログイン中のユーザが一人もいなくなった時点でオフラインに切り替え、処理を行います。その、ログイン中のユーザの存在を確認し、オフラインに切り替えられるタイミングを確認するリトライ回数をコンボボックスより選択します。リトライは1分間隔で行います。リトライ回数の最大数は60回ですので最長1時間ログインユーザがいなくなるのを待つことが出来ます。
    - ◇ リトライオーバーによって処理が行えなかった場合は次の稼働時期まで処理は行いません。
    - ◇ オフライン中にはユーザはログインできません。

#### 7.4.5.10 期限切れデータ表示方法変更

- ・ 未読の[閲覧期限](#)切れの伝達情報を受信者の受信一覧に表示するかどうかを指定します。

期限切れデータ表示方法変更

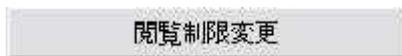
- ・ 「期限切れデータ表示方法変更」ボタンをクリックすると期限切れデータ表示方法変更画面が表示され、必要に応じて変更します。



- 表示するに指定しても受信者は閲覧期限を過ぎた伝達情報の内容を閲覧することは出来ません。
- 既読の伝達情報は閲覧期限を過ぎた場合、受信者の受信一覧には表示されません。
- 送信者側の送信一覧には閲覧機嫌を過ぎた伝達情報も「データ消去タイムリミット日数」を過ぎるまで表示されます。これをもとに[閲覧期限](#)切れの伝達情報の復旧を管理者に依頼することが出来ます。

#### 7.4.5.11 閲覧制限変更

- ・ 受信者の所属が変わったときに旧所属宛の伝達情報の閲覧を許可 / 不許可を変更します。

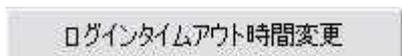


- ・ 「閲覧制限変更」ボタンをクリックすると閲覧制限変更画面が表示され、必要に応じて変更します。



#### 7.4.5.12 ログインタイムアウト時間変更

- ・ ユーザがログインし、連続して本ソフトウェアを使用できる時間を指定します。



- ・ 「ログインタイムアウト時間変更」ボタンをクリックするとログインタイムアウト時間変更画面が表示され、必要に応じて時間を変更します。



- コンボボックスより時間を選択します
- デフォルト値は60分です。

#### 7.4.5.13 ノーアクションタイムアウト時間変更

- ・ [ノーアクション時のタイムアウト時間](#)を指定します。通常、ノーアクションタイムアウトはユーザが正しくログアウトして終了せず、Web ブラウザを閉じて終了した場合に発生し、再度ログインできるまでの時間となります。

ノーアクションタイムアウト時間変更

- ・ 「ノーアクションタイムアウト時間変更」ボタンをクリックするとノーアクションタイムアウト時間変更画面が表示され、必要に応じて時間を変更します。

- デフォルトは3分です。

#### 7.4.5.14 ログ取得情報変更

- ・ 選択可能なログを取得する項目を指定します。管理者の操作等は必須であり、指定せずともログは取得されます。

ログ取得情報変更

- ・ 「ログ取得情報変更」ボタンをクリックするとログ取得情報変更画面が表示され、必要に応じてログ取得項目を変更します。

- 指定できる項目は以下の通りです。
  - ◇ ログイン/ログアウト
    - ユーザのログイン/ログアウト
  - ◇ パスワード変更
    - ユーザがユーティリティでパスワードを変更したとき
  - ◇ Q&A 変更

- ユーザがユーティリティで [Question & Answer](#) を変更したとき
- ◇ 伝達情報受信通知アドレス変更
  - ユーザがユーティリティで [伝達情報受信通知アドレス](#) を変更したとき
- ◇ 返信情報受信通知アドレス変更
  - ユーザがユーティリティで [返信情報受信通知アドレス](#) を変更したとき
- ◇ 役割名変更
  - ユーザがユーティリティで [役割名](#) を変更したとき
- ◇ その他 Profile 変更
  - ユーザがユーティリティでその他 Profile を変更したとき
- ◇ 伝達情報送信
  - ユーザが伝達情報を送信したとき
- ◇ 結果保存
  - ユーザが伝達情報の送信結果を保存したとき
- ◇ 添付返信結果保存
  - ユーザが添付による返信の添付ファイルを保存したとき
- ◇ 送信取り消し
  - 送信者が送信した伝達情報を取り消したとき
- ◇ 閲覧
  - 受信者が受信した伝達情報の内容を閲覧したとき
- ◇ 単純添付保存
  - 受信者が、単純添付ファイルが添付された伝達情報を受信し、その単純添付ファイルを保存したとき
- ◇ 返信添付保存
  - 受信者が、返信添付ファイルが添付された伝達情報を受信し、その返信添付ファイルを保存したとき
- ◇ 単純返信
  - ユーザが [単純返信](#) を要求している伝達情報に対して返信を行ったとき
- ◇ 添付返信
  - ユーザが [添付返信](#) を要求している伝達情報に対して返信を行ったとき
- ◇ 期限切れデータ削除
  - タイマオペレーション、DB クリーンアップ等で [閲覧期限](#) を過ぎた古い伝達情報を完全に削除したとき
- ◇ 仮削除ユーザ&データ削除
  - [仮削除ユーザ](#) の送信データが全て [閲覧期限](#) 切れとなりそのユーザと送信伝達情報をタイマオペレーション、DB クリーンアップ等で完全に削除したとき

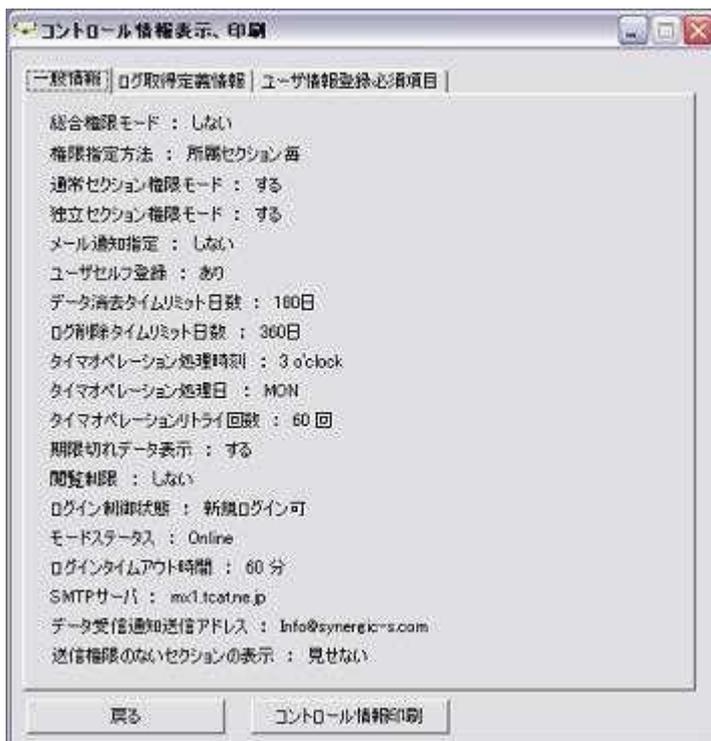
- 尚、無用に多岐に亘ってログを取得すると、ログファイルが一杯になり、保存期限前に古いログが破棄される場合があります、使用状況によりログ取得項目を選択してください。通常はデフォルトのままです。

#### 7.4.5.15 コントロール情報表示、印刷

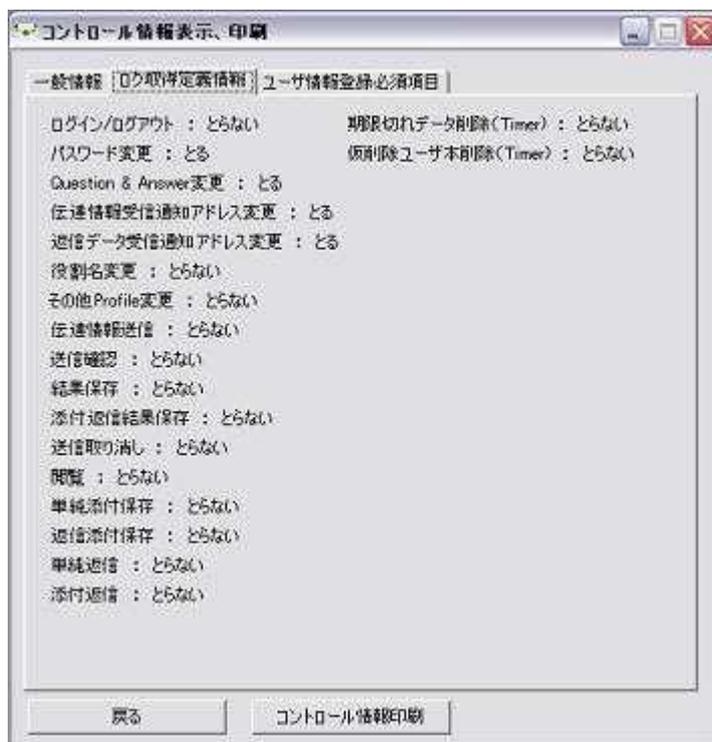
- ・ 現在設定されているコントロール情報を表示、印刷します。

コントロール情報表示、印刷

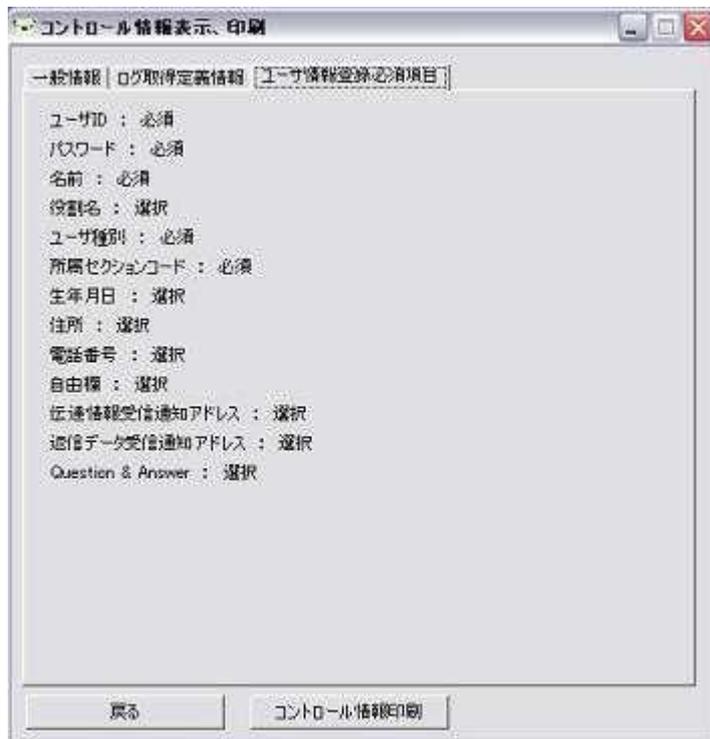
- ・ 「コントロール情報表示、印刷」ボタンをクリックするとコントロール情報表示、印刷画面が表示されます。



- 一つ目のタブは一般情報です。



- 二つ目のタブはログ取得情報です。



- 三つ目のタブはユーザー登録時の必須項目です。

- ・ 「コントロール情報印刷」ボタンをクリックするとコントロール情報が印刷されます。

一般情報	
総合権限モード	: しない
権限指定方法	: 所属セッション毎
通常セッション権限モード	: する
独立セッション権限モード	: する
メール通知指定	: しない
ユーザセルフ登録	: あり
データ消去タイムリミット日数	: 180日
ログ削除タイムリミット日数	: 360日
タイムオペレーション処理時刻	: 3 o'clock
タイムオペレーション処理日	: MON
タイムオペレーションリトライ回数	: 60回
期限切れデータ表示	: する
閲覧制限	: しない
ログイン制御状態	: 新規ログイン可
モードステータス	: Online
ログインタイムアウト時間	: 60分
SMTPサーバ	: mx1.coak.ne.jp
データ受信通知送信アドレス	: info@synergie-s.com
送信権限のないセッションの表示	: 見せない
ログ取得定義情報	
ログイン/ログアウト	: とらない
パスワード変更	: とる
Question && Answer変更	: とる
伝達情報受信通知アドレス変更	: とる
返信データ受信通知アドレス変更	: とる
役割名変更	: とらない
その他Profile変更	: とらない
伝達情報送信	: とらない
送信確認	: とらない
結果保存	: とらない
添付返信結果保存	: とらない
送信取り消し	: とらない
閲覧	: とらない
単純添付保存	: とらない
返信添付保存	: とらない
単純返信	: とらない
添付返信	: とらない
期限切れデータ削除(Timer)	: とらない
仮削除ユーザ本削除(Timer)	: とらない
ユーザ登録必須項目情報	
役割名	: 選択
生年月日	: 選択
住所	: 選択
電話番号	: 選択
自由欄	: 選択
伝達情報受信通知アドレス	: 選択
返信データ受信通知アドレス	: 選択
Question && Answer	: 選択

#### 7.4.5.16 ユーザ情報必須項目変更

- ・ ユーザ登録を行う際に設定する情報の選択項目のうち、必須にする項目を変更します。

ユーザ情報必須項目変更

- ・ 「ユーザ情報必須項目変更」ボタンをクリックするとユーザ情報必須項目変更画面が表示され、必要に応じて変更します。

#### 7.4.6 ログ情報

##### 7.4.6.1 対象期間指定

- ・ 操作の対象期間を指定します。
  - 全て
    - ◇ 全ての期間を対象とします。
  - 期間指定
    - ◇ 指定された開始日と終了日の間のログ情報を対象とします。

##### 7.4.6.2 処理対象選択

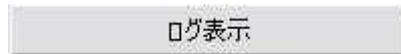
- ・ 操作の対象を指定します。
- ・ 処理の対象
  - 全てのログ情報を対象とします。
  - ユーザ ID 指定
    - ◇ ユーザ ID で指定された特定のユーザ（管理者を含む）を対象とします。
  - システム

◇ タイマオペレーション等、本ソフトウェアが自動的に行っているものを対象とします。

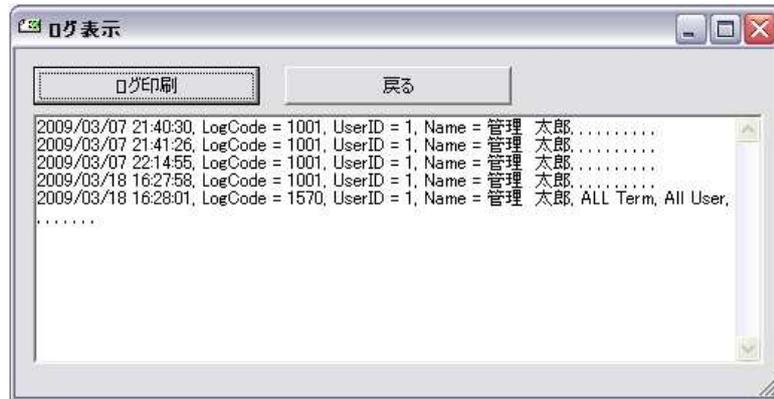
### 7.4.6.3 ログ出力

#### 7.4.6.3.1 ログ表示

- 指定条件により、ログ情報を表示します。

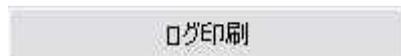


- 「ログ表示」ボタンをクリックすると指定条件のログが表示されます。



#### 7.4.6.3.2 ログ印刷

- 指定条件により、ログ情報を印刷します。



- 「ログ印刷」ボタンをクリックすると指定条件のログが表示されます。

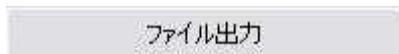
```

20070909 11:28:30, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070909 11:29:26, LogCode = 1150, UserID = 1, Name = 1, q, q, 0000, .....
20070909 11:30:30, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070909 11:30:36, LogCode = 1550, UserID = 1, Name = 1, 10010001, .....
20070909 11:33:08, LogCode = 1550, UserID = 1, Name = 1, 00010000, .....
20070909 11:35:03, LogCode = 1190, UserID = 1, Name = 1, q, q, 0000 to T200, .....
20070909 11:36:25, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20070912 21:54:42, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20070912 21:55:29, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070912 21:57:15, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070912 21:59:58, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070912 22:01:36, LogCode = 1230, UserID = 1, Name = 1, s, s, T200, .....
20070912 22:01:56, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070912 22:03:29, LogCode = 1610, UserID = 1, Name = 1, .....
20070912 22:06:03, LogCode = 1550, UserID = 1, Name = 1, 00000000, .....
20070912 22:06:25, LogCode = 1060, UserID = 1, Name = 1, X000, Other1, .....
20070912 22:06:42, LogCode = 1190, UserID = 1, Name = 1, x, x, 0000 to X000, .....
20070912 22:07:19, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070912 22:08:56, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20070912 22:54:42, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20070912 22:56:05, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20070912 22:57:21, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20070912 22:57:35, LogCode = 1060, UserID = 1, Name = 1, X01, Other2, .....
20070912 22:57:54, LogCode = 1190, UserID = 1, Name = 1, F, C, 0000 to X01, .....
20070912 22:58:16, LogCode = 1240, UserID = 1, Name = 1, {T200}東京営業部 to {T300}
東京製造部, .....
20070912 22:59:29, LogCode = 1240, UserID = 1, Name = 1, {T300}東京製造部 to {X000}
Other1, .....
20070912 23:00:44, LogCode = 1240, UserID = 1, Name = 1, {X000}Other1 to {X01}Other2,
.....
20070912 23:01:29, LogCode = 1240, UserID = 1, Name = 1, {X01}Other2 to {T200}東京營
業部, .....
20070912 23:02:12, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070912 23:06:12, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070912 23:07:08, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070912 23:44:59, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20070912 23:47:09, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20070931 11:54:13, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20070931 11:54:36, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20071224 17:31:27, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20071224 17:37:09, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20071229 22:54:23, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20071230 1:14:10, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20071230 18:14:09, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20071230 19:59:01, LogCode = 1570, UserID = 1, Name = 1, ALL Term, All User, .....
20071230 19:59:20, LogCode = 1140, UserID = 1, Name = 1, 2222, 2222, T200, .....
20071230 19:59:30, LogCode = 1140, UserID = 1, Name = 1, 2222, 2222, T200, .....
20071231 1:56:32, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20080101 0:01:51, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20080101 0:03:17, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20080901 15:34:04, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20080101 0:03:40, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20080101 2:10:29, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20080101 2:21:19, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20080204 21:39:58, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20080204 22:09:58, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....
20080204 22:10:02, LogCode = 1002, UserID = 1, Name = 1, .....
20080204 22:11:20, LogCode = 1001, UserID = 1, Name = 1, .....

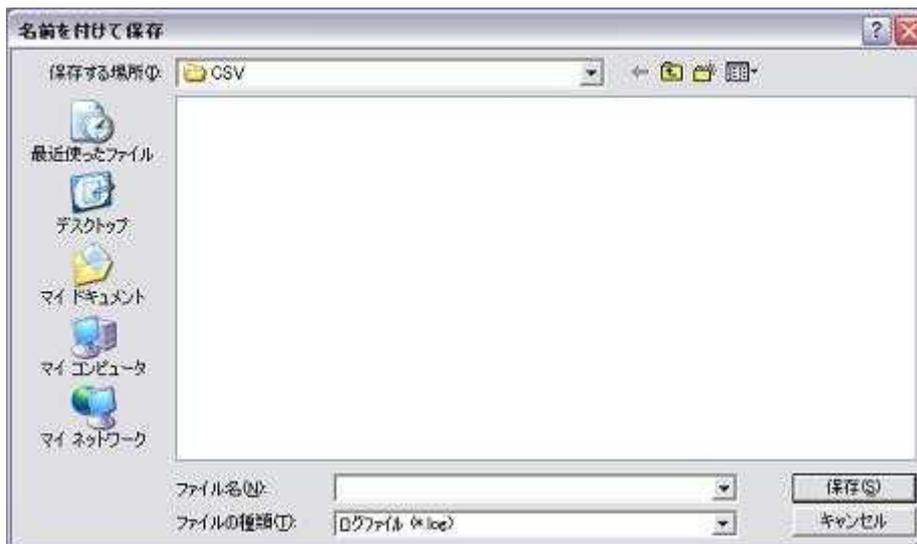
```

### 7.4.6.3.3 ファイル出力

- 指定条件により、ログ情報をファイルへ出力します。

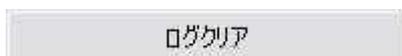


- 「ファイル出力」ボタンをクリックすると出力先を指定するコマンドダイアログが表示され、出力先を指定します。



#### 7.4.6.4 ログクリア

- ・ 指定条件により、ログ情報をクリアします。



- ・ 「ログクリア」ボタンをクリックすると確認メッセージが表示され、指定した条件でログ情報をクリアします。



#### 7.4.7 管理ツール終了

- ・ 管理ツールを終了します。

## 7.5 CSV ファイルフォーマットチェックツール

CSV ファイルフォーマットチェックツール( InfoCircleCSVCheck.exe )をスタートメニューより選択し、チェックツールを起動します。

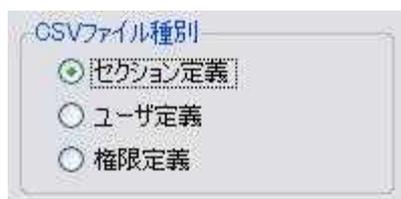


### 7.5.1 機能

- ・ 通常セクション登録 CSV ファイルのフォーマットをチェックします。
- ・ ユーザ登録 CSV ファイルのフォーマットをチェックします。尚、必須項目の有無はチェックしません。
- ・ 送信権限 CSV ファイルのフォーマットをチェックします。

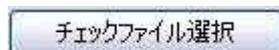
### 7.5.2 チェックファイル種別選択

- ・ チェックするファイル種別を選択します。



### 7.5.3 チェックファイル選択

- ・ チェックするファイルを選択します

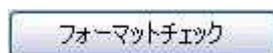


- ・ チェックファイル選択ボタンをクリック後、ファイルを選択します。



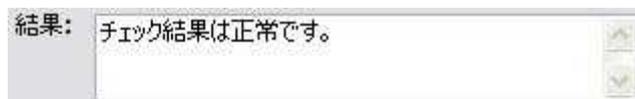
#### 7.5.4 ファイルフォーマットチェック

- ・ 「フォーマットチェック」ボタンをクリックし、フォーマットチェックを行います。



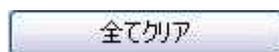
#### 7.5.5 結果表示

- ・ チェック結果が表示されます。



#### 7.5.6 全てクリア

- ・ 「全てクリア」ボタンをクリックすると現在の選択ファイル、チェック結果がクリアされます。



#### 7.5.7 終了

- ・ 「終了ボタン」をクリックすると本ツールが終了します。



#### 7.5.8 その他

- ・ 本ツールはログインの必要はなく、誰でも使用できます。他のファイルと一緒に梱包されている InfoCircleCSVCheck.zip を別のマシンで展開、インストールし、ファイルのフォーマットチェック作業を複数のスタッフと共同で行うことができます。
- ・ その場合、InfoCircleCSVCheck.exe.config 内の CSVPath の内容を変更しておいたほうが便利です。

## 8 Config 情報

### 8.1 InfoCircleMng.exe.Config

InfoCircle 管理ツール用のパラメータです。

- ・ データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ  
<addkey="DBPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data¥InfoCircleDb" />
- ・ 権限 CSV ファイルが置かれているサーバー上のディレクトリ  
<add key="CSVPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data¥InfoCircleDb¥CSV" />
- ・ 通常セクション登録及びユーザ登録用 CSV ファイルのコード行の始まりを示す文字列  
<add key="CodeLine" value="\*" />
- ・ 仮削除ユーザの閲覧期限無期限データの閲覧期限変更  
<add key="DelUserData" value="Y" />

### 8.2 InfoCircleCIUp.exe.config

バックグラウンドで稼動するプログラムのパラメータです。

- ・ データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ  
<addkey="DBPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data¥InfoCircleDb" />
- ・ 稼動時刻到来を監視するためのタイミンターバル (分。30 以上は 30 として処理)  
<add key="Interval" value="10" />
- ・ 仮削除ユーザの閲覧期限無期限データの閲覧期限変更  
<add key="DelUserData" value="Y" />

### 8.3 InfoCircleInit.exe.config

初期化プログラムのパラメータです。システム構築時に最初に本パラメータを設定する必要があります。

- ・ データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ  
<addkey="DBPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data¥InfoCircleDb" />

### 8.4 InfoCircleMsnd.exe.config

バックグラウンドで稼動するプログラムのパラメータです。

- ・ データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ  
<addkey="DBPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data ¥InfoCircleDb" />
- ・ 稼動タイミングのタイミンターバル (分。30 以上は 30 として処理)  
<add key="Interval" value="5" />
- ・ 通知メール送信開始時間帯  
<add key="MailFirst" value="8" />
- ・ 通知メール送信最終時間帯  
<add key="MailLast" value="18" />

### 8.5 InfoCircleOR.exe.config

管理ツールのリクエストにより稼動するプログラムのパラメータです。

- ・ データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ  
<addkey="DBPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data ¥InfoCircleDb" />
- ・ オフライン切り替え状態スキャン間隔のタイミンターバル (秒。30 以上は 30 として処理)  
<add key="Interval" value="5" />

### 8.6 InfoCircleTimeOut.exe.config

バックグラウンドで稼動するプログラムのパラメータです。

- ・ データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ  
<addkey="DBPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data ¥InfoCircleDb" />

## 8.7 InfoCircleCSVCheck.exe.config

CSV ファイルフォーマットチェックツールのパラメータです。

- CSV ファイルが置かれているサーバー上のディレクトリ  
<add key="CSVPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data  
¥InfoCircleDb¥CSV" />

尚、チェックする CSV ファイルは本ディレクトリに必ず存在する必要はなくコモンダイアログで指定することも可能です。権限ファイルは本ディレクトリに格納され、且つ本数が多くなることが予想されるため、便宜上コモンダイアログの初期パスをここにして表示するために指定するものです。

- CSV ファイルのコード行の始まりを示す文字列  
<add key="CodeLine" value="\*" />

## 8.8 AppSettings.config

Web プログラムのパラメータです。

- データベースが置かれているサーバー上のディレクトリ  
<add key="DBPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data  
¥InfoCircleDb" />
- 送信権限 CSV パス  
<add key="CSVPath" value="C:¥Program Files¥Synergic Inc¥InfoCircle¥Web¥App\_Data  
¥InfoCircleDb¥CSV" />
- 権限列コードを示す文字列  
<add key="CodeLine" value="\*" />
- ユーザセルフエントリーセクション選択方法  
<add key="SelfEntSectionDef" value="2" />  
2=本パラメータに指定された独立セクションに所属する。
- ユーザセルフエントリー指定セクション  
<add key="SelfEntSection" value="0000" />  
0000=Orphan セクション
- ユーザセルフエントリー権限ファイル指定  
個人毎に権限規定を行うときのみ意味があり、セクション毎の場合、この指定に意味はありません。
  - [通常セクション送信権限ファイル](#)  
<add key="NRightFName" value="SampleNRight.csv" />
  - [通常セクション送信権限該当列コード](#)  
<add key="NRightColCode" value="X000" />
  - [独立セクション送信権限ファイル](#)  
<add key="IRightFName" value="SampleIRight.csv" />
  - [独立セクション送信権限該当列コード](#)  
<add key="IRightColCode" value="0000" />
- パスワード回復メール通知 Subject  
<add key="RecoverSubject" value="InfoCircle からのお知らせ" />  
<add key="RecoverContentsHeader1" value="あなたのパスワードは" />  
<add key="RecoverContentsHeader2" value="です。" />
- パスワード変更メール通知 Subject  
<add key="ChangeSubject" value="InfoCircle からのお知らせ" />  
<add key="ChangeContentsHeader1" value="あなたのパスワードは" />  
<add key="ChangeContentsHeader2" value="から" />  
<add key="ChangeContentsHeader3" value="に変更されました。" />
- 宛先選択時のパラメータ  
<add key="DispUID" value="Y" />  
Y=ユーザ ID も表示する。

<add key="DispSCode" value="Y" />

Y=セクションコードも表示する。

- 受信内容表示時の UID 表示

<add key="ReadUIDDisp" value="Y" />

Y=ユーザ ID も表示する。

- 添付返信時の添付ファイルの必須指示

<add key="ResAttachNeed" value="Y" />

- 閲覧期限のない伝達情報の作成を許可するかどうかの指定

<add key="InfiniteRead" value="N" />

- 閲覧開始日の閲覧可能最早時刻

<add key="ReadFirst" value="8" />

- 伝達情報送信時の添付ファイルの許可

<add key="AttachAllow" value="0" />

許可しない。

## 9 Web サーバーへの登録

Web サーバーへの InfoCircle の登録を行います。

9.1 InfoCircle を「C:\inetpub\wwwroot」の下にインストールした場合はアクセス許可の指定以外、以下の処理は必要ありませんが、ここにドキュメントを置いて動かすことは簡単にディレクトリ参照できてしまうのでセキュリティ面でもお勧めできません。従って、以下では別の場所にインストールし、「仮想ディレクトリ」と言う仕組みを利用する方法について記述します。

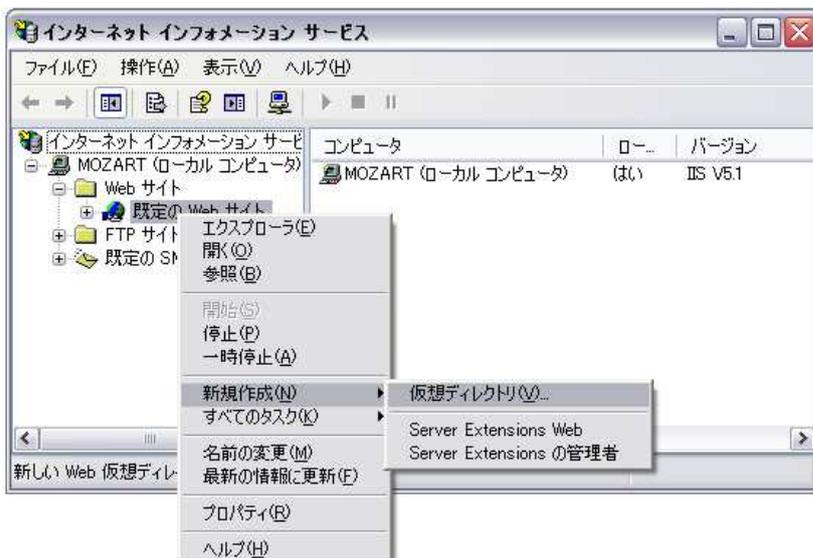
9.2 「スタートボタン」「コントロールパネル」「管理ツール」「インターネット インフォメーション サービス」でインターネット インフォメーション サービスを起動します。



9.3 「Web サイト」の「+」マークをクリックします。



9.4 「規定の Web サイト」を右クリックし、「新規作成」から「仮想ディレクトリ」を選択します

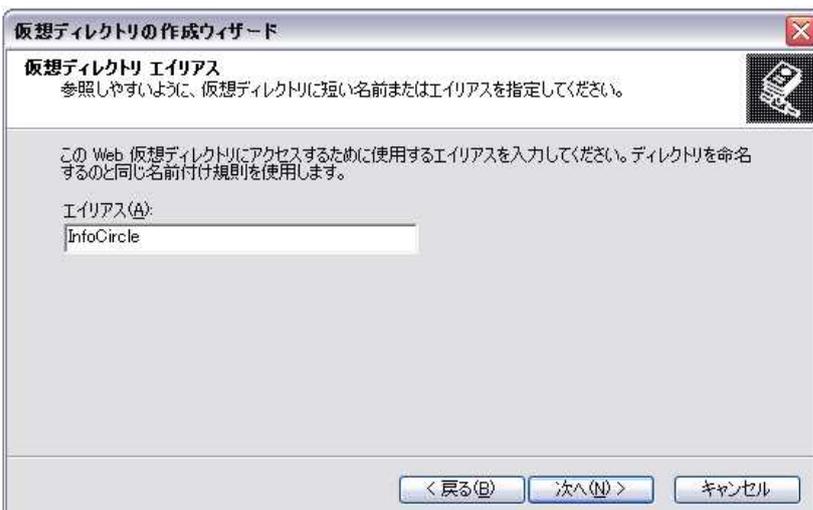


9.5 仮想ディレクトリの作成ウィザードが起動されます。



「次へ」をクリックします。

9.6 エイリアスを指定します。



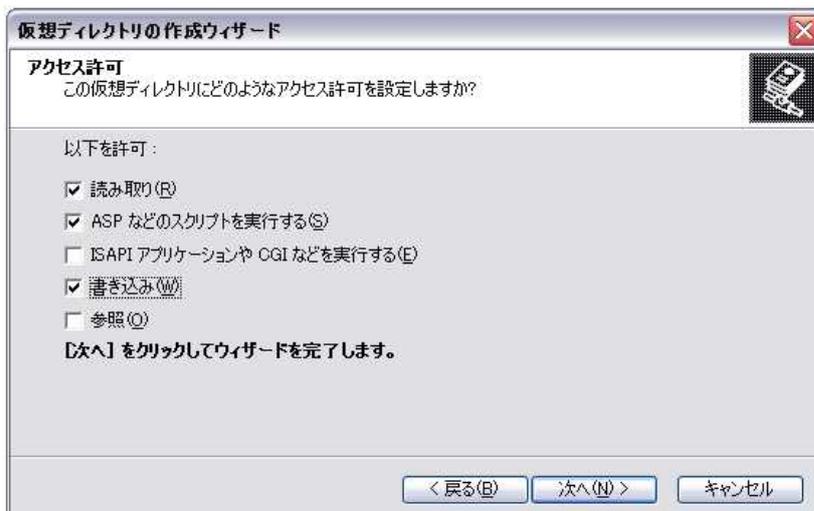
「infocircle」と入力し、「次へ」をクリックします。

## 9.7 InfoCircle をインストールしたディレクトリを指定します。



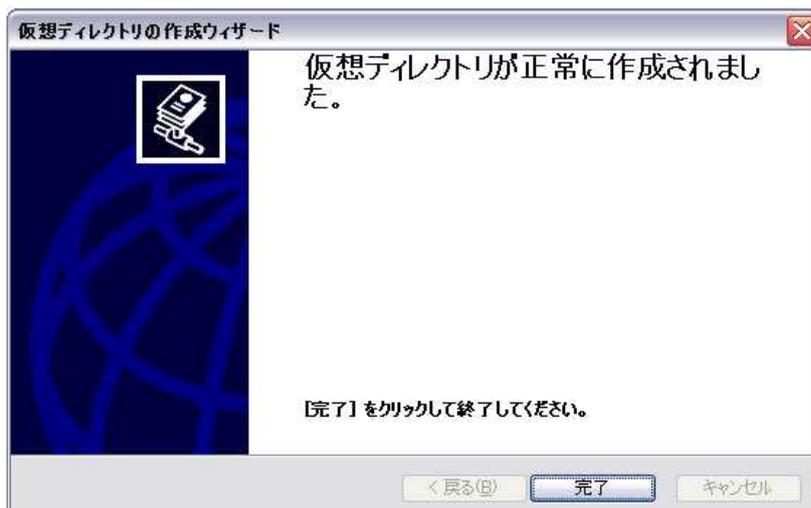
「参照」ボタンをクリックし、InfoCircle をインストールしたディレクトリを指定し、「次へ」をクリックします。

## 9.8 アクセス許可の指定をします。



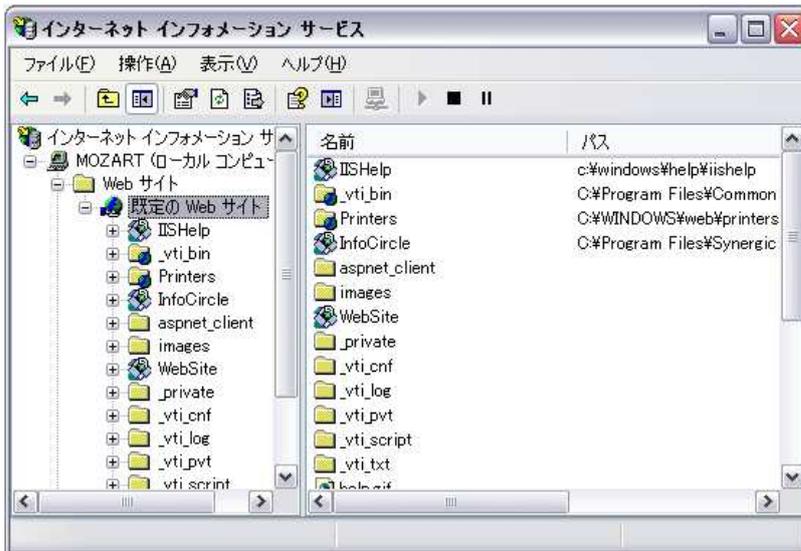
アクセス許可を設定し、「次へ」をクリックします。

## 9.9 仮想ディレクトリの作成完了です。

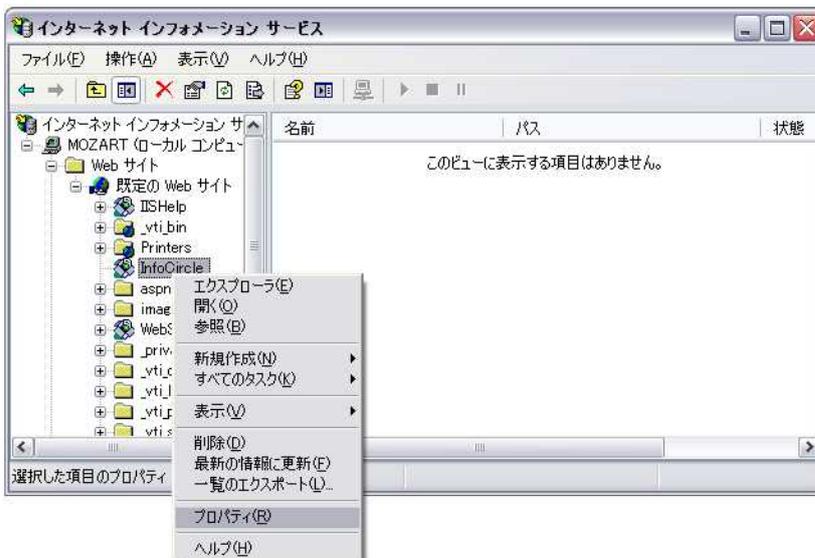


「完了」をクリックして「仮想ディレクトリの作成ウィザード」を終了させます。

9.10 規定の Web サイトの中に「InfoCircle」が作成されたのが確認できます。



9.11 InfoCircle を右クリックします。



プロパティを選択します。

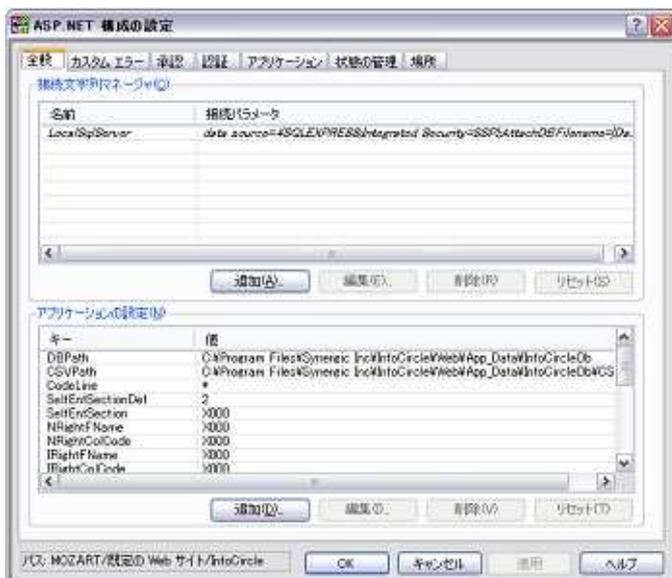
「ドキュメント」のタグを選択し、「index.html」を追加します。



追加したら適用（又はOK）をクリックします。  
「ASP.NET」のタグを選択します。



「構成の編集」をクリックします。



「状態の管理」のタブを選択し、セッションのタイムアウト値を InfoCircle のログイン制限時間 + 5 分位にセットします。



InfoCircle をインストールしたディレクトリ (この例の場合、C:\Program Files\Synergic Inc\InfoCircle\Web) をファイルエクスプローラで右クリックし、プロパティを表示します。



読み取り専用のなっていれば外しておきます。

セキュリティタブを選択し、「Everyone」のアクセス許可を以下のように変更し、「適用」をクリック後、「OK」をクリックしてプロパティを閉じます。

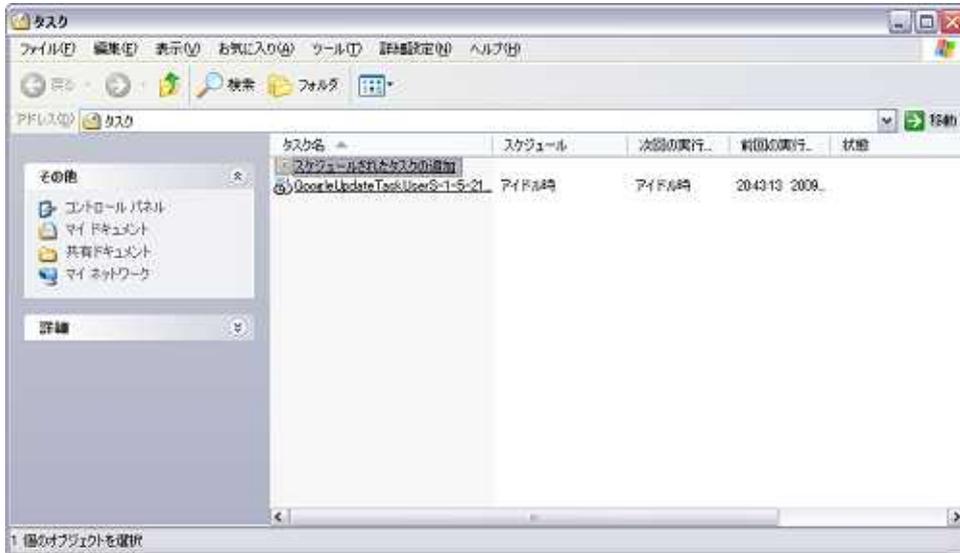


## 10 常駐プログラムへの登録

InfoCircleResidentKick.exe を常駐プログラムとしてタスクスケジューラに登録する（推奨）か、スタートアップに入れます。

タスクスケジューラに登録するには WindowsXP では以下の手順で行います。

- 10.1 スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」 「タスク」でタスクスケジューラを起動します。



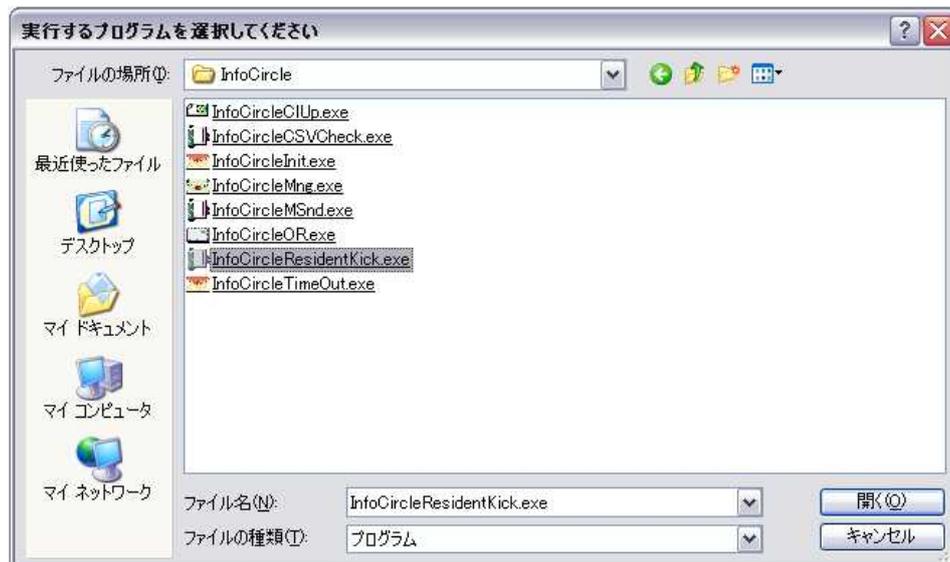
- 10.2 「スケジュールされたタスクの追加」をクリックし、「タスクウィザード」を開きます。タスクウィザードの設定手順は以下の通りです。



「次へ」をクリックします。



「参照」をクリックして、プログラムをインストールしたフォルダを開きます。



InfoCircleResidentKick.exe を選択して「開く」をクリックします。



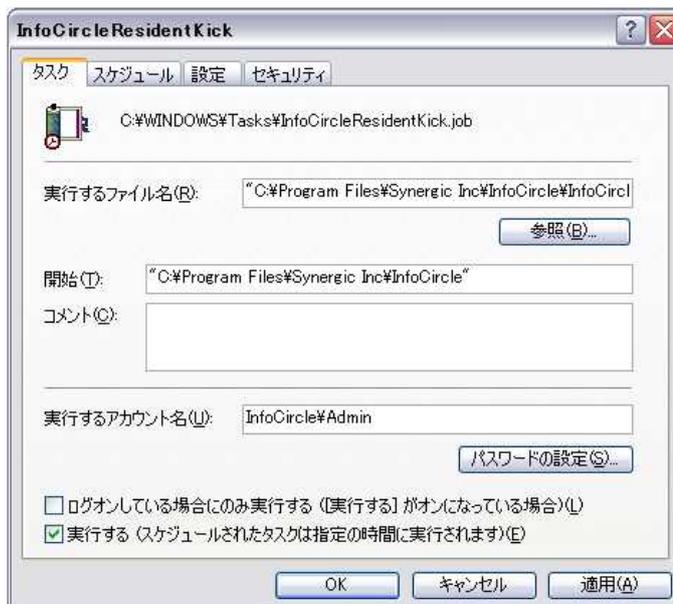
タスクの実行を「コンピュータ起動時」にして「次へ」をクリックします。



ユーザ名とパスワードを入力して「次へ」をクリックします。



チェックボックスにチェックを入れ、「完了」をクリックしてタスクスケジュールに登録します。



「タスク」タグをクリックし、「実行する」にチェックが入っていなければチェックを入れます。

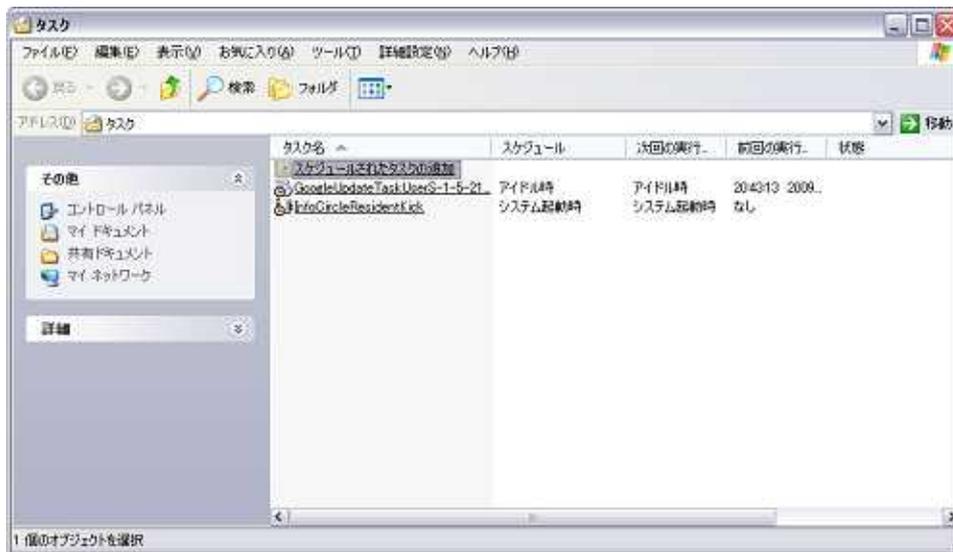


「スケジュール」タグをクリックし、タスクのスケジュールが「システム起動時」になっていることを確認します。



「設定」タグをクリックし、全てのチェックボックスをオフにします。

以上の作業が完了したら「OK」をクリックします。



「InfoCircleResidentKick」が登録されたのが確認できますので、「InfoCircleResidentKick」を起動するためにシステムを再起動します。

## 11 ユーザ機能一覧

- ・ 伝達情報送信
  - 送信一覧表示  
送信済み伝達情報の一覧を表示します。
  - 送信内容表示  
送信した伝達情報の内容の詳細を個別に表示します。
  - 伝達情報新規送信  
伝達情報を新規に作成し、送信します。
- ・ 伝達情報受信
  - 受信一覧表示  
受信した伝達情報の一覧を表示します。
  - 受信内容表示  
受信した伝達情報の内容の詳細を個別に表示します。
  - 返信情報送信  
返信を要求している伝達情報に対して返信を行います。
- ・ ユーティリティ
  - ユーザ情報変更  
ユーザの各情報を変更します。
  - 脱会  
セルフユーザ登録したユーザに限り、脱会を可能にします。
- ・ その他
  - パスワード回復  
ログインパスワードを忘れたときにパスワードを回復します。
  - ユーザ新規登録  
ユーザが独自に登録してアカウントを開きます。

## 12 各ユーザ機能及び操作

### 12.1 起動

- ・ ブラウザより InfoCircle を起動します。(例：<http://www.yourcompany.co.jp/infocircle/>)
- ・ 元の画面にはユーザヘルプが表示され、ログインウィンドウが別に表示されます。
- ・ 項番 12.2 に沿ってログインし、お使い下さい。
- ・ ログイン中にユーザヘルプが表示されている元のブラウザ或いは別に Internet Explorer を立ち上げて再度ログインウィンドウを表示させると作業中の InfoCircle はメニューに戻ります。二重ログインは出来ません。
- ・ 尚、InfoCircle は Internet Explorer 以外で動作しません。

### 12.2 ログイン

- ・ ユーザ ID とパスワードを入力して InfoCircle にログインします。

InfoCircleを終了する場合は各画面上に配置されている「ログアウト」ボタンを押して終了してください。  
その前にブラウザを閉じて終了すると、その後暫く再ログインは出来ません。

- ユーザ ID とパスワードが正しく入力された場合ログイン状態になりメニュー画面が表示されます。

➤ 但し、ログインには[制限時間](#)があります。

- ・ パスワードを忘れた場合、「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックしてパスワードの回復を行います。
- ・ ユーザ自身によってアカウントを開設する場合、「ユーザ新規登録」をクリックして登録を行います。尚、ユーザ自身によってアカウントを開設できるかどうかはコントロール情報の設定によります。

### 12.3 メニュー画面

- ・ メニューより各機能を選択します。



InfoCircleメニュー	
ユーザID:	1
名前:	管理 太郎

伝達情報送信

伝達情報受信

ユーティリティ

ログアウト

- 伝達情報送信  
伝達情報一覧を表示し、更に以下の機能を有します。
  - ◇ 伝達情報の新規送信
  - ◇ 送信した伝達情報の取り消し
  - ◇ 送信した伝達情報の内容表示及び受信閲覧状況確認
- 伝達情報受信  
受信一覧を表示し、更に以下の機能を有します。
  - ◇ 受信内容表示
  - ◇ 受信した伝達情報に対する返信
- ユーティリティ  
ユーザの Profile 等を変更します。
- ログアウト  
InfoCircle をログアウトします。

InfoCircle を終了する場合は各画面に配置されている「ログアウト」ボタンを押して終了してください。その前にブラウザを閉じて終了すると、その後ノーアクションタイムアウトで指定した時間、再ログインは出来ません。但し、ヘルプを表示しているブラウザより即座に InfoCircle に再アクセスした場合は、ログインされた状態でメニューを表示します。また、別にブラウザを立ち上げてログインした場合は、暫くの間ログインできません。

## 12.4 伝達情報送信

### 12.4.1 送信一覧

メニュー画面より伝達情報送信が選択されると以下の画面が表示されます。

➤ 画面の内容は以下の通りです。

◇ 送信一覧

Subject	閲覧開始日	閲覧期限	警告	内容表示	削除選択	削除対象
花見のお知らせ	2009年3月11日	2009年4月11日		表示	選択/解除	
営業レポート依頼	2009年3月1日	2009年4月1日		表示	選択/解除	
製造レポート	2009年3月1日	2009年4月1日		表示	選択/解除	

- Subject  
送信した伝達情報の Subject です。
- 閲覧開始日  
送信した伝達情報の閲覧可能開始日です。
- 閲覧期限  
送信した伝達情報の閲覧期限です。期限無しの場合、「期限なし」と表示されます。
- 警告  
閲覧期限切れ、或いは閲覧期限が迫っていることを知らせます。期限無しの場合、何も表示されません。
- 内容表示「表示」ボタン  
本ボタンをクリックすると送信した伝達情報の内容が表示されます。
- 削除選択「選択/解除」ボタン  
送信した伝達方法を削除（取り消し）する為のマークを ON / OFF します。
- 削除対象マーク  
削除（取り消し）対象に指定した場合、マークが表示されます。

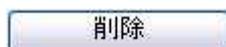
送信データがない場合、一覧表の見出しのみが表示されます。

◇ 「新規送信処理」ボタン

新規送信処理

本ボタンをクリックすると新規送信画面が表示されます。

- ◇ 「削除」ボタン



本ボタンをクリックすると削除対象マークの付いた送信済み伝達情報が取り消されます。削除対象マークの付いた伝達情報がない場合、無視されます。

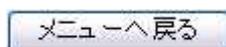
- ◇ 「並べ替える」ボタン



The dialog box titled "送信一覧並べ替え" (Sort Message List) contains two columns of radio button options. The left column includes "Subject", "閲覧開始日" (View Start Date), and "閲覧期限" (View Period). The right column includes "降順" (Descending) and "昇順" (Ascending). A "並べ替える" (Sort) button is located at the bottom center of the dialog.

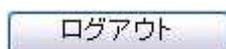
本ボタンをクリックすると送信一覧が並べ替えの指定に従って並べ替えられます。伝達情報が1個以下の場合、本ボタンは表示されません。

- ◇ 「メニューへ戻る」ボタン



本ボタンをクリックすると InfoCircle のメニューへ戻ります。

- ◇ 「ログアウト」ボタン



本ボタンをクリックすると InfoCircle からログアウトします。

## 12.4.2 送信内容表示及び受信状況確認

送信一覧の「内容表示」ボタンをクリックすると、該当伝達情報の内容が表示されます。

本画面では返信要求付きで送信した伝達情報に対する返信情報の保存、及び送信先の閲覧、返信状況の保存を行うことができます。

### InfoCircle送信内容

ユーザID:	1
名前:	管理 太郎

	宛先	初回閲覧日	最新閲覧日	返信日付	返信文	添付返信保存
送信先情報:	[(T211)東京営業1課1係] (te111)営業一部	2009年3月11日	2009年3月11日	2009年3月11日	<input type="button" value="内容表示"/>	<input type="button" value="保存"/>
	[(T211)東京営業1課1係] (te112)営業二部	未読	未読		<input type="button" value="内容表示"/>	<input type="button" value="保存"/>

送信者:	管理 太郎
Subject:	営業レポート依頼

送信文:

先月の営業レポートを添付書類に記入して提出してください。

添付ファイル:	営業レポート記入手順.xls
返信添付ファイル:	営業レポート雛形.xls
閲覧開始日:	2009年3月1日
閲覧期限:	2009年4月1日
警告開始日:	2009年3月25日
返信要求種別:	添付ファイルで返信要
送信通知メール送信:	あり
返信受信メール通知:	あり

結果保存:	保存ファイル名: 営業レポート依頼_200931117691_Result
<input type="button" value="保存"/>	

➤ 画面内容は以下の通りです。

### ◇ 送信先情報

- 宛先  
伝達情報の送信先です。
- 初回閲覧日  
本伝達情報を受信者が最初に閲覧した日付です。
- 最新閲覧日  
本伝達情報を受信者が最後に閲覧した日付です。
- 返信日付  
本伝達情報が返信を要求していて、且つ返信された場合の返信日付です。返信されていない場合、何も表示されません。また、複数回返信された場合、最新の返信日付が表示されます。
- 返信文「内容表示」ボタン

返信されている場合、返信者と返信文が一覧表の下に表示されます。返信されていない場合、何も表示されません。また、別の返信文が表示されている場合はそのまま別の返信文が表示されます。

98

- 添付返信保存「保存」ボタン

保存

添付ファイルによって返信されている場合、返信添付ファイルがファイル数分ダウンロードされます。返信されていない場合、何も起こりません。

- 「閉じる」ボタン

<返信文内容> 返信者:(tel111)営業一郎

営業レポート提出します。

閉じる

返信文が表示されたときと同時に表示されます。クリックすると返信文と本ボタンが非表示になります。

- ◇ 送信者

送信者: 管理 太郎

本伝達情報の送信者名です。名前の場合と役割名の場合があります。

- ◇ Subject

Subject: 営業レポート依頼

本伝達情報の Subject です。

- ◇ 送信文

送信文:

先月の営業レポートを添付書類に記入して提出してください。

本伝達情報の送信本文です。

- ◇ 添付ファイル

添付ファイル: 営業レポート記入手順.xls

添付したファイル名です。複数存在する場合があります。

- ◇ 返信添付ファイル

返信添付ファイル: 営業レポート雛形.xls

返信文記入用に添付した返信用添付ファイル名です。複数存在する場合があります。

- ◇ 閲覧開始日

閲覧開始日: 2009年3月1日

本伝達情報の閲覧開始可能日です。開始日以前には受信者は本伝達情報を閲覧できません。

- ◇ 閲覧期限

閲覧期限: 2009年4月1日

本伝達情報の閲覧期限です。期限後には受信者は本伝達情報を閲覧できません。無期限

の場合は「期限なし」と表示されます。

◇ 警告開始日

警告開始日:	2009年3月25日
--------	------------

本伝達情報の閲覧期限が迫ったときに警告の表示を開始する日付です。閲覧期限が無期限の場合、空白です。

◇ 返信要求種別

返信要求種別:	添付ファイルで返信要
---------	------------

本伝達情報の返信要求種別です。

1. 返信不要  
返信は不要です。
2. 返信要  
メッセージによる返信を要求しています。
3. 添付ファイルで返信  
添付ファイルによる返信を要求しています。

の3種類があります。

◇ 送信通知メール送信

送信通知メール送信:	あり
------------	----

伝達情報を送信時、受信先に伝達情報を送信したことを知らせるメールを送信するかどうかの指定です。尚、受信側に[伝達情報受信受信通知アドレス](#)が定義されていない場合、通知指定がなされていてもメールは送信されません。

◇ 返信受信メール通知

返信受信メール通知:	あり
------------	----

伝達情報の送信元が返信情報受信時に返信情報を受信したことを通知するメールを送信するかどうかの指定です。尚、送信元に[返信情報受信通知アドレス](#)が定義されていない場合、通知指定がなされていてもメールは送信されません。

◇ 結果保存

結果保存:	保存ファイル名:	営業レポート依頼_200931117691_Result
	<input type="button" value="保存"/>	

送信した伝達情報の閲覧状況、返信状況等の閲覧結果ををファイルに保存します。

- 保存ファイル名  
結果を保存するファイル名を指定します。
- 「保存」ボタン  
本ボタンをクリックすると結果ファイルがダウンロードされます。

◇ 「送信一覧へ戻る」ボタン

<input type="button" value="送信一覧へ戻る"/>
--

本ボタンをクリックすると送信一覧へ戻ります。

◇ 「ログアウト」ボタン

<input type="button" value="ログアウト"/>
--------------------------------------

本ボタンをクリックすると InfoCircle からログアウトします。

### 12.4.3 伝達情報新規送信

送信一覧の「新規送信処理」ボタンをクリックすると伝達情報新規送信画面が表示されます。本画面では、伝達情報を新規作成し、送信します。

#### InfoCircle新規送信処理

ユーザID:   
 名前:

送信先選択:

セクション	名前	削除選択	削除対象

送信者名:

Subject:

送信文:

添付ファイル選択:

返信添付ファイル選択:

返信方法:
 

- 返信不要
- 返信要
- 添付ファイルで返信

閲覧開始日:
 

2009年3月						
日	月	火	水	木	金	土
22	23	24	25	26	27	28
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

閲覧期限なし
 

2009年4月						
日	月	火	水	木	金	土
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

警告開始日:
 

2009年4月						
日	月	火	水	木	金	土
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

送信通知メール送信:
 

- 通知する
- 通知しない

返信受信メール通知:
 

- 通知する
- 通知しない

➤ 画面内容は以下の通りです。

◇ 送信先選択

● 選択ボタン

送信先選択:	<input type="button" value="送信先選択"/>			
送信先一覧:	<b>セクション</b>	<b>名前</b>	<b>削除選択</b>	<b>削除対象</b>
	<input type="button" value="削除対象削除"/>			

本ボタンをクリックすると送信先選択画面が表示されます。その画面より送信先を選択します。何度でも表示させて送信先を選択することが出来ます。その都度、選択された送信先は選択済み送信先一覧に追加表示されます。

● 選択済み送信先一覧

選択された送信先がテーブルに表示されます。セクションで選択された場合も本テーブルでは個人別に展開されます。また、重複した送信先は整理されて省かれます。

➤ セクション

受信者の所属セクションです。

➤ 名前

受信者の名前です。

➤ 「削除選択」ボタン

送信先に選択した受信者を取り消すためのマークを ON / OFF します。

➤ 削除対象

送信先としての指定の取り消し対象に指定した場合、マークが表示されます。

➤ 「セクション宛伝達情報」チェックボックス

異動等によりセクションが変わったときは閲覧不可能にする閲覧制限を適用している場合に表示されます。本チェックボックスにチェックマークを付けると受信者はセクションが変わった場合、本伝達情報は閲覧出来ません。チェックマークがない場合は閲覧制限を適用してセクションが変わった場合でも閲覧できます。

● 「削除対象削除」ボタン

<input type="button" value="削除対象削除"/>
---------------------------------------

本ボタンをクリックすると削除対象マークの付いた送信先が取り消されます。削除対象マークの付いた送信先がない場合、無視されます。

◇ 送信者名

送信者名:	管理 太郎	▼
-------	-------	---

送信者名を名前と役割名のうちから選択します。

◇ Subject

Subject:	
----------	--

伝達情報の Subject を入力します。

◇ 送信文

伝達情報の本文を入力します。最大長は 8,192 バイトです。

◇ 添付ファイル選択

- 「AppSettings.config」の設定によりファイルの添付が許可されている場合、ファイル添付が可能です。
- 「参照」ボタンをクリックし、コマンドダイアログより添付するファイルを指定します。
- それにより、添付候補のファイル名が表示されます。
- 「添付ファイル選択」ボタンをクリックすることにより、添付候補として表示されているファイルを添付ファイルと確定し、添付ファイル一覧のコンボボックス内に表示されます。
- 複数ファイルを添付できます。
- 尚、同一ファイルを複数回添付しても無視されます。
- また、パスが違っていてもファイル名が同じ場合、同一ファイルとして扱い、無視されます。
- 添付ファイル一覧
  - 選択された添付ファイルがコンボボックス内に表示されます。
  - 「添付取り消し」ボタンをクリックすると、コンボボックスに表示されているファイルの添付を取り消します。

**InfoCircle での添付ファイルの最大サイズはインターネットで通例となっている 4MB 迄です。それを超えるとブラウザ側でエラーになります。それ以上大きいファイルを添付する場合は、分割して複数添付するか、web.config で指定したサイズを変更する必要があります。又、添付ファイル名はインターネットで許可されている名前である必要があります。許可されていない名前の場合、送信時に「MsgE003 ファイルのアップロードに失敗しました。ファイルが存在しない可能性があります。(ファイル名)」のエラーメッセージが表示されます。半角英数字のファイル名を推奨します。**

◇ 返信添付ファイル選択

- 「AppSettings.config」の設定によりファイルの添付が許可されている場合、返信用のファイル添付が可能です。
- 「参照」ボタンをクリックし、コマンドダイアログより添付する返信用ファイルを指定します。
- それにより、返信添付候補のファイル名が表示されます。
- 「返信添付ファイル選択」ボタンをクリックすることにより、返信添付候補として

表示されているファイルを返信添付ファイルと確定し、返信添付ファイル一覧のコンボボックス内に表示されます。

- 複数ファイルを添付できます。
- 尚、同一ファイルを複数回添付しても無視されます。
- また、パスが違っていてもファイル名が同じ場合、同一ファイルとして扱い、無視されます。
- 返信添付ファイル一覧
  - 選択された返信添付ファイルがコンボボックス内に表示されます。
  - 「返信添付取り消し」ボタンをクリックすると、コンボボックスに表示されているファイルの添付を取り消します。

**InfoCircleでの返信添付ファイルの最大サイズはインターネットで通例となっている4MB迄です。それを超えるとブラウザ側でエラーになります。それ以上大きいファイルを添付する場合は、分割して複数添付するか、web.configで指定したサイズを変更する必要があります。又、添付ファイル名はインターネットで許可されている名前である必要があります。許可されていない名前の場合、送信時に「MsgE003 ファイルのアップロードに失敗しました。ファイルが存在しない可能性があります。(ファイル名)」のエラーメッセージが表示されます。半角英数字のファイル名を推奨します。**

◇ 返信方法

返信方法:	<input checked="" type="radio"/> 返信不要 <input type="radio"/> 返信要 <input type="radio"/> 添付ファイルで返信
-------	---

伝達情報の受信者に対しての返信方法を指定します。

1. 返信不要  
返信は不要です。
2. 返信要  
メッセージによる返信を要求します。
3. 添付ファイルで返信  
添付ファイルによる返信を要求します。  
返信用のファイル添付が可能な場合のみ指定が可能です。

の3種類から指定します。

◇ 閲覧開始日カレンダー

閲覧開始日:	2009年3月						
	2						4
	日	月	火	水	木	金	土
	22	23	24	25	26	27	28
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4	

閲覧開始日をカレンダーで指定します。開始日以前には受信者は本伝達情報を閲覧できません。

◇ 閲覧期限カレンダー

閲覧期限なし

3 2009年4月 5

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9

閲覧期限:

閲覧期限をカレンダーで指定します。期限後には受信者は本伝達情報を閲覧できません。尚、システムで設定された保存期間を超えた閲覧期限は指定できません。デフォルト値は180日です。

- 閲覧期限なしチェックボックス（初期設定による）  
初期設定により閲覧期限なしを可能にした場合、本チェックボックスが表示されます。チェックを入れると閲覧期限はなく、無限に閲覧が可能となりカレンダーで指定された閲覧期限は無視されます。

◇ 警告開始日カレンダー

3 2009年4月 5

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9

警告開始日:

閲覧期限が迫ったときに警告の表示をする日付をカレンダーで指定します。その日を過ぎた場合、警告メッセージが表示されます。閲覧期限が無期限の場合、本指定は無視されます。

◇ 送信通知メール送信

送信通知メール送信:

通知する

通知しない

伝達情報を送信時、受信先に伝達情報を送信したことを知らせるメールを送信するかどうかを指定します。尚、受信側に[伝達情報受信受信通知アドレス](#)が定義されていない場合、通知指定がなされていてもメールは送信されません。

◇ 返信受信メール通知

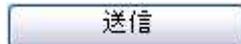
返信受信メール通知:

通知する

通知しない

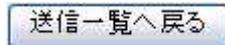
伝達情報の送信元が返信情報受信時に返信情報を受信したことを通知するメールを送信するかどうかを指定します。尚、送信元に[返信情報受信通知アドレス](#)が定義されていない場合、通知指定がなされていてもメールは送信されません。

- ◇ 「送信」ボタン



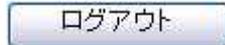
伝達情報を送信します。

- ◇ 「送信一覧へ戻るボタン」



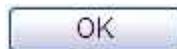
本ボタンをクリックすると送信一覧へ戻ります。

- ◇ 「ログアウト」ボタン



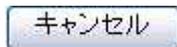
本ボタンをクリックすると InfoCircle からログアウトします。

- 「OK」ボタン



- ◇ 「送信」ボタンがクリックされて送信処理が行われたときに「キャンセル」ボタンと共に表示されます。
- ◇ 正常に送信された場合、「キャンセル」ボタンは表示されず、本ボタンだけが表示され、送信が完了したことの確認の為に本ボタンをクリックします。

- 「キャンセル」ボタン



- ◇ 添付による返信を要求している伝達情報ではないのに返信添付ファイルが添付されている等、矛盾があるにも拘らず「送信」ボタンをクリックした場合に警告メッセージとともに表示されます。
- ◇ 「送信」ボタンをクリックした場合、警告を無視して送信処理を行い、本ボタンをクリックした場合は送信処理を中止します。

#### 12.4.4 送信先選択

伝達情報新規送信で「送信先選択」ボタンがクリックされると以下の画面が表示されます。



➤ 画面内容は以下の通りです。

◇ セクションツリー

送信先一覧のセクションツリーです。送信先を選択する場合、最初に本ツリーの該当セクションをクリックして、送信先セクションを選択します。

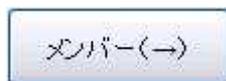
◇ 選択セクションラベル

セクションツリーをクリックすることによって、選択されたセクション名が表示されます。

◇ メンバーリスト

セクションツリーをクリックすることによって、選択されたセクションに所属するメンバーが表示されます。

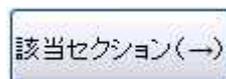
◇ 「メンバー( )」選択ボタン



上記メンバーリスト内のメンバーをクリックして選択候補とし、本ボタンをクリックすることにより送信先として選択します。

選択されたメンバーは送信先選択リストに表示されます。既に選択されているメンバーを重複して選択した場合は無視されます。

◇ 「該当セクション( )」選択ボタン



本ボタンをクリックすることにより、選択しているセクションのメンバー全員に伝達情報を送信するものとしてそのセクションを送信先として選択します。

選択されたセクションは送信先選択リストに表示されます。既に該当セクションとして選択されているセクションを重複して選択した場合は無視されます。

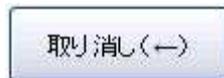
- ◇ 「全セクション( )」選択ボタン



本ボタンをクリックすることにより、選択しているセクション及びツリー構造の下位セクション全てのメンバー全員に伝達情報を送信するものとしてそのセクションを送信先として選択します。

選択されたセクションは送信先選択リストに表示されます。既に全セクションとして選択されているセクションを重複して選択した場合は無視されます。

- ◇ 「取り消し」ボタン

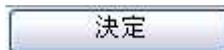


送信先選択リスト内で選択されている送信先メンバー或いはセクションを送信先から取り消します。

- ◇ 送信先選択リスト

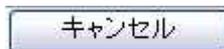
送信先として選択されたメンバー及びセクションの一覧です。

- ◇ 「決定」ボタン



本ボタンをクリックすると送信先の選択が完了し、伝達情報新規送信画面へ戻ります。伝達情報新規送信画面へ戻った際、送信先一覧に選択したメンバーが表示されます。

- ◇ 「キャンセル」ボタン



本ボタンをクリックすると送信先選択をキャンセルし、伝達情報新規送信画面へ戻ります。選択されていた送信先は無視されます。

- ◇ 「ログアウト」ボタン

本ボタンをクリックすると InfoCircle からログアウトします。



- 送信権限について

送信権限の無いセクションもセクションツリーに表示されるモードになっていてもそのセクション及びそのセクションのメンバーは送信先として選択できません。

また、選択したセクションには送信権限があり、下位のセクションにない場合でそのセクション以下全体に送信するように選択した場合でも下位に送信権限のないセクションが存在する場合、その下位のセクションは送信の対象外となります。

## 12.5 伝達情報受信

### 12.5.1 受信一覧

メニューより伝達情報受信が選択されると以下の画面が表示されます。

### InfoCircle受信処理

ユーザID:	tel11
名前:	営業一郎

受信一覧

Subject	送信者	閲覧期限	警告	内容表示	既読	返信
営業レポート依頼	管理 太郎	2009年4月1日		<input type="button" value="表示"/>	既読	返信済
花見のお知らせ	管理 太郎	2009年4月11日		<input type="button" value="表示"/>		

受信一覧並べ替え

<input type="radio"/> Subject	<input type="radio"/> 降順
<input type="radio"/> 送信者	<input type="radio"/> 昇順
<input type="radio"/> 閲覧期限	

➤ 画面内容は以下の通りです。

◇ 受信一覧

受信一覧

Subject	送信者	閲覧期限	警告	内容表示	既読	返信
営業レポート依頼	管理 太郎	2009年4月1日		<input type="button" value="表示"/>	既読	返信済
花見のお知らせ	管理 太郎	2009年4月11日		<input type="button" value="表示"/>		

- Subject  
受信した伝達情報の Subject です。
- 送信者（役割名も有り得る）  
送信者名です。氏名の場合も役割名の場合もあります。
- 閲覧期限  
受信した伝達情報の閲覧期限です。閲覧期限を過ぎても一覧表示表示するかどうかはコントロール情報の設定によります。閲覧期限を過ぎるとたとえ一覧表に表示されていても内容にお閲覧は出来ません。内容をお閲覧するためには管理者に依頼して、閲覧期限を変更してもらう必要があります。  
尚、閲覧期限のない伝達情報の場合、「期限なし」と表示されます。
- 警告  
受信した伝達情報が閲覧期限切れ、或いは閲覧期限が迫っていることを知らせます。期限無しの場合、何も表示されません。
- 既読  
受信した伝達情報を既に読んだかどうかのマークです。
- 返信  
受信した伝達情報が返信を要求している場合、既に返信したかどうかのマークです。
- 内容表示ボタン

本ボタンをクリックすると受信した伝達情報の内容が表示されます。

◇ 「並べ替える」ボタン

受信一覧並べ替え	
<input type="radio"/> Subject	<input type="radio"/> 降順
<input type="radio"/> 送信者	<input type="radio"/> 昇順
<input type="radio"/> 閲覧期限	
<input type="button" value="並べ替える"/>	

本ボタンをクリックすると受信一覧が並べ替えの指定に従って並べ替えられます。  
伝達情報が1個以下の場合、表示されません。

◇ 「メニューへ戻る」ボタン

本ボタンをクリックすると InfoCircle のメニューへ戻ります。

◇ 「ログアウト」ボタン

本ボタンをクリックすると InfoCircle からログアウトします。

## 12.5.2 受信内容表示

受信一覧の「内容表示」ボタンをクリックすると、該当伝達情報の内容が表示されます。本画面では返信要求付きの伝達情報に対する返信も行うことができます。

### InfoCircle受信内容

ユーザID:	te111
名前:	営業一郎

送信者:	(1)管理 太郎
Subject:	営業レポート依頼
送信文:	先月の営業レポートを添付書類に記入して提出してください。
添付ファイル:	営業レポート記入手順.xls <input type="button" value="保存"/>
返信添付ファイル:	営業レポート雛形.xls <input type="button" value="保存"/>
閲覧期限:	2009年4月1日
返信要求種別:	添付返信
返信日:	2009年3月11日 <input type="button" value="営業レポート.xls"/>
返信添付選択:	<input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="返信添付ファイル選択"/> <input type="button" value="返信添付取り消し"/>
返信文:	営業レポート提出します。 <input type="button" value="返信"/>

➤ 画面内容は以下の通りです。

◇ 送信者

送信者: (1)管理 太郎

本伝達情報の送信者名です。名前の場合と役割名の場合があります。

◇ Subject

Subject: 営業レポート依頼

本伝達情報の Subject です。

◇ 送信文

送信文:	先月の営業レポートを添付書類に記入して提出してください。
------	------------------------------

本伝達情報の送信本文です。

◇ 添付ファイル

添付ファイル:	営業レポート記入手順.xls	保存
---------	----------------	----

添付したファイル名です。複数存在する場合があります。保存ボタンをクリックすることにより添付ファイルを保存できます。

◇ 返信添付ファイル

返信添付ファイル:	営業レポート雛形.xls	保存
-----------	--------------	----

返信文記入用に添付した返信用添付ファイル名です。複数存在する場合があります。保存ボタンをクリックすることにより返信用添付ファイルを保存できます。

◇ 閲覧期限

閲覧期限:	2009年4月1日
-------	-----------

本伝達情報の閲覧期限です。期限後には受信者は本伝達情報を閲覧できません。無期限の場合は「期限なし」と表示されます。

◇ 返信要求種別

返信要求種別:	添付返信
---------	------

本伝達情報の返信要求種別です。

1. 返信不要  
返信は不要です。
2. 返信要  
メッセージによる返信を要求しています。
3. 添付ファイルで返信  
添付ファイルによる返信を要求しています。

の3種類があります。

◇ 返信日

返信日:	2009年3月11日
------	------------

本伝達情報が返信を要求していて、且つ返信された場合の返信日付です。返信されていない場合、「未返信」と表示されます。また、複数回返信された場合、最新の返信日付が表示されます。

返信が要求されていない場合は何も表示されません。

◇ 返信ファイル

営業レポート.xls
------------

添付返信のファイル名です。未返信の場合は空白です。

また、返信が要求されていない場合及び添付ファイルによる返信が要求されていない場合、何も表示されません。

◇ 返信添付選択

返信添付選択:		参照...	返信添付ファイル選択
			返信添付取り消し

- 添付返信を要求されている伝達情報の場合のみ表示されます。
- 「参照」ボタンをクリックしてコマンドダイアログより返信添付のファイルを指定します。
- それにより添付返信候補のファイル名が表示されます。
- 「添付ファイル選択」ボタンをクリックすることにより、添付候補として表示されているファイルを添付ファイルと確定し、添付ファイル一覧のコンボボックス内に表示されます。
- 複数ファイルを添付できます。
- 尚、同一ファイルを複数回添付しても無視されます。
- また、パスが違っていてもファイル名が同じ場合、同一ファイルとして扱い、無視されます。
- 「返信添付取り消し」ボタンをクリックすると、コンボボックスに表示されているファイルの添付を取り消します。

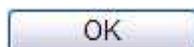
**InfoCircle での添付返信ファイルの最大サイズはインターネットで通例となっている 4MB 迄です。それを超えるとブラウザ側でエラーになります。それ以上大きいファイルを添付する場合は、分割して複数添付するか、web.config で指定したサイズを変更する必要があります。又、添付ファイル名はインターネットで許可されている名前である必要があります。許可されていない名前の場合、返信時に「MsgE003 ファイルのアップロードに失敗しました。ファイルが存在しない可能性があります。」のエラーメッセージが表示されます。半角英数字のファイル名を推奨します。**

◇ 返信文

返信文入力エリアに返信メッセージを入力し、「返信」ボタンをクリックすることで返信を行います。最大長は 8,192 バイトです。

通常の返信では返信文の入力は必須ですが添付ファイルによる返信の場合は特に返信メッセージは必須ではありません。

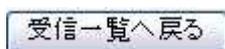
◇ OK ボタン（問題なければ一覧へ戻る）



返信文を送信したときに確認のために表示され、エラーがあればエラーメッセージも同時に表示されます。

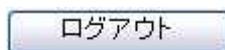
エラーがなく正常に返信した場合、受信一覧へ戻ります。

◇ 「受信一覧へ戻る」ボタン



本ボタンをクリックすると受信一覧へ戻ります。

◇ 「ログアウト」ボタン



本ボタンをクリックすると InfoCircle からログアウトします。

## 12.6 ユーティリティ

メニューよりユーティリティが選択されると以下の画面が表示されます。

### InfoCircleユーティリティ

メニューへ戻るログアウト

#### パスワード変更

旧パスワード:

新パスワード:

新パスワード(再):

変更通知メール送信

変更

#### パスワード回復のためのQuestion&Answer変更

質問の選択: 選択して下さい

答え:

変更

#### 伝達情報受信通知メールアドレス変更

メールアドレス:

メールアドレス(再):

変更

#### 返信情報受信通知メールアドレス変更

メールアドレス:

メールアドレス(再):

変更

#### Profile変更

名前:

ニックネーム(役割名):

住所:

生年月日: 年 月を選択月 日を選択日

電話番号:

その他:

変更

脱会するメニューへ戻るログアウト

- 画面内容は以下の通りです。

- パスワード変更

パスワード変更

旧パスワード:

新パスワード:

新パスワード(再):

変更通知メール送信

変更

ログインパスワードを変更します。

- ◇ 旧パスワード
- ◇ 新パスワード
- ◇ 新パスワード (確認のため再入力)

を入力し、「変更」ボタンをクリックします。

入力が誤りがない場合、パスワードは新パスワードに変更されます。

変更したパスワードをメールで通知する場合は「変更通知メール送信」のチェックボックスにチェックマークを入れます。変更通知は[返信情報受信通知メールアドレス](#)に送信されます。尚、以下の条件が全て揃っていない場合、メール送信はされません。

1. [返信情報受信通知メールアドレス](#)が設定されている。
2. コントロール情報の設定でメール通知モードになっている。
3. SMTP サーバー、送信者アドレス等の送信側情報が揃っている

- パスワード回復のための [Question&Answer](#) 変更

パスワード回復のためのQuestion&Answer変更

質問の選択:

答え:

変更

パスワードを忘れたときにそれを回復するための [Question&Answer](#) を変更します。

現在の [Question&Answer](#) が設定されていれば表示されているのでそれを変更する場合、及び [Question&Answer](#) が設定されていなく新たに設定する場合、質問を選択し、新しい答えを設定して「変更」ボタンをクリックします。設定内容にエラーがない場合、[Question&Answer](#) が変更、設定されます。

既に設定されている [Question&Answer](#) を未設定にする場合、質問の選択で「選択してください」を選択し、答えを空白 (スペースを入力することは不可) にして「変更」ボタンをクリックします。

- [伝達情報受信通知メールアドレス](#) 変更

伝達情報受信通知メールアドレス変更

メールアドレス:

メールアドレス(再):

変更

伝達情報を受信したことを通知する [伝達情報受信通知メールアドレス](#) を変更します。

- ◇ 新アドレス
- ◇ 新アドレス (確認のため再入力)

を入力し、「変更」ボタンをクリックします。

入力が誤りがない場合、[伝達情報受信通知メールアドレス](#) は変更されます。

尚、伝達情報受信をメール通知しない運用では本項目は表示されません。

➤ [返信情報受信通知メールアドレス変更](#)

**返信情報受信通知メールアドレス変更**

メールアドレス:

メールアドレス(再):

返信情報を受信したこと及びパスワードを変更したことを通知する[返信情報受信通知メールアドレス](#)を変更します。

◇ 新アドレス

◇ 新アドレス (確認のため再入力)

を入力し、「変更」ボタンをクリックします。

入力に誤りがない場合、返信情報受信通知メールアドレスは変更されます。

尚、返信情報受信をメール通知しない運用では本アドレスはパスワード回復通知メールアドレスと表示されます。

➤ [Profile 変更](#)

**Profile変更**

名前:

ニックネーム(役割名):

住所:

生年月日: 年 月を選択 月 日を選択 日

電話番号:

その他:

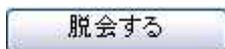
その他 Profile を変更します。変更項目は以下の通りです。(必須項目はシステムの設定によります)

1. 名前
2. ニックネーム ([役割名](#))
3. 住所
4. 生年月日
5. 電話番号
6. その他

上記項目を必要に応じて変更し、「変更」ボタンをクリックします。

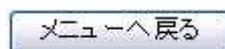
入力に誤りがない場合、Profile は変更されます。

- 「脱会する」ボタン



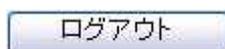
本ボタンをクリックすると InfoCircle から脱会し、ユーザアカウントをクローズします。尚、「脱会する」ボタンはユーザが自身で登録し、アカウントを開設した場合のみに表示され、脱会が可能です。システム管理者により登録されたユーザには本ボタンは表示されず、ユーザ自身で脱会は出来ません。ユーザが自身でアカウントを開設可能かどうかはコントロール情報においてシステムの運用形態の設定によります。

- 「メニューへ戻る」ボタン



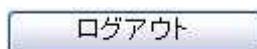
本ボタンをクリックするとメニューへ戻ります。

- 「ログアウト」ボタン



本ボタンをクリックすると InfoCircle からログアウトします。

## 12.7 ログアウト



メニュー画面のログアウトボタンをクリックすると InfoCircle からログアウトします。

## 12.8 パスワード回復

- ・ ユーザIDを入力し、選択した質問に対して正しい回答を行うとパスワードが表示されます。また、パスワードメール送信チェックボックスにチェックを入れるとユーザ情報で[指定されたメールアドレス](#)に送信されます。

尚、以下の条件が全て揃っていない場合、メール送信はされません。

7. [返信情報受信通知メールアドレス](#)が設定されている。
8. コントロール情報の設定でメール通知モードになっている。
9. SMTP サーバー、送信者アドレス等の送信側情報が揃っている。

## 12.9 ユーザ新規登録

ユーザが自身によってアカウントを開設し、InfoCircleの使用を可能にします。  
設定必須項目はコントロール情報の設定により異なります。

InfoCircleユーザ新規登録	
ユーザID:	<input type="text"/>
名前:	<input type="text"/>
パスワード入力:	<input type="password"/>
パスワード再入力:	<input type="password"/>
質問の選択:	<input type="text" value="選択して下さい"/> ▼
答え:	<input type="text"/>
セクション選択:	<input type="text" value="X000 Other1"/> ▼
伝達情報受信通知メールアドレス:	<input type="text"/>
伝達情報受信通知メールアドレス(再):	<input type="text"/>
返信情報受信通知メールアドレス:	<input type="text"/>
返信情報受信通知メールアドレス(再):	<input type="text"/>
ニックネーム(役割名):	<input type="text"/>
生年月日:	<input type="text" value="年 月を選択"/> ▼月 <input type="text" value="日を選択"/> ▼日
住所:	<input type="text"/>
電話番号:	<input type="text"/>
その他:	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="戻る"/>	

画面内容は以下の通りです。

- ・ 設定項目

- ユーザID

ユーザID:	<input type="text"/>
--------	----------------------

ログインする際のユーザIDを入力します。

- 名前

名前:	<input type="text"/>
-----	----------------------

名前を入力します。

- パスワード

パスワード入力:	<input type="password"/>
----------	--------------------------

ログインパスワードを入力します。

- パスワード(再入力)

パスワード再入力:	<input type="password"/>
-----------	--------------------------

確認のため、再度パスワードを入力します。

- 質問の選択

質問の選択:	<input type="text" value="選択して下さい"/> ▼
--------	--

パスワードを忘れたときに回復するための Question&Answer の質問を選択します。

- 質問の答え

答え:	<input type="text"/>
-----	----------------------

上記質問に対する回答を入力します。

- セクション選択

セクション選択:	X000 Other1
----------	-------------

所属するセクションを選択できる運用になっている場合、自身が所属するセクションを選択します。所属するセクションを選択可能にするかどうかは Confoig パラメータの設定によります。

- [伝達情報受信通知メールアドレス](#)

伝達情報受信通知メールアドレス:	<input type="text"/>
------------------	----------------------

伝達情報を受信したことを通知する [伝達情報受信通知メールアドレス](#) をを入力します。尚、メールによる通知指定がなされていない場合、本アドレスを設定しても通知メールは送られてきません。

- [伝達情報受信通知メールアドレス \(再入力\)](#)

伝達情報受信通知メールアドレス(再):	<input type="text"/>
---------------------	----------------------

同アドレスを確認のため再度入力します。

- [返信情報受信通知メールアドレス](#)

返信情報受信通知メールアドレス:	<input type="text"/>
------------------	----------------------

返信情報を受信したことを通知する [返信情報受信通知メールアドレス](#) を入力します。尚、メールによる通知指定がなされていない場合、本アドレスを設定しても通知メールは送られてきません。

又、パスワードを変更したときも本アドレスに通知されます。

- [返信情報受信通知メールアドレス \(再入力\)](#)

返信情報受信通知メールアドレス(再):	<input type="text"/>
---------------------	----------------------

同アドレスを確認のため再度入力します。

- ニックネーム ([役割名](#))

ニックネーム(役割名):	<input type="text"/>
--------------	----------------------

ニックネーム ([役割名](#)) を入力します。

- 生年月日

生年月日:	<input type="text"/>	年	月を選択	▼	月	日を選択	▼	日
-------	----------------------	---	------	---	---	------	---	---

生年月日を入力します。

- 住所

住所:	<input type="text"/>
-----	----------------------

住所を入力します。

- 電話番号

電話番号:	<input type="text"/>
-------	----------------------

電話番号を入力します。

- その他

その他:	
------	--

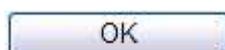
その他事項を自由に入力します。

- ・ 「登録」ボタン



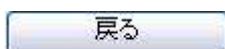
ユーザ ID の重複、データの不備等をチェックし、問題がなければユーザを登録し、InfoCircle の使用を可能にします。

- ・ OK ボタン



ユーザ登録後、確認メッセージと共に表示されます。エラーがある場合もエラーメッセージと共に表示されます。

- ・ 「戻る」ボタン



本ボタンをクリックするとログイン画面へ戻ります。

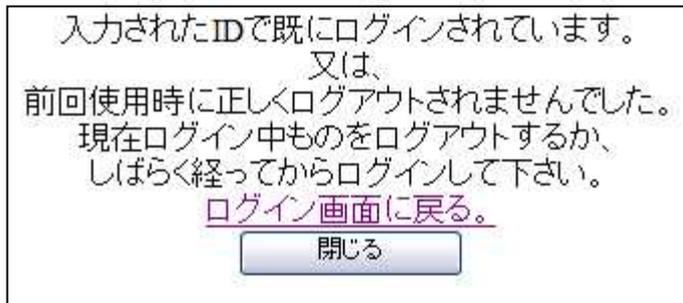
## 12.10 その他画面

- ログアウト画面



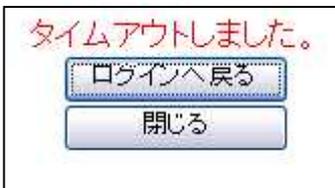
InfoCircle からログアウトしたときに表示されます。

- InfoCircle 重複ログイン警告



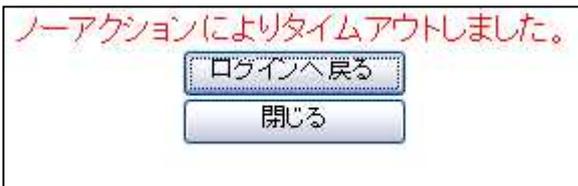
同じ ID でログインされているか、前回正しくログアウトされなかった場合に表示されます。

- InfoCircle タイムアウト警告



タイムアウトしたときに表示されます。

- InfoCircle ノーアクションタイムアウト警告



ノーアクションによりタイムアウトしたときに表示されます。

- InfoCircle 脱会



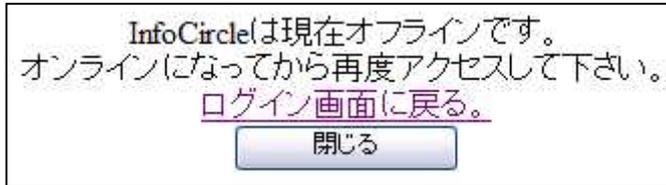
ユーティティ画面で InfoCircle から脱会したときに表示されます。

- InfoCircle 動作環境不一致



指定されたブラウザ以外で InfoCircle にアクセスした場合に表示されます。

- InfoCircle オフラインエラー



オフライン時にログインしようとしたときに表示されます。

- InfoCircle エラー発生



その他エラーが発生したときに表示されます。

## 13 メッセージ

### 13.1 管理ツール等のメッセージ

メ ッ セ ー ジ	内 容
Msg1 パスワードが一致しません。	ログインパスワードが不一致の場合に表示されます。
Msg2 答えが違います。	パスワード回復の Question&Answer の答えが違う場合に表示されます。
Msg3 管理者権限がありません。	管理者権限がないにも拘らず管理ツールにログインしようとした場合に表示されます。
Msg4 「開始日付 < = 終了日付」でなければなりません。	ログを操作する際の期間指定に誤りがある場合に表示されます。
Msg5 ユーザ ID が入力されていません。	ログを操作する際、ユーザ ID 指定にも拘わらずユーザ ID が入力されていない場合に表示されます。
Msg6 現在のセクション情報は全て失われ、新規に作成します。よろしいですか？	セクション情報を CSV ファイルから読み込んで新規に作成する場合に表示されます。
Msg7 現在のユーザ情報は全て失われ、新規に作成します。よろしいですか？	ユーザ情報を CSV ファイルから読み込んで新規に作成する場合に表示されます。
Msg8 ログの表示に失敗しました。	ログデータの表示に失敗したときに表示されます。
Msg13 Question が指定されているのに Answer が入力されていません。	ユーザ登録、ユーザ編集等で Question&Answer の指定方法に誤りのある場合に表示されます。
Msg14 権限ファイルの格納されているパスが違います。	通常セクション、独立セクションの登録、編集時に許されているパスと違う場所の CSV ファイルを指定した場合に表示されます。
Msg15 セクションコードが入力されていません。	通常セクション、独立セクションの登録、編集時にセクションコードが入力されていない場合に表示されます。
Msg17 セクション名が入力されていません。	通常セクション、独立セクションの登録、編集時にセクション名が入力されていない場合に表示されます。
Msg20 指定されたセクションを削除します。よろしいですか？	通常セクション、独立セクションを削除する際に表示される確認メッセージです。
Msg21 指定されたセクションコードは使用できません。	通常セクション、独立セクションの登録、編集時に許されないセクションコードを入力した場合に表示されます。
Msg22 指定されたセクションコードは上位セクションとして使用できません。	通常セクション、の登録、編集時に上位セクションとして許されないセクションコードを入力した場合に表示されます。
Msg23 更新しました。	通常セクション、独立セクション、ユーザ情報編集時、データを更新した場合に表示されます。
Msg24 削除しました。	通常セクション、独立セクション、ユーザ情報を削除した場合に表示されます。
Msg25 指定されたユーザを削除します。よろしいですか？	ユーザ情報を削除する際に表示される確認メッセージです。
Msg26 登録しました。	通常セクション、独立セクション、ユーザ情報編集時、データを登録した場合に表示されます。
Msg27 指定されたセクションのメンバーを異動します。よろしいですか？	指定されたセクションに所属するメンバーを別のセクションへ異動する際に表示される確認メッセージです。
Msg28 異動しました。	指定されたセクションに所属するメンバーを別のセクションへ異動した場合に表示されます。
Msg29 指定されたユーザは存在しません。	ユーザ編集、閲覧者変更、期限切れデータ復旧、仮削除データ復旧で指定されたユーザ ID のユーザが存在しない場合に表示されます。
Msg30 期間指定は先頭日付 最終日付	閲覧者変更、期限切れデータ復旧、仮削除データ復旧で日付の

でなければなりません。	指定に矛盾が存在する場合に表示されます。
Msg31 条件に合ったデータはありません。	期限切れデータ復旧、仮削除データ復旧で条件にあったデータが存在しない場合に表示されます。
Msg32 本処理はオンライン時には行えません。	オンライン中には行えない処理を指定した場合に表示されます。
Msg33 データを復旧します。よろしいですか？	期限切れデータ復旧、仮削除データ復旧する際に表示される確認メッセージです。
Msg34 データを完全に削除します。よろしいですか？	期限切れデータ本削除、仮削除データ本削除する際に表示される確認メッセージです。
Msg35 新閲覧日付に過去の日付は指定できません。	期限切れデータを復旧する際に閲覧期限を現在より過去の日付を指定した場合に表示されます。
Msg36 指定された条件で閲覧者を変更します。よろしいですか？	閲覧者を返送する際に表示される確認メッセージです。
Msg39 処理を完了しました。	支持された処理が完了した際に表示される確認メッセージです。
Msg42 データベースを完全に初期化します。よろしいですか？	InfoCircle のデータベースを完全に初期化する際に表示される確認メッセージです。
Msg43 データベースの伝達情報と返信データを初期化します。よろしいですか？	InfoCircle のデータベースのデータ部分を初期化する際に表示される確認メッセージです。
Msg44 データベースをバックアップします。よろしいですか？	InfoCircle のデータベースをバックアップする際に表示される確認メッセージです。
Msg45 データベースをリストアします。よろしいですか？	InfoCircle のデータベースをリストアする際に表示される確認メッセージです。
Msg46 オンラインにします。よろしいですか？	InfoCircle をオンラインに切り替える際に表示される確認メッセージです。
Msg47 オフラインリクエストを行います。よろしいですか？	InfoCircle をオフラインに切り替えるリクエストを発行する際に表示される確認メッセージです。全てのユーザがログアウトして時点でオフラインに切り替わります。
Msg48 オンラインにしました。	InfoCircle がオンラインに切り替わった場合に表示されます。
Msg49 オフラインリクエストしました。	InfoCircle に対してオフラインリクエストが完了した場合に表示されます。
Msg50 総合権限モードを変更します。よろしいですか？	伝達情報送信時の総合権限モードを変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg51 総合権限モードを変更しました。	伝達情報送信時の総合権限モードを変更した場合に表示されます。
Msg52 通常セクション権限モードを変更します。よろしいですか？	伝達情報送信時の通常セクション権限モードを変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg53 通常セクション権限モードを変更しました。	伝達情報送信時通常セクション権限モードを変更した場合に表示されます。
Msg54 独立セクション権限モードを変更します。よろしいですか？	伝達情報送信時の独立セクション権限モードを変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg55 独立セクション権限モードを変更しました。	伝達情報送信時独立セクション権限モードを変更した場合に表示されます。
Msg56 SMTP サーバー、または送信者アドレスが入力されていません。	伝達情報、返信情報受信時にメール通知を行うモードに指定したにも拘わらず SMTP サーバー或いは送信者のメールアドレスが入力されていない場合に表示されます。
Msg57 メール通知指定を変更します。よろしいですか？	伝達情報、返信情報受信時にメール通知を行うモード変更する際に表示される確認メッセージです。

Msg58 メール通知指定を変更しました。	伝達情報、返信情報受信時にメール通知を行うモードを変更した場合に表示されます。
Msg59 ユーザセルフ登録モードを変更します。よろしいですか？	ユーザのセルフ登録を許可するモードを変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg60 ユーザセルフ登録モードを変更しました。	ユーザのセルフ登録を許可するモードを行うモードを変更した場合に表示されます。
Msg61 データ消去タイムリミット日数を変更します。よろしいですか？	期限切れデータを本削除するまでのタイムリミット日数を変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg62 データ消去タイムリミット日数を変更しました。	期限切れデータを本削除するまでのタイムリミット日数を変更した場合に表示されます。
Msg63 値を正しく指定してください。	コンボボックスより正しく値を選択していない場合に表示されます。
Msg64 ログ削除タイムリミット日数を変更します。よろしいですか？	ログデータを保管するタイムリミット日数を変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg65 ログ削除タイムリミット日数を変更しました。	ログデータを保管するタイムリミット日数を変更した場合に表示されます。
Msg66 タイマオペレーション定義を変更します。よろしいですか？	データのクリア等の処理を行うタイマオペレーションの定義を変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg67 タイマオペレーション定義を変更しました。	データのクリア等の処理を行うタイマオペレーションの定義を変更した場合に表示されます。
Msg68 閲覧期限切れデータの表示方法を変更します。よろしいですか？	閲覧期限切れデータのタイトルを受信者の受信一覧に表示するかどうかの定義を変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg69 閲覧期限切れデータの表示方法を変更しました。	閲覧期限切れデータのタイトルを受信者の受信一覧に表示するかどうかの定義を変更した場合に表示されます。
Msg70 閲覧制限方法を変更します。よろしいですか？	所属が変わった場合に旧所属宛伝達情報の閲覧の制限方法を変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg71 閲覧制限方法を変更しました。	所属が変わった場合に旧所属宛伝達情報の閲覧の制限方法ををを変更した場合に表示されます。
Msg72 ログインタイムアウト時間を変更します。よろしいですか？	ログイン制限時間を変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg73 ログインタイムアウト時間を変更しました。	ログイン制限時間を変更した場合に表示されます。
Msg74 ログ取得情報を変更します。よろしいですか？	ログイン取得情報を変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg75 ログ取得情報を変更しました。	ログイン取得情報を変更した場合に表示されます。
Msg76 ユーザ情報登録必須項目を変更します。よろしいですか？	ユーザ登録時の必須項目を変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg77 ユーザ情報登録必須項目を変更しました。	ユーザ登録時の必須項目を変更した場合に表示されます。
Msg78 ログの印刷に失敗しました。	ログデータの印刷に失敗した場合に表示されます。
Msg79 指定した条件でログをクリアします。よろしいですか？	ログをクリアする際に表示される確認メッセージです。
Msg80 InfoCircle は初期化されていません。最初に初期化を行ってください。	InfoCircle が初期化されていない場合に表示されます。
Msg81 評価使用量を超えました。"継続してお使いになる場合は格納したデータ類を完全に削除して初期状態に戻すか、InfoCircle 初期化プログラムでユー	評価使用で送信できる伝達情報の数を超えた場合に表示されます。

ザ登録を行ってください。初期状態に戻しますか？	
Msg82 登録情報が壊れています。InfoCircle 初期化プログラムで再度ユーザ登録を行ってください。	ライセンス登録情報が壊れている場合に表示されます。
Msg83 CSV ファイル読み込み中にエラーが発生しました。読み込みを中止します。	CSV ファイルからのユーザ登録、セクション登録で CSV ファイル読み込み中、エラーが発生した場合に表示されます。
Msg84 CSV ファイル内のデータのフォーマットが正しくありません。読み込みを中止します。	CSV ファイルからのユーザ登録、セクション登録で CSV ファイル読み込み中、ファイルフォーマットが正しくない場合に表示されます。
Msg85 同じセクションが複数存在します。読み込みを中止します。	CSV ファイルからのセクション登録で CSV ファイル読み込み中、同一セクションが複数存在した場合に表示されます。
Msg86 上位セクションが未定義です。処理を中止します。	CSV ファイルからのセクション登録で CSV ファイル読み込み中、指定された上位セクションが存在しない場合に表示されます。
Msg87 指定されたセクションコードは既に存在します。	セクション登録で指定されたセクションコードが既に存在する場合に表示されます。
Msg88 指定された上位セクションコードは存在しません。	セクション登録で指定された上位セクションが存在しない場合に表示されます。
Msg89 指定されたセクションコードは存在しません。作業中に削除された可能性があります。	セクション編集で指定されたセクションコードが存在しない場合に表示されます。
Msg90 指定されたセクションコードは存在しません。	セクション編集、ユーザ異動で指定されたセクションコードが存在しない場合に表示されます。
Msg91 指定されたセクションコードは使用できません。処理を中止します。	CSV ファイルからのセクション登録で CSV ファイル読み込み中、許されないセクションコードが存在する場合に表示されます。
Msg93 指定された独立セクションコードは存在しません。	独立セクション編集で指定されたセクションコードが存在しない場合に表示されます。
Msg94 所属不明のユーザは存在しません。	所属セクションチェックで所属セクションが不明のユーザが存在しない場合に表示されます。
Msg95 所属不明のユーザの所属を Orphan にしました。	所属セクションチェックで所属セクションが不明のユーザを独立セクションの Orphan に移動した場合に表示されます。
Msg96 上位のセクションが不明のセクションを最上位にしました。	所属セクションチェックで所属するセクションの上位が未定義のため、最上位にした場合に表示されます。
Msg97 下位のセクションが不明のセクションのつながりを削除しました。	所属セクションチェックで所属するセクションの下位が未定義のため、下位のつながりを削除した場合に表示されます。
Msg98 権限ファイルが指定されているのに列コードが指定されていません。読み込みを中止します。	CSV ファイルからのセクション登録で CSV ファイル読み込み中、権限ファイルが指定されているのに列コードが指定されていない場合に表示されます。
Msg99 指定されたログデータはありません。	ログの表示等の処理中、指定されたログデータが存在しない場合に表示されます。
Msg101 ファイル出力中にエラーが発生しました。処理を中止します。	ログデータのファイル出力中、エラーが発生した場合に表示されます。
Msg102 必須項目がセットされていません。	ユーザ登録、ユーザ編集で必須項目が入力されていない場合に表示されます。
Msg103 ユーザ ID が重複しています。	ユーザ登録でユーザ ID が重複している場合に表示されます。

Msg104 所属コードが存在しません。	ユーザ登録、ユーザ編集で所属セクションが存在しない場合に 表示されます。
Msg105 Question and Answer の質問 番号が正しくありません。	CSV ファイルによるユーザ登録で Question&Answer の質問番 号が正しくない場合に表示されます。
Msg106 ユーザ ID に許されない形式が 使用されています。	ユーザ登録でユーザ ID として許されない形式が使用されてい る場合に表示されます。
Msg107 生年月日のフォーマットが正 しくありません。	ユーザ登録、ユーザ編集で生年月日の形式が正しくない場合に 表示されます。
Msg109 登録ユーザ数がライセンス数 を超えています。	ユーザ登録で登録ユーザ数がライセンス数を超えた場合に表示 されます。
Msg110 処理を中止します。	エラーが発生し、他のメッセージと共に表示され、以降の処理 を中止する場合に表示されます。
Msg111 指定されたユーザは既に削除 されています。	仮削除データ復旧で送信者が既に削除、脱会している場合に表 示されます。
Msg112 指定されたユーザは存在しま せん。作業中に削除された可能性があり ます。	ユーザ編集集中に指定したユーザが存在しなくなった場合に表示 されます。
Msg113 ユーザ ID が指定されていま せん。	仮削除データ復旧、期限切れデータ復旧でユーザ ID を指定して 復旧するモードにも拘わらず、ユーザ ID が指定されていない場 合に表示されます。
Msg114 閲覧者を変更しました。	閲覧者変更が完了した場合に表示されます。
Msg115 閲覧者を変更するデータはあ りませんでした。	閲覧者変更で指定した条件の伝達情報が存在しない場合に表示 されます。
Msg116 エラーが発生しました。処理を 中止します。	データベースのバックアップ、リストアでエラーが発生した場 合に表示されます。
Msg117 指定された場所にリストアす るデータベース類が揃っていません。	データベースのリストア時にリストアに必要なデータベース、 ファイル類が揃っていない場合に表示されます。
Msg118 リストア処理が終了したので 管理ツールを終了します。	データベースのリストアが完了した時点で管理者が異なってい る場合も有り得るため、一旦管理ツールを終了する旨のメッセ ージです。
Msg119 現在、オフラインリクエスト中 です。中止して、オンラインに切り替え ますか？	オフラインリクエスト中にリクエストを取り消してオンライン に戻す場合に表示される確認メッセージです。
Msg200 オンラインです。	ログインステータス照合においてオンラインであった場合に表 示されます。
Msg201 オフラインリクエスト中です。	ログインステータス照合においてオフラインリクエスト中であ った場合に表示されます。
Msg202 オフラインです。	ログインステータス照合においてオフラインであった場合に表 示されます。
Msg203 セクション名が入力されてい ません。読み込みを中止します。	セクション登録において CSV データにセクション名が存在しな い場合に表示されます。
Msg204 送信権限指定方法を変更しま す。よろしいですか？	伝達情報の送信権限の指定方法を変更する際に表示される確認 メッセージです。
Msg205 送信権限指定方法を変更しま した。	伝達情報の送信権限の指定方法を変更した場合に表示されま す。
Msg206 ノーアクションタイムアウト 時間を変更します。よろしいですか？	ノーアクションタイムアウトの時間を変更する際に表示される 確認メッセージです。
Msg207 ノーアクションタイムアウト 時間を変更しました。	ノーアクションタイムアウトの時間を変更した場合に表示され ます。

Msg208 送信権限なしセクション表示方法を変更します。よろしいですか？	伝達情報を送信する宛先選択時に送信権限のないセクションの表示指定を変更する際に表示される確認メッセージです。
Msg209 送信権限なしセクション表示方法を変更しました。	伝達情報を送信する宛先選択時に送信権限のないセクションの表示指定を変更した場合に表示されます。
Msg210 「,」等の許されない文字が含まれています。	セクション登録、セクション編集、ユーザ登録、ユーザ編集で「,」等の許されない文字が入力された場合に表示されます。
Msg211 セクションコードが入力されていません。	セクション登録、ユーザ登録、ユーザ編集でセクションコードが入力されていない場合に表示されます。
Msg212 ユーザ ID が正しくありません。	ユーザ登録でユーザ ID が正しくない場合に表示されます。
Msg213 強制削除する場合の日数はデータ消去タイムリミット日数以上でなければなりません。	閲覧期限が無期限の伝達情報を削除する場合にデータ消去タイムリミットより新しいデータを消去しようとした場合に表示されます。
Msg214 権限ファイルと列コードを指定する際は常にペアでなければなりません。	セクション登録、セクション編集、ユーザ登録、ユーザ編集で送信権限の指定時にファイルと列コードがペアで指定されていない場合に表示されます。
Msg215 同じコードが複数存在します。読み込みを中止します。	CSV ファイルチェック時にコードが重複している場合に表示されます。
Msg1000 他で管理ツールを使用しているか、タイマオペレーションが作業中なので終了します。	他で管理ツールが稼働している場合に表示されます。

### 13.2 Web プログラムのメッセージ

メ ッ セ ー ジ	内 容
Msg2001 ユーザ ID を入力して下さい。	パスワード回復画面でユーザ ID が入力されていないときに表示されます。
Msg2002 パスワードをメール送信しました。	パスワード回復画面で Question&Answer が一致し、パスワードを送信したときに表示されます。
Msg2003 パスワードを送信するメールアドレスがセットされていません。	パスワード回復画面で Question&Answer が一致し、パスワードを送信する際に送信先のメールアドレスがないため、送信することが出来なかったときに表示されます。
Msg2004 答えが間違っています。	パスワード回復画面で Question&Answer が不一致のときに表示されます。
Msg2005 コントロール情報をオープン出来ませんでした。	ログイン時にコントロール情報をオープン出来なかった場合に表示されます。
Msg2006 コントロール情報を読み込めませんでした。	ログイン時にコントロール情報を読み込めなかった場合に表示されます。
Msg2007 コントロール情報をクローズ出来ませんでした。	ログイン時にコントロール情報をクローズ出来なかった場合に表示されます。
Msg2008 ユーザ ID が違います。	ログイン時及びパスワード回復画面でユーザ ID が間違っている場合に表示されます。
Msg2009 パスワードが違います。	ログイン時にパスワードが間違っている場合に表示されます。
Msg2010 ユーザ情報をオープン出来ませんでした。	ユーザ情報をオープン出来なかったときに表示されます。
Msg2011 ユーザ情報を読み込めませんでした。	ユーザ情報を読み込めなかったときに表示されます。
Msg2012 ユーザ情報を読み込めませんでした。	ユーザ情報を読み込めなかったときに表示されます。

Msg2013 ユーザ情報をクローズ出来ませんでした。	ユーザ情報をクローズ出来なかったときに表示されます。
Msg2014 実行ファイルをオープン出来ませんでした。	実行ファイルをオープン出来なかったときに表示されます。
Msg2015 実行ファイルを読み込めませんでした。	実行ファイルを読み込めなかったときに表示されます。
Msg2016 実行ファイルを読み込めませんでした。	実行ファイルを読み込めなかったときに表示されます。
Msg2017 実行ファイルをクローズ出来ませんでした。	実行ファイルをクローズ出来なかったときに表示されます。
Msg2018 同じユーザが既にログインしています。	同一ユーザ ID で既にログインしているときに表示されます。また、前回正しくログアウトされなかった場合にも表示されることがあります。この場合はしばらく経ってから再度ログインし直すと正常にログインされます。
Msg2019 実行ファイルを書き込めませんでした。	実行ファイルを書き込めなかったときに表示されます。
Msg2020 ログファイルをオープン出来ませんでした。	ログ取得時にログファイルをオープン出来なかったときに表示されます。
Msg2021 ログファイルを書き込めませんでした。	ログ取得時にログファイルを書き込めなかったときに表示されます。
Msg2022 ログファイルをクローズ出来ませんでした。	ログ取得時にログファイルをクローズ出来なかったときに表示されます。
Msg2023 パスワード回復の質問と答えが設定されていません。	パスワード回復画面で Question&Answer が設定されていないときに表示されます。
Msg2024 パスワードを送信するメールサーバー又はメールアドレスがセットされていません。	パスワード回復画面で Question&Answer に正しく回答し、パスワードをメール送信しようとしたときにメールサーバー又は送信者アドレスがセットされていないときに表示されます。
Msg2027 ユーザ情報を書き込めませんでした。	ユーザ情報を書き込めなかったときに表示されます。
Msg2028 独立セクション情報をオープン出来ませんでした。	独立セクション情報をオープン出来なかったときに表示されます。
Msg2029 独立セクション情報を読み込めませんでした。	独立セクション情報を読み込めなかったときに表示されます。
Msg2030 独立セクション情報を読み込めませんでした。	独立セクション情報を読み込めなかったときに表示されます。
Msg2031 独立セクション情報をクローズ出来ませんでした。	独立セクション情報をクローズ出来なかったときに表示されます。
Msg2032 パスワードをメール送信出来ませんでした。	パスワード回復画面で Question&Answer に正しく回答したにもかかわらずパスワードをメール送信出来なかったときに表示されます。
Msg2033 現ライセンスではこれ以上ユーザを登録できません。	ユーザ登録でライセンス数オーバーによりこれ以上ユーザを登録出来ないときに表示されます。
Msg2034 入力内容で登録しました。	ユーザ登録が正常に完了したときに表示されます。
Msg3001 伝達情報ファイルをオープン出来ませんでした。	伝達情報ファイルをオープン出来なかったときに表示されます。
Msg3002 伝達情報ファイルを読み込めませんでした。	伝達情報ファイルを読み込めなかったときに表示されます。
Msg3003 伝達情報ファイルを読み込めませんでした。	伝達情報ファイルを読み込めなかったときに表示されます。

Msg3004 伝達情報ファイルをクローズ出来ませんでした。	伝達情報ファイルをクローズ出来なかったときに表示され ます。
Msg3005 宛先情報ファイルをオープン出来ませんでした。	宛先情報ファイルをオープン出来なかったときに表示されま す。
Msg3006 宛先情報ファイルを読み込め ませんでした。	宛先情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3007 宛先情報ファイルを読み込め ませんでした。	宛先情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3008 宛先情報ファイルをクローズ 出来ませんでした。	宛先情報ファイルをクローズ出来なかったときに表示されま す。
Msg3009 返信情報ファイルをオープン 出来ませんでした。	返信情報ファイルをオープン出来なかったときに表示されま す。
Msg3010 返信情報ファイルを読み込め ませんでした。	返信情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3011 返信情報ファイルを読み込め ませんでした。	返信情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3012 返信情報ファイルをクローズ 出来ませんでした。	返信情報ファイルをクローズ出来なかったときに表示されま す。
Msg3013 伝達情報ファイルを書き込め ませんでした。	伝達情報を書き込めなかったときに表示されま す。
Msg3014 添付情報ファイルをオープン 出来ませんでした。	添付情報ファイルをオープン出来なかったときに表示されま す。
Msg3015 添付情報ファイルを読み込め ませんでした。	添付情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3016 添付情報ファイルを読み込め ませんでした。	返添付情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3017 添付情報ファイルをクローズ 出来ませんでした。	添付情報ファイルをクローズ出来なかったときに表示されま す。
Msg3018 返信添付情報ファイルをオー プン出来ませんでした。	返信添付情報ファイルをオープン出来なかったときに表示され ます。
Msg3019 返信添付情報ファイルを読み 込めませんでした。	返信添付情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3020 返信添付情報ファイルを読み 込めませんでした。	返信添付情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3021 返信添付情報ファイルをクロ ーズ出来ませんでした。	返信添付情報ファイルをクローズ出来なかったときに表示され ます。
Msg3022 添付返信情報ファイルをオー プン出来ませんでした。	添付返信情報ファイルをオープン出来なかったときに表示され ます。
Msg3023 添付返信情報ファイルを読み 込めませんでした。	添付返信情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3024 添付返信情報ファイルを読み 込めませんでした。	返添付返信情報ファイルを読み込めなかったときに表示されま す。
Msg3025 添付返信情報ファイルをクロ ーズ出来ませんでした。	添付返信情報ファイルをクローズ出来なかったときに表示され ます。
Msg3026 宛先抽出時にユーザ情報をオ ープン出来ませんでした。	送信内容表示において宛先抽出時にユーザ情報をオープン出来 なかったときに表示されま す。
Msg3027 宛先抽出時にユーザ情報を読 み込めませんでした。	送信内容表示において宛先抽出時にユーザ情報を読み込めな かったときに表示されま す。

Msg3028 宛先抽出時にユーザ情報を読み込みませんでした。	送信内容表示において宛先抽出時にユーザ情報を読み込めなかったときに表示されます
Msg3029 宛先抽出時にユーザ情報をクローズ出来ませんでした。	送信内容表示において宛先抽出時にユーザ情報をクローズ出来なかったときに表示されます。
Msg3030 伝達情報を送信しました。	伝達情報を正常に送信したときに表示されます。
Msg3031 添付情報ファイルを書き込みませんでした。	伝達情報送信時に添付情報を書き込めなかったときに表示されます。
Msg3032 返信添付情報ファイルを書き込みませんでした。	伝達情報送信時、添付ファイルによる返信時に添付情報を書き込めなかったときに表示されます。
Msg3033 宛先情報ファイルをオープン出来ませんでした。	伝達情報送信時に宛先情報をオープン出来なかったときに表示されます。
Msg3036 宛先情報ファイルを書き込みませんでした。	伝達情報送信時に宛先情報を書き込めなかったときに表示されます。
Msg3038 セクション情報をオープン出来ませんでした。	セクション情報をオープン出来なかったときに表示されます。
Msg3039 セクション情報を読み込みませんでした。	セクション情報を読み込めなかったときに表示されます。
Msg3040 セクション情報を読み込みませんでした。	セクション情報を読み込めなかったときに表示されます。
Msg3041 セクション情報をクローズ出来ませんでした。	セクション情報をクローズ出来なかったときに表示されます。
Msg3042 アーク情報をオープン出来ませんでした。	アーク情報をオープン出来なかったときに表示されます。
Msg3043 アーク情報を読み込みませんでした。	アーク情報を読み込めなかったときに表示されます。
Msg3044 アーク情報を読み込みませんでした。	アーク情報を読み込めなかったときに表示されます。
Msg3045 アーク情報をクローズ出来ませんでした。	アーク情報をクローズ出来なかったときに表示されます。
Msg3046 セクションが選択されていないか、そのセクションに送信権限がありません。	伝達情報を送信する送信先選択画面でセクションを送信先に選択しようとしたときにセクション自体を選択していないか、そのセクションに送信権限がないときに表示されます。
Msg3049 宛先情報ファイルを書き込みませんでした。	宛先情報を書き込めなかった場合に表示されます。
Msg3050 返信しました。	受信した伝達情報に対して返信が正常に行われたときに表示されます。
Msg3051 返信文が記入されていません。	受信した伝達情報に対して返信を行おうとしたとき、返信文が記入されていない、又は添付返信を要求されているときに添付ファイルの添付も返信文の記入もないときに表示されます。
Msg3052 返信用添付ファイルが選択されていませんが、そのまま返信しました。	添付ファイルによる返信を要求している伝達情報に対し、添付ファイル無しの返信が許される設定になっている場合に、添付ファイルなしで返信を行った場合に表示されます。
Msg3053 返信用添付ファイルが選択されていません。	添付ファイルによる返信を要求している伝達情報に対し、添付ファイル無しの返信が許されない設定になっている場合に、添付ファイルなしで返信を行おうとした場合に表示されます。
Msg3056 メール情報をオープン出来ませんでした。	伝達情報の送信、取り消しの通知メールを送信できなかった場合に表示されます。
Msg3057 メール情報を読み込みませんでした。	伝達情報の送信、取り消しの通知メールを送信できなかった場合に表示されます。

Msg3058 メール情報をクローズ出来ませんでした。	伝達情報の送信、取り消しの通知メールを送信できなかった場合に表示されます。
Msg3059 表示期限切れです。	伝達情報の内容を閲覧しようとしたとき、その伝達情報が閲覧期限切れの場合に表示されます。
Msg3060 送信者が存在しません。削除されたか脱会した可能性があります。	伝達情報に対して返信しようとしたとき、その伝達情報の送信者が削除されたか脱会してすでに存在しない場合に表示されます。
MsgE001 Register パスワード等、登録情報が壊れている可能性があります。管理者に連絡して下さい。	ユーザ登録時、ライセンス情報等が壊れている可能性がある場合に表示されます。
MsgE002 評価使用ではこれ以上新規に伝達情報は作成出来ません。	評価バージョンでの伝達情報数の MAX を超えた場合に表示されます。
MsgE003 ファイルのアップロードに失敗しました。ファイルが存在しない可能性があります。	添付ファイル付きの伝達情報の送信、添付ファイルによる返信を行おうとしたときに、送信の時点で指定した添付ファイルが存在しない場合に表示されます。
MsgE004 添付返信要求にも拘らず、返信添付ファイルが選択されていません。	伝達情報新規送信時に添付ファイルによる返信を要求しているにも拘らず返信用ファイルを添付していない場合に表示されます。
MsgE005 既に同じユーザ ID で登録されています。	ユーザ登録時に同じユーザ ID で登録しようとした場合に表示されます。
MsgE006 入力項目にエラーがあります。	ユーザ登録時、伝達情報新規送信時に入力されたデータに不備がある場合に表示されます。
MsgE008 日付の指定が正しくありません。	伝達情報新規送信時に閲覧開始日、閲覧期限、警告開始日の日付の前後関係が正しくない場合に表示されます。
MsgE009 宛先の指定がありません。	伝達情報新規送信時に宛先が指定されていない場合に表示されます。
MsgW001 選択された伝達情報には宛先が一つもありません。削除された可能性があります。	送信一覧から内容を表示しようとしたときに送信先が一つもない場合に表示されます。
MsgW002 添付返信要求でないときは返信添付は無視されます。続行しますか？	受信した伝達情報は添付ファイルによる返信を要求していないにも係わらず、返信用ファイルを添付しようとした場合に表示されます。

## 14 ログデータ

### 14.1 ログデータのフォーマット

項目	内容
日時	ログ取得日時です。
ログコード	ログ種別を表すログコードです。
ユーザID	操作を行ったユーザIDです。
名前	操作を行ったユーザの名前です。
ログデータ1	ログデータ1です。
ログデータ2	ログデータ2です。
ログデータ3	ログデータ3です。
ログデータ4	ログデータ4です。
ログデータ5	ログデータ5です。
ログデータ6	ログデータ6です。
ログデータ7	ログデータ7です。
ログデータ8	ログデータ8です。
ログデータ9	ログデータ9です。
ログデータ10	ログデータ10です。

### 14.2 ログ種別

ログコード	ログ種別	ログデータ
管理ツールログ		
1001	管理モードログイン	なし
1002	管理モードログアウト	なし
1010	通常セクション CSV 一括新規登録	CSV ファイル名
1020	通常セクション CSV 一括追加登録	CSV ファイル名
1030	通常セクション画面追加登録	追加セクションコード 追加セクション名 上位セクションコード
1040	セクション編集	編集セクションコード 編集後のセクション名 編集後の上位セクションコード
1050	セクション削除	削除されたセクションコード 削除されたセクション名 メンバーの移動先セクションコード
1060	独立セクション画面登録	セクションコード セクション名
1070	独立セクション編集	編集セクションコード 編集セクション名
1080	独立セクション削除	削除されたセクションコード 削除されたセクション名 メンバーの移動先セクションコード
1090	通常セクション印刷	なし
1100	独立セクション印刷	なし
1110	ユーザ CSV 一括新規登録	CSV ファイル名
1120	ユーザ CSV 一括追加登録	CSV ファイル名
1130	ユーザ画面追加登録	追加されたユーザの ID 追加されたユーザ名 所属セクション

1140	ユーザ編集 パスワード変更	変更されたユーザの ID 変更されたユーザの名前 変更されたユーザの所属セクション
1150	ユーザ編集 Q&A 変更	変更されたユーザの ID 変更されたユーザの名前 変更されたユーザの所属セクション
1160	ユーザ編集 名前変更	変更されたユーザの ID 変更前後の名前 所属セクション
1170	ユーザ編集 伝達情報受信通知アドレス変更	アドレスを変更したユーザの ID ユーザ名 所属セクション 旧と新のアドレス
1180	ユーザ編集 返信情報受信通知アドレス変更	アドレスを変更したユーザの ID ユーザ名 所属セクション 旧と新のアドレス
1190	ユーザ編集 所属セクション変更	セクションを変更したユーザの ID ユーザ名 旧と新のセクション
1200	ユーザ編集 ユーザ種別変更	セクションを変更したユーザの ID ユーザ名 所属セクション 旧と新のユーザ種別
1210	ユーザ編集 役割名変更	セクションを変更したユーザの ID ユーザ名 所属セクション 旧と新の役割名
1220	ユーザ編集 その他 Profile 変更	Profile を変更したユーザの ID ユーザ名 所属セクション 旧と新の生年月日 旧と新の電話番号 旧と新の住所 旧と新の自由欄
1225	ユーザ編集 権限ファイル変更	権限ファイルを変更したユーザの ID ユーザ名 所属セクション 旧の通常セクションファイル名と列コード 新の通常セクションファイル名と列コード 旧の独立セクションファイル名と列コード 新の独立セクションファイル名と列コード
1610	ユーザ情報印刷	なし
1230	ユーザ削除	削除ユーザの ID ユーザ名 所属セクション
1240	ユーザ異動	移動前のセクションコードと移動前のセクション名 + 移動後のセクションコードと移動後のセクション名

1250	仮削除データ復旧	復旧した伝達情報のデータ No. 復旧した伝達情報の Subject 復旧した伝達情報の送信者 ID 復旧した伝達情報の送信者名
1620	仮削除データ印刷	処理対象 (全部、ID) 処理期間 (From To)
1260	仮削除データ全本削除	なし
1265	期限切れデータ強制削除	なし
1270	期限切れデータ復旧	復旧した伝達情報のデータ No. 復旧した伝達情報の Subject 復旧した伝達情報の新閲覧期限 復旧した伝達情報の送信者 ID 復旧した伝達情報の送信者名
1630	期限切れデータ印刷	処理対象 (全部、ID) 処理期間 (From To)
1280	期限切れデータ本削除	なし
1300	DB クリーンアップ	なし
1640	クリーンアップ時仮削除ユーザ本削除	削除されたユーザの ID 削除されたユーザの名前
1290	閲覧者変更	前任閲覧者 後任閲覧者 閲覧種別 期間 (From To または All)
1400	コントロール情報変更 総合権限モード変更	変更後のモード
1410	コントロール情報変更 通常セクション権限モード変更	変更後のモード
1420	コントロール情報変更 独立セクション権限モード変更	変更後のモード
1430	コントロール情報変更 メール通知指定変更	変更後のモード SMTP サーバ Sender アドレス
1440	コントロール情報変更 ユーザセルフ登録許可 / 不許可変更	変更後のモード
1530	コントロール情報変更 ログ取得情報変更	変更後の取得情報を 0 1 パターンで記録 1 . ログイン/ログアウト 2 . パスワード変更 3 . Q&A 変更 4 . 伝達情報受信通知アドレス変更 5 . 返信データ受信通知アドレス変更 6 . 役割名変更 7 . その他 Profile 変更 8 . 伝達情報送信 9 . 送信確認 10 . 結果保存 11 . 添付結果保存 12 . 添付結果保存 13 . 送信取り消し 14 . 閲覧

		15．単純添付保存 16．返信添付保存 17．単純返信 18．添付返信 19．期限切れデータ削除 20．仮削除データ本削除
1450	コントロール情報変更 タイムリミット値変更	変更後のタイムリミット値
1460	コントロール情報変更 ログ削除タイムリミット値変更	変更後のタイムリミット値
1470	コントロール情報変更 タイマオペレーション処理時刻変更	変更後の処理時刻
1480	コントロール情報変更 タイマオペレーション処理日変更	変更後の処理日
1490	コントロール情報変更 タイマオペレーションリトライ回数変更	変更後のリトライ回数
1500	コントロール情報変更 期限切れデータ表示方法変更	変更後の表示方法
1510	コントロール情報変更 閲覧制限変更	変更後の制限方法
1520	コントロール情報変更 タイムアウト値変更	変更後の値
1650	コントロール情報変更 権限指定方法変更	変更後の指定方法
1660	コントロール情報変更 ノアクションタイムアウト時間変更	変更後のタイムアウト時間
1670	コントロール情報変更 送信権限無しセクションの表示許可変更	変更後の許可状態
1310	DB 初期化	初期化方法
1340	ログイン制御	リクエスト情報（オンライン/オフラインリクエスト）
1540	コントロール情報印刷	なし
1550	ユーザ必須情報変更	変更内容を 0 1 パターンで記録 1．役割名 2．生年月日 3．住所 4．電話番号 5．自由欄 6．伝達情報受信通知アドレス 7．返信情報受信通知アドレス 8．Quesrion&Answer
1560	ログ情報 クリア	期間（From To）/ 全て ID 指定 / 全て クリア前のログファイル使用率
1570	ログ情報 表示	期間（From To）/ 全て ID 指定 / 全て
1580	ログ情報 印刷	期間（From To）/ 全て ID 指定 / 全て
1590	ログ情報	期間（From To）/ 全て

	ファイル出力	ID 指定 / 全て
1320	DB バックアップ	バックアップ先フォルダ名
1330	DB リストア	リストア元フォルダ名
1600	無所属ユーザを Orphan へ異動	異動したユーザ ID
1610	セクションのつながり情報を削除	上位コード - 下位コード
1620	上位セクションが存在しないため最上位セクションにする	元の上位コード - 下位コード
1630	セクションのつながり情報が存在しないため、最上位セクションにする	下位コード
ユーザアクションログ		
2001	ログイン	なし
2002	ログアウト	なし
2003	ユーティリティ系 セルフ登録	所属セクション
2004	ユーティリティ系 セルフ脱会	所属セクション
2005	ユーティリティ系 パスワード変更	なし
2006	ユーティリティ系 Question&Answer 変更	なし
2007	ユーティリティ系 伝達情報受信アドレス変更	なし
2008	ユーティリティ系 返信情報受信アドレス変更	なし
2009	ユーティリティ系 その他 Profile 変更	なし
2010	ユーティリティ系 役割名変更	なし
3001	送信系 送信	伝達情報 No. Subject 送信先 ID ( , 区切り ) 単純添付ファイル名 ( , 区切り ) 返信添付ファイル名 ( , 区切り )
3002	送信系 送信確認	伝達情報 No. Subject
3003	送信系 結果保存	伝達情報 No. Subject
3004	送信系 添付返信結果保存	伝達情報 No. Subject 保存ファイル名
3005	送信系 送信取り消し	伝達情報 No. Subject
4001	受信系 閲覧	伝達情報 No. Subject
4002	受信系 単純添付保存	伝達情報 No. Subject 保存ファイル名 ( 複数の場合有り )
4003	受信系 返信添付保存	伝達情報 No. Subject

		保存ファイル名（複数の場合有り）
4004	受信系 単純返信	伝達情報 No. Subject 返信 No.
4005	受信系 添付返信	伝達情報 No. Subject 返信 No. 返信ファイル名（複数の場合有り）
バックグラウンドログ		
5100	伝達情報削除	削除した伝達情報 No. Subject 閲覧開始日 閲覧期限
5110	仮削除ユーザ本削除	本削除した ID 本削除した名前
5120	メール送信エラー	宛先 件名 内容

15 用語集（本文中下線付き青文字の用語の説明）

用語	内容
通常セクション	企業等の本部 支店 部 課 係と言ったツリー構造をした通常の組織構成です。
独立セクション	一般会員、ネット会員、取引先等、組織内の通常セクションのツリーに属さないセクションを定義します。
仮削除データ	送信者が取り消した伝達情報は後で復旧することを可能にするために即座には削除されず、閲覧禁止状態にします。完全に削除されるのは保存タイムリミットを過ぎた時点です。
閲覧期限	伝達情報を作成する際、その情報を受信者が閲覧する期限を設定することが出来ます。これにより、古くなって意味のない伝達情報は受信者の受信一覧から消え去り、閲覧することは出来ません。
保存タイムリミット	閲覧期限超過データ、仮削除データは復旧して再度閲覧可能なようにするため、即座には削除されず、閲覧禁止状態で一定期間保存されます。その保存期間を閲覧開始日からの日数で指定します。この期間が過ぎるとその伝達情報は完全に削除されます。
ステータス	InfoCircle には以下の 3 種類のステータスが存在します。 1. オンライン 通常のモードで自由に伝達情報の送受信が出来ます。 管理ツールの一部の機能に制限が付きます。 2. オフラインリクエスト中 現在ログイン中のユーザのみ自由に送受信が出来ます。 ユーザの新たなログインは出来ません。 管理ツールの一部の機能に制限が付きます。 全てのユーザがログアウトした時点でオフラインになります。 3. オフライン ユーザはログイン出来ません。 管理ツールの全ての機能が使えます。
閲覧期限無期限	伝達情報の作成時に通常は閲覧期限を指定しますが、Config ファイルのパラメータの設定により閲覧期限無制限の伝達情報を作成することも可能です。
ログイン制限時間	ユーザが InfoCircle にログインして伝達情報の送受信作業を行う制限時間です。コントロール情報の設定値に従います。本指定時間を過ぎると強制的にログアウトされます。
ノーアクション時のタイムアウト時間	ノーアクションタイムアウトは、ユーザが異常に長い間、InfoCircle において操作を行わなかった場合や正しくログアウトして終了せず、Web ブラウザを閉じて終了した場合に発生します。再度ログインできるまでの時間はコントロール情報の設定値となります。
Question&Answer	パスワードを忘れたときに質問に正しく答えることによりパスワードを取り出すことが出来る質問と回答です。 質問の種類は以下の 5 種類です。CSV ファイルでユーザを登録するときは質問番号で指定します。 0. ペットの名前 1. 母親の旧姓 2. 好きな食べ物 3. 嫌いな食べ物 4. 出身小学校
伝達情報受信通知アドレス	伝達情報を受信したことを通知するメールを受け取るアドレスで

	<p>す。携帯メール等のアドレスをセットすることにより、外出中でも伝達情報の受信があったことを知ることが出来ます。伝達情報受信の通知メールはその伝達情報の閲覧開始日に送信されます。</p> <p>また、伝達情報の取り消しがあった場合も本アドレスに通知メールが送信されます。送信時期は取り消した時点で即座に送信されます。更に一度取り消された伝達情報が復旧された場合も本アドレスに通知メールが送信されます。</p> <p>尚、閲覧開始日以前に伝達情報が取り消された場合、受信通知メール、取り消し通知メールの両方とも送信されません。</p> <p>閲覧開始日以前に取り消され、閲覧開始日以前に復旧した場合、受信者にとっては新規受信と同様ですから復旧通知メールは送信されず、伝達情報受信通知メールが送信されます。</p>
返信情報受信通知アドレス	<p>返信情報を受信したことの通知及びパスワード回復、変更のメールを受け取るアドレスです。</p> <p>パスワード回復のメールは中にパスワードが含まれているため、なるべく速やかにユーティリティによってパスワードを変更することを推奨します。</p> <p>パスワード変更通知メールの送信は通常必要ありませんがユーザの選択により送信することも可能です。</p>
役割名	<p>伝達情報を送信する際、送信者の名前ではなく「商品担当」や「忘年会幹事」のように送信者名の代わりに役割名を送信者として使用した方が良い場合があります。そのような場合、送信者は役割名を使用して伝達情報を送信することが出来ます。</p> <p>尚、役割名は匿名ではなく管理者に依頼することにより送信ログから送信者を特定することも出来ますので本機能を悪用してスパムメールのような使い方をすることは困難です。</p>
添付返信	<p>アンケート用紙に記入する等、添付ファイルに記入して返信することを要求する伝達情報に対して返信することを意味します。返信に添付ファイルを使用することが必須かどうかは設定によります。</p> <p>また、添付ファイルによる返信を行った場合でも、そのファイル名は伝達情報に添付されていたファイル名と同じ必要はありません。</p>
単純返信	<p>単なるメッセージによる返信を要求し、添付ファイルによる返信を要求していない伝達情報に対する返信です。</p>
単純添付ファイル	<p>伝達情報を送信する際に単なる資料として添付するファイルです。</p>
返信添付ファイル	<p>伝達情報を送信する際にアンケート等、同ファイルに記入して返信してもらうことを目的に添付するファイルです。尚、受信者は本ファイルによる返信を行わなくてもエラーにはなりません。</p>
仮削除ユーザ	<p>管理者が削除、或いはセルフ登録したユーザがセルフ脱会した場合、そのユーザの送信した伝達情報が保存期間を過ぎて完全に削除されるまで、伝達情報の受信者が発信者を特定するためにそのユーザはデータベース上からは完全には削除されません。但し、仮削除したユーザはその後ログインして本ソフトウェアを使用することは出来ません。</p> <p>また、仮削除されたユーザの ID は完全に削除するまで新規登録で使用することは出来ません。</p>
送信権限	<p>それぞれのユーザが伝達情報を送信できるセクションと出来ないセクションをユーザ毎、或いはそのユーザが所属するセクション毎に定義することが出来ます。</p> <p>送信権限のないセクションに対しては伝達情報を送信することは</p>

	出来ません。尚、返信を要求している伝達情報を受信した場合にその伝達情報に対する返信は行えます。
通常セッション送信権限ファイル	通常セッションに対する送信権限を定義した権限ファイルです。
通常セッション送信権限該当列コード	通常セッション送信権限ファイル内の送信権限の有無を定義した列を参照するための列コードです。本コードが一致した列が送信権限有無の判定対象となります。
独立セッション送信権限ファイル	独立セッションに対する送信権限を定義した権限ファイルです。
独立セッション送信権限該当列コード	独立セッション送信権限ファイル内の送信権限の有無を定義した列を参照するための列コードです。本コードが一致した列が送信権限有無の判定対象となります。
評価使用	評価使用の場合、登録できるユーザ数、新規に送信できる伝達情報数に制限があります。それを超えてご使用される場合はライセンスをご購入下さい。
Orphan	所属セッションの削除等、所属するセッションが存在しなくなったユーザが所属するための独立セッションです。初期設定で自動的に作成されます。また、本セッションの削除は出来ません。
ユーザ種別	ユーザは以下の2種類に分けられます。 1. 一般ユーザ 通常のユーザで伝達情報の送受信が行えます。 2. 管理者 管理者で伝達情報の送受信と管理ツールを使用出来ます。

## 16 権限ファイル

### 16.1 権限ファイルの概要

それぞれのユーザが伝達情報を送信できるセクションと出来ないセクションを定義する CSV ファイルです。ユーザ毎、或いはそのユーザが所属するセクション毎に定義することが出来ます。

コントロール情報で権限モードがオンになっている場合のみ本ファイルの定義に従って送信権限を規定します。

尚、本ファイルを他プログラムで排他的に開いているときに送信処理を行うと、正しく送信先が作成されない場合があります。

### 16.2 CSV ファイルフォーマット

送信権限を規定する権限ファイルフォーマットは以下の通りです。

コメント行					
.....					
.....					
.....					
Start 行(CodeLine)	列コード 1	列コード 2	.....	列コード n	.....
セクションコード 1			.....		.....
セクションコード 2			.....		.....
セクションコード 3			.....		.....
.....			.....		.....
セクションコード m			.....		.....
セクションコード n			.....		.....

- ・ 各 Config ファイル内に記述されている「CodeLine」パラメータが CSV ファイル内の 1 列目に現れた行が Start 行になります。
- ・ それ以前の行はコメントと見なします。

### 16.3 列コード

セクション登録、ユーザ登録等における権限該当列コードが Start 行の列コードにどれかに一致した場合、その列の各行の 印の記入された行のセクションコードのセクションに送信権限があることを示します。